



# X25 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット

シリアル番号 315000001 以降の Multi Pro® 1750 ターフスプレーヤ用

モデル番号41631—シリアル番号 400000000 以上

## 取り付け要領

### はじめに

この GeoLink™ スプレーシステムキットは、芝生に液剤を散布する専用装置のための補助装置アタッチメントであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園やゴルフ場、スポーツフィールド、商用目的で使用される芝生に対して液剤を散布することを主たる目的として製造されております。

安全のための注意事項、取扱い説明書、アクセサリについての資料、代理店の検索、製品のご登録などについては [www.Toro.com](http://www.Toro.com) へ。

この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

**注** この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1 にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

**重要** シリアル番号プレートに QR コードがついている場合は、スマートフォンやタブレットでスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。

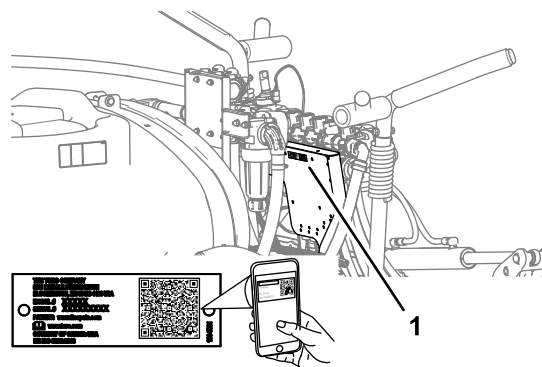


図 1

g264687

1. モデル番号とシリアル番号の表示場所

|        |       |
|--------|-------|
| モデル番号  | _____ |
| シリアル番号 | _____ |

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号 図 2 を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



図 2

g000502

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**「重要」は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。



# 目次

|  |    |                                |    |
|--|----|--------------------------------|----|
| はじめに   | 1  | 30 スプレーヤのモニタを取り付ける             | 71 |
| 安全について   | 3  | 31 スプレーポンプクラッチの配線を行<br>う       | 73 |
| 安全ラベルと指示ラベル                                      | 3  | 32 散布用の電装機器を取り付ける              | 74 |
| 組み立て   | 5  | 33 キットのワイヤハーネスをシートベースに<br>接続する | 79 |
| 1 キット取り付けの準備                                     | 8  | 34 ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取<br>り付ける | 82 |
| 2 運転席とエンジンアクセスパネルを外<br>す                         | 10 | 35 フードと左右の前フェンダを取り付け<br>る      | 90 |
| 3 左右の前フェンダとフードを取り外<br>す                          | 11 | 36 エンジンへのアクセスパネルと運転席を取<br>り付ける | 92 |
| 4 フォームマーカークキットオプションの接続を<br>外す                    | 13 | 37 マシンの設定プログラミングを行<br>う        | 94 |
| 5 ウルトラソニックブームレベリングキットオプ<br>ションの接続を外す             | 17 |                                |    |
| 6 カバー付きブームキットオプションのセ<br>ンターセクションカバー 11ノズルを外<br>す | 18 |                                |    |
| 7 ダッシュボード用の水圧検知チューブを外<br>す                       | 18 |                                |    |
| 8 散布バルブのコネクタを取り外す                                | 19 |                                |    |
| 9 散布レートスイッチを外す                                   | 19 |                                |    |
| 10 ブームを取り外す                                      | 20 |                                |    |
| 11 センターブームエクステンションを取り付け<br>る                     | 25 |                                |    |
| 12 取り付けブラケットとスプレーノズルをセン<br>ターブームに取り付ける           | 28 |                                |    |
| 13 ブームバルブを取り外す                                   | 30 |                                |    |
| 14 フローメータのサポートクランプを取り付け<br>る                     | 34 |                                |    |
| 15 ワイヤハーネスを機体に接続す<br>る                           | 35 |                                |    |
| 16 フローメータのマニホールドを組み付け<br>る                       | 41 |                                |    |
| 17 バイパスホースをタンクに取り付け<br>る                         | 41 |                                |    |
| 18 改造したセンターブームを取り付け<br>る                         | 43 |                                |    |
| 19 昇降シリンダマニホールドをシリンダマウント<br>に取り付ける               | 44 |                                |    |
| 20 バルブマウントとスプレーバルブを取り付<br>ける                     | 44 |                                |    |
| 21 ブーム昇降シリンダを取り付ける                               | 51 |                                |    |
| 22 左右のブームを取り付ける                                  | 53 |                                |    |
| 23 散布ノズル用ホースを取り付け<br>る                           | 55 |                                |    |
| 24 キットのワイヤハーネスを車体後部に接続<br>する                     | 60 |                                |    |
| 25 ダッシュボードの水圧計用の水圧検知<br>チューブを接続する                | 60 |                                |    |
| 26 オプションのフォームマーカークキットの接続<br>を行う                  | 62 |                                |    |
| 27 オプションのウルトラソニックブームキットを<br>接続する                 | 65 |                                |    |
| 28 オプションのブームカバーキットの取り付け<br>を行う                   | 65 |                                |    |
| 29 ナビゲーション受信機を取り付け<br>る                          | 68 |                                |    |

# 安全について

## 警告

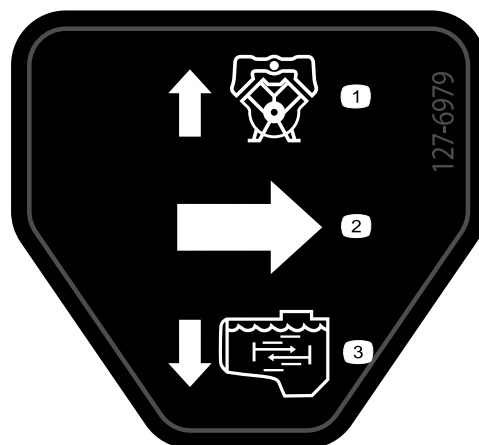
この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるため取り扱いには十分注意すること。

- 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守りましょう。たとえば、保護めがねゴーグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることできる適切な保護対策を講じる。
- 散布する薬剤は種類とは限らないので、取り扱っているそれぞれの薬剤について注意事項を必ず確認する。
- 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。
- 散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず、その装置が薬剤メーカーの指示通りに3回のすすぎ洗いや必要な中和処理を実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ3回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認する。
- 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。

# 安全ラベルと指示ラベル



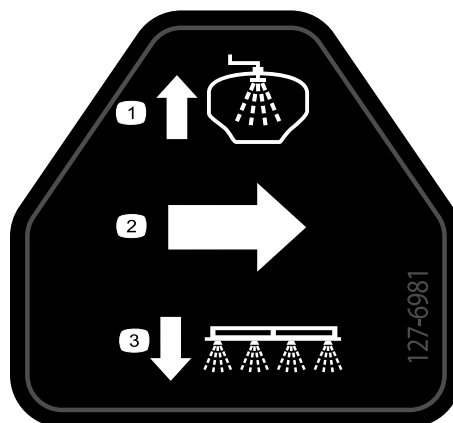
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



127-6979

decal127-6979

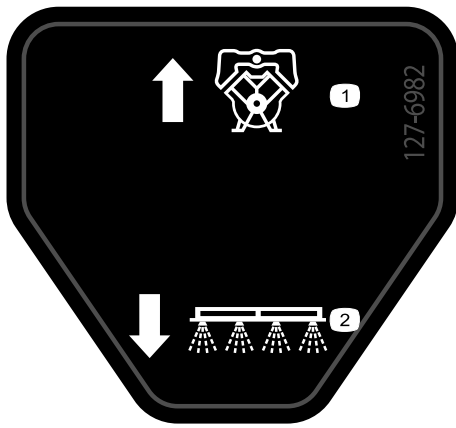
1. ポンプ戻りフロー
2. フロー
3. 攪拌フロー



127-6981

decal127-6981

1. バイパス戻りフロー
2. 流量
3. ブームスプレー



decal127-6982

**127-6982**

1. バイパス戻りフロー      2. ブームスプレー
- 



decal127-6976

**127-6976**

1. 下げる      2. 上げる
-

# 取り付け

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

| 手順 | 内容   | 数量                              | 用途                                       |
|----|--|---------------------------------|--|
| 1  | 必要なパーツはありません。  | -                               | キット取り付けの準備。                              |
| 2  | 必要なパーツはありません。  | -                               | 運転席とエンジンアクセスパネルを外します。                    |
| 3  | 必要なパーツはありません。  | -                               | 左右の前フェンダとフードを取り外します。                     |
| 4  | チューブアセンブリToro P/N 114-9553<br>ケーブルタイ   | 2<br>8                          | フォームマーカークットオプションの接続を外します。                |
| 5  | 必要なパーツはありません。  | -                               | ウルトラソニックブームレベリングキットオプションの接続を外します。        |
| 6  | 必要なパーツはありません。  | -                               | カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外します。 |
| 7  | 必要なパーツはありません。  | -                               | ダッシュボード用の水圧検知チューブを外します。                  |
| 8  | 必要なパーツはありません。  | -                               | 散布バルブのコネクタを取り外します。                       |
| 9  | ケーブルタイ<br>スイッチのプラグ   | 1<br>1                          | 散布レートスイッチを外す。                            |
| 10 | 必要なパーツはありません。  | -                               | ブームを取り外します。                              |
| 11 | フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 1"<br>フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "<br>センターブームエクステンション<br>シリンダマウントワイド<br>タイプレートワイド<br>キャリッジボルト $\frac{1}{2}$ x 1 $\frac{1}{4}$ "<br>フランジロックナット $\frac{1}{2}$ " | 2<br>2<br>1<br>1<br>1<br>4<br>4 | センターブームエクステンションを取り付けます。                  |
| 12 | スプレーノズル<br>ホースアセンブリスプレーバルブ5または6<br>フランジロックナット5/16"   | 2<br>2<br>2                     | 取り付けブラケットとスプレーノズルをセンターブームに取り付けます。        |
| 13 | キャップクイックカップラ<br>リテーナ   | 3<br>3                          | ブームバルブを取り外します。                           |
| 14 | フローメータのマウント<br>サポートクランプハーフ<br>ボルト $\frac{1}{4}$ x 4 $\frac{1}{2}$ "<br>フランジロックナット $\frac{1}{4}$ "  | 1<br>4<br>4<br>4                | フローメータのサポートクランプを取り付けます。                  |
| 15 | 後方ワイヤハーネス<br>ケーブルタイ  | 1<br>7                          | 後方ワイヤハーネスを車体に取り付けます。                     |

| 手順 | 内容  | 数量   | 用途                            |
|----|---|--|-------------------------------|
| 16 | ストレートパーブ (1 x 2")<br>ホースクランプ $\frac{3}{4}$ -1 $\frac{1}{2}$ "<br>ホース1 x 5 $\frac{3}{4}$ " 15 cm<br>マニホールド<br>ホース1 x 16"   | 1<br>3<br>1<br>1<br>1                          | フローメータにマニホールドを取り付けます。         |
| 17 | 90° クイックコネクティングソケット1"<br>ホース1 x 26" = 66 cm<br>ホースクランプ $\frac{3}{4}$ x 1 $\frac{1}{5}$ "<br>T 字フィッティング1 x 1 x 1"<br>パーブ付き 90°フィッティングホースアセンブリ<br>燃料バルブ   | 2<br>2<br>5<br>1<br>1<br>1                     | バイパスホースをタンクに取り付けます。           |
| 18 | 必要なパーツはありません。   | -  | 改造したセンターブームを取り付けます。           |
| 19 | 必要なパーツはありません。   | -  | 昇降シリンダマニホールドをシリンダマウントに取り付けます。 |
| 20 | バルブマウントスプレーバルブアセンブリ<br>ボルト4 x 10mm<br>ASC 10 スプレーヤコントローラ<br>フランジロックナット4mm<br>キャップクイックディスクコネクティング<br>フランジヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ "<br>フランジロックナット5/16"<br>ホースクランプ<br>プッシュインファスナーケーブルタイ)<br>プッシュインファスナーコネクタアンカー | 1<br>3<br>1<br>3<br>2<br>8<br>8<br>1<br>1<br>3 | バルブマウントとスプレーバルブを取り付けます。       |
| 21 | 油圧ホース $\frac{1}{4}$ x 24 $\frac{3}{4}$ "  | 4  | ブーム昇降シリンダを取り付けます。             |
| 22 | ナイロン製フランジブッシュ<br>ケーブルタイ<br>給液ホースアセンブリ188cm<br>給液ホースアセンブリ234cm<br>給液ホースアセンブリ279cm  | 4<br>1<br>1<br>1<br>1                          | 左右のブームを取り付けます。                |
| 23 | 給液ホース279cm<br>給液ホース234cm<br>給液ホース188cm<br>給液ホース81cm   | 2<br>2<br>4<br>2                               | 散布ノズル用ホースを取り付けます。             |
| 24 | 必要なパーツはありません。   | -  | 後方ワイヤハーネスを接続します。              |
| 25 | 必要なパーツはありません。   | -  | ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続します。  |
| 26 | ケーブルタイ  | 6  | オプションのフォームマーカークットの接続を行います。    |
| 27 | 必要なパーツはありません。   | -  | ウルトラソニックブームキットを接続します。         |

| 手順 | 内容  | 数量  | 用途                         |
|----|---|---|----------------------------|
| 28 | カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用 Toro P/N 120-0621<br>ポップリベット Toro P/N 114439<br>サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03<br>クリップナット Toro P/N 94-2413<br>フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $1\frac{1}{4}$ " Toro P/N 110-5050<br>フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " Toro P/N 104-8301<br>カバーストラップ Toro P/N 120-0629<br>フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $1\frac{1}{4}$ " Toro P/N 323-36  | 1<br>22<br>4<br>4<br>16<br>16<br>2<br>4   | オプションのブームカバーキットの取り付けを行います。 |
| 29 | 受けプレート<br>スペーサ $\frac{3}{8}$ x 1"<br>受信機用マウント<br>ボルト $\frac{3}{8}$ x $3\frac{1}{4}$ "<br>ロックワッシャ $\frac{3}{8}$ "<br>ワッシャ $\frac{3}{8}$ x $\frac{13}{16}$ "<br>フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "<br>フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ "<br>フランジロックナット $\frac{5}{16}$ "<br>フランジヘッドボルト ( $\frac{3}{8}$ x $1\frac{1}{2}$ ")<br>スペーサ $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{16}$ "<br>ナビゲーション受信機 X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630<br>六角ヘッドボルト 5 x 16mm<br>ワッシャ 5mm<br>バルクヘッドアダプタオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット<br>携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット<br>同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>2<br>2<br>1<br>3<br>3<br>1<br>1<br>1 | ナビゲーション受信機を取り付けます。         |
| 30 | モニタマウント<br>フランジヘッドボルト 6 x 12 mm<br>ボルト $\frac{5}{16}$ "<br>フランジロックナット $\frac{5}{16}$ "<br>ボールマウント<br>フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ "<br>モニタ X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630<br>モニタアーム X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630   | 1<br>3<br>2<br>8<br>1<br>4<br>1<br>1  | スプレーヤのモニタを取り付けます。          |
| 31 | 必要なパーツはありません。   | -   | スプレーポンプクラッチの配線を行います。       |

| 手順    | 内容  | 数量 | 用途                        |
|-------|---|----|---------------------------|
| 32    | バッテリー用ブラケット                                     | 1  | 散布用の電装機器を取り付けます。          |
|       | ボルト5/16 x 1¼"                                   | 1  |                           |
|       | ワッシャ5/16"                                       | 1  |                           |
|       | バッテリー (540A)                                    | 1  |                           |
|       | バッテリーリテーナ                                       | 1  |                           |
|       | フランジロックナット5/16"                                 | 1  |                           |
|       | オルタネータ用ブラケット                                    | 1  |                           |
|       | 駆動プーリ279mm                                      | 1  |                           |
|       | ボルト¼ x 2¼"                                      | 4  |                           |
|       | ロックワッシャ¼"                                       | 4  |                           |
|       | オルタネータ60A                                       | 1  |                           |
|       | フランジヘッドボルト 8 x 25 mm                            | 1  |                           |
|       | フランジヘッドボルト (⅜ x 1½")                            | 1  |                           |
| V ベルト | 1   |    |                           |
| 33    | リレー   | 1  | キットのワイヤハーネスをシートベースに接続します。 |
|       | プッシュインファスナー                                     | 1  |                           |
|       | ヒューズ (15 A)                                     | 1  |                           |
|       | ヒューズ (50 A)                                     | 1  |                           |
| 34    | データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630   | 1  | ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付けます。 |
|       | バッテリー用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630 | 1  |                           |
|       | ケーブルタイ  | 8  |                           |
|       | クイックコネクタクランプ赤いハンドル                              | 1  |                           |
|       | クイックコネクタクランプ黒いハンドル                              | 1  |                           |
| 35    | プッシュインファスナー                                     | 13 | フードと左右の前フェンダを取り付けます。      |
| 36    | 必要なパーツはありません。                                   | -  | エンジンへのアクセスパネルと運転席を取り付けます。 |
| 37    | 必要なパーツはありません。                                   | -  | マシンの設定プログラミングを行います。       |

# 1

## キット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

### 液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う

1. スプレーヤを洗淨するオペレーターズマニュアルの「スプレーヤの洗淨」を参照。

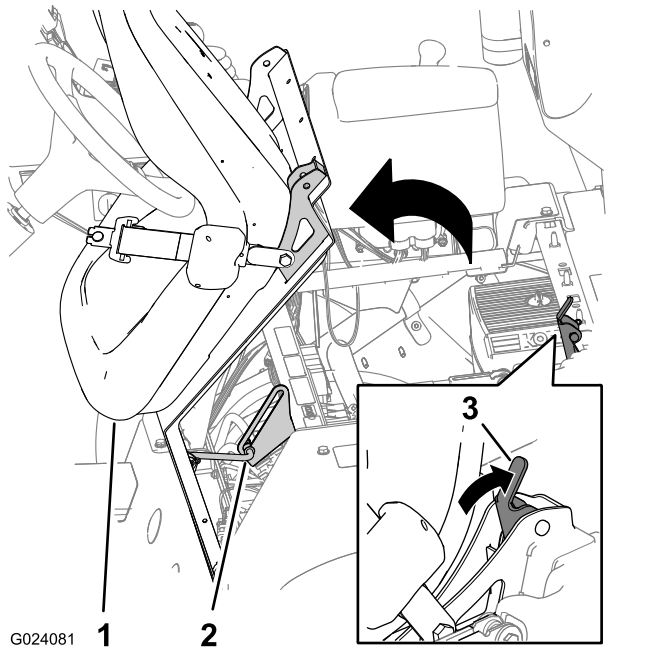
**重要**このキットの取り付けを行う前に、タンクを完全に空にしてください。

2. **すすぎキットオプションを搭載している場合には、以下の作業を行う**
  - A. すすぎタンクから液剤タンクへ水を移動させるすすぎキットの**取り付け要領書**の「すすぎキットの使用方法」を参照。
  - B. 液剤タンクを空にする散布車の**オペレーターズマニュアル**の「スプレーヤの洗淨」を参照。
3. 左右のブームを散布位置に降下させる。
4. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させてキーを抜き取る **オペレーターズマニュアル**を参照。

**重要**ジオリンクキットを取り付ける前に、平らな場所に移動する。

## バッテリーの接続を外す

1. キースイッチをOFF 位置にして抜き取る; オペレーターズマニュアルを参照。
2. 座席ラッチのハンドルを後ろに押して座席のラッチを解除する 図 3。



G024081

g024081

図 3

1. 運転席
2. 支持棒
3. 座席ラッチのハンドル

3. 座席と座席プレートを前に倒す 支持棒の端部がブラケットのスロットの一番下までくるように、座席を完全に前に倒す 図 3。
4. バッテリーのマイナスケーブルをバッテリーのマイナス端子に固定しているボルトとナットを外す。

## 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの接続ルートが不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

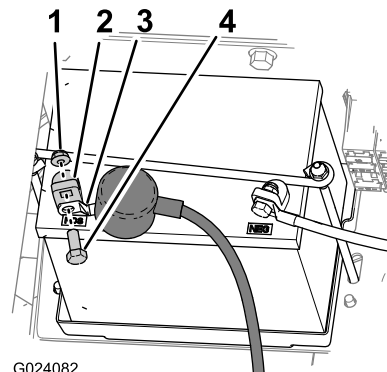
- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属部を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子と金属を接触させない。
- バッテリー押さえは必ず取り付ける。

5. バッテリーのプラスケーブルのカバーを外し、プラスケーブルをバッテリーのプラス端子に固定しているボルトとナットを外す 図 4。

注 外したケーブルの端子部分がバッテリー端子に触れないように十分注意してください。



G024082

g024082

図 4

1. ナット
2. バッテリー端子
3. 端子プラス+ケーブル
4. ボルト

6. エンジンが完全に冷えるのを待つ。

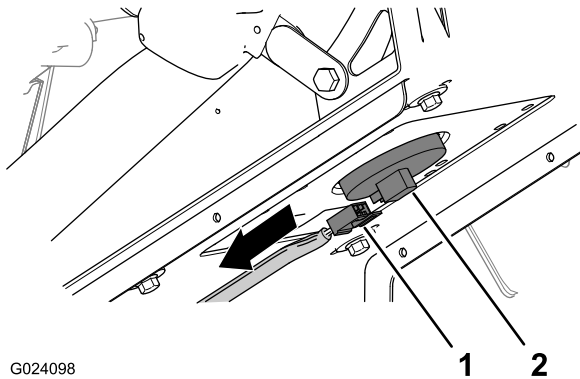
# 2

## 運転席とエンジンアクセスパネルを外す

必要なパーツはありません。

### 運転席を取り外す

1. 座席スイッチのコンネクタに接続されている機体本体用ハーネスから、2ソケットコンネクタを外す [図5](#)。

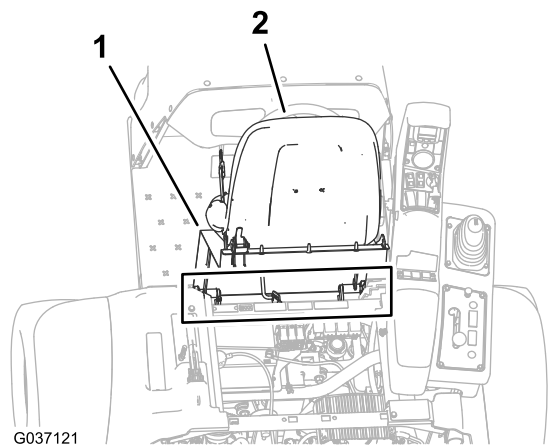


G024098

g024098

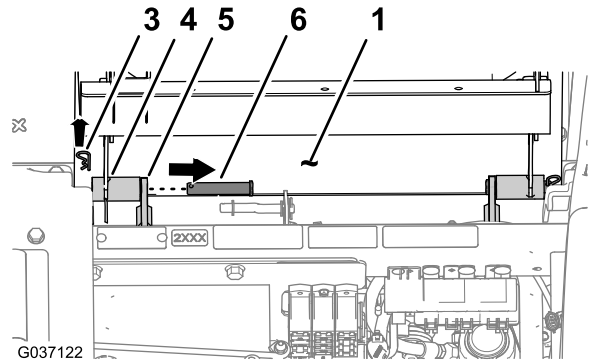
図5

1. 2ソケットコンネクタ車両のワイヤハーネス
2. 座席スイッチ用コンネクタ



G037121

g037121



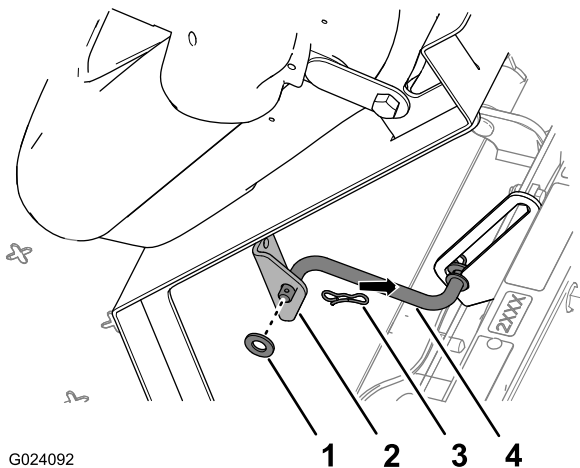
G037122

g037122

図7

1. 座席プレート
2. 運転席
3. ヘアピン
4. ピボットフィッティング座席パン
5. シャーシブラケット
6. ピボットピン

2. 座席プレート下で、支え棒をブラケットに固定しているヘアピンを抜き取る [図6](#)。



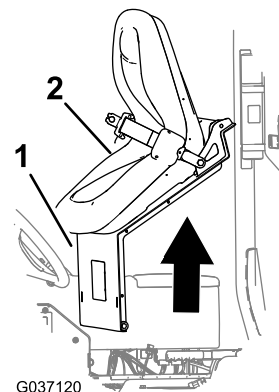
G024092

g024092

図6

1. ワッシャ
2. ブラケット座席用
3. ヘアピン
4. 支え棒

4. 座席と座席プレートをシャーシに固定しているヘアピン2本を抜き取る [図7](#)。
5. 座席と座席プレートを持ち上げて車体から取り外す [図8](#)。



G037120

g037120

図8

1. 座席プレート
2. 運転席

3. 座席プレートのピボットフィッティングをシャーシブラケットに固定しているヘアピン2本を抜き取る [図7](#)。

## エンジンアクセスパネルを外す

1. エンジンアクセスパネルのラッチのハンドルを上げる 図 9。

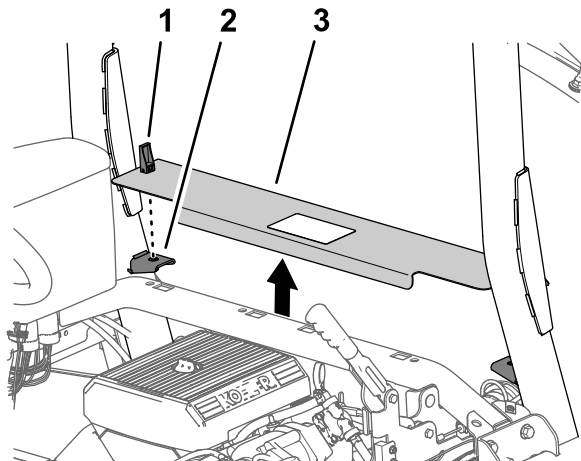


図 9

1. ラッチ
2. パネルのサポートブラケット
3. エンジンアクセスパネル

2. エンジンアクセスパネル持ち上げて機体から取り外す 図 9。

# 3

## 左右の前フェンダとフードを取り外す

必要なパーツはありません。

### 左右の前フェンダを取り外す

1. 左前フェンダを ROPS のチャンネル部に固定している押し込みファスナー2本を外す 図 10。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。

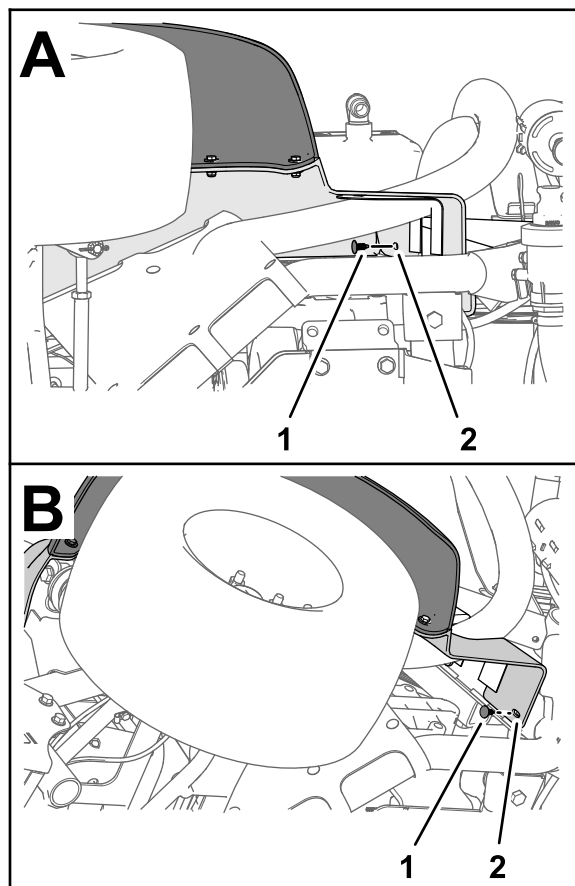
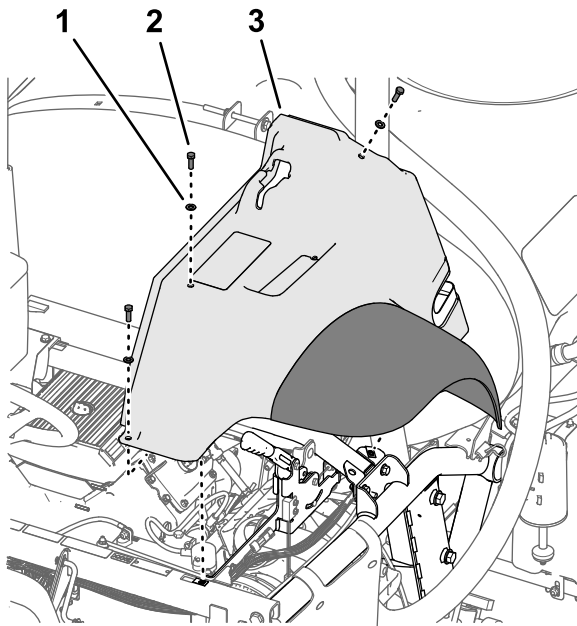


図 10

1. 押し込みファスナー
  2. 左前フェンダ
2. フェンダを車体フレーム5/16 x 1"3本とワッシャ5/16"3枚を取り外す 図 11。



g197152

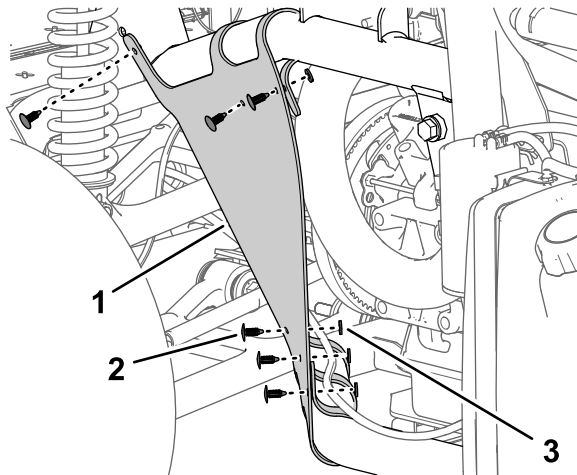
図 11

1. ワッシャ5/16"
2. ボルト5/16 x 1"
3. 左前フェンダ

3. 機体からフェンダを外す。

**注** 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。外したフェンダ、ねじ、ワッシャは **左右の前フェンダを取り付ける (ページ 91)** で使用します。

4. 内側フェンダのシュラウドを車体フレームに固定している押し込みファスナー 6 本とワッシャ9/16 x 1/2" 5 枚を取り外す **図 12**。



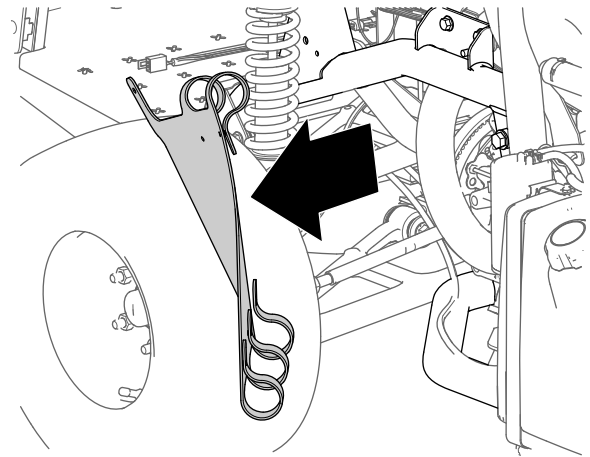
g197150

図 12

1. 内側フェンダ用シュラウド
2. 押し込みファスナー
3. ワッシャ9/16 x 1/2"

5. 機体からフェンダを外す **図 13**。

**注** 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。



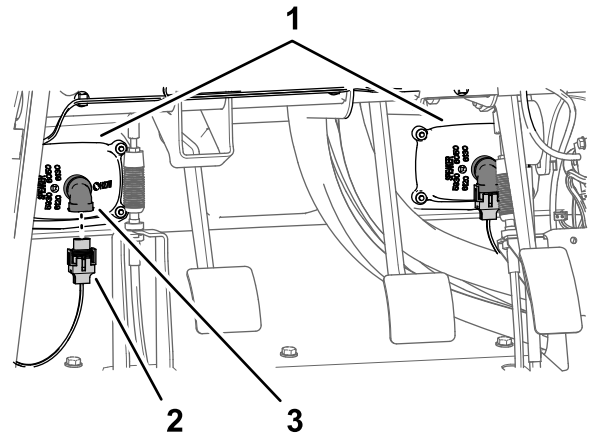
g197149

図 13

6. 機体の反対側のフェンダと内側フェンダ用シュラウドについても **1** から **5** の作業を行う。

## フードを外す

1. 左右のヘッドライトの 2 ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの 2 個のコネクタ2 ソケットを外す **図 14**。



g197153

図 14

1. ヘッドライト
2. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
3. 2ピンコネクタヘッドライト

2. フードをダッシュボードと車体フレームに固定している押し込みファスナー9個を外す **図 15**。

**注** 押し込みファスナーは **フードを取り付ける (ページ 90)** で使用するのので廃棄しないでください。

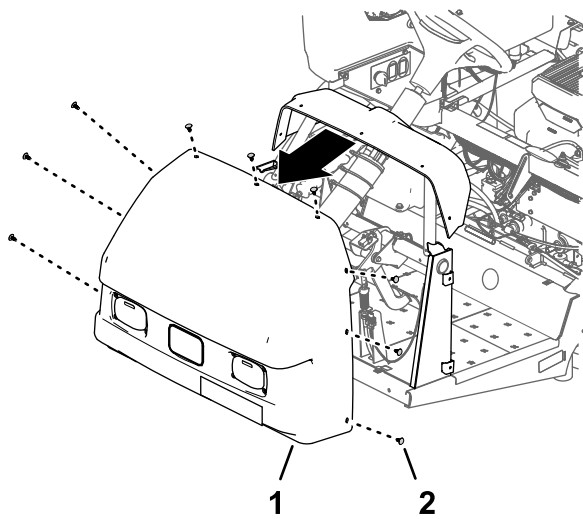


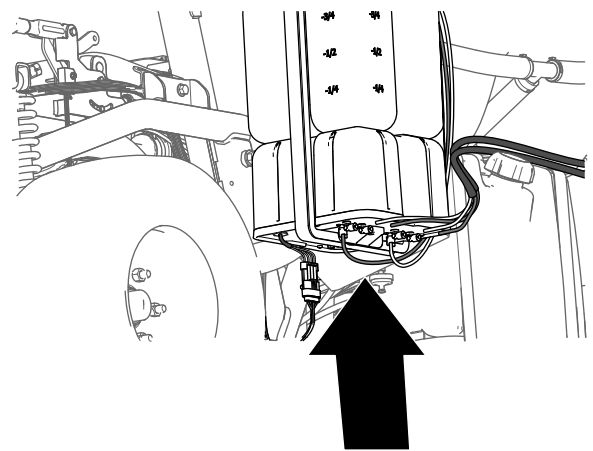
図 15

g197148

1. フード
2. 押し込みファスナー

3. 機体からフードを外す 図 15。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。



g197746

# 4

## フォームマーカークイットオプションの接続を外す

この作業に必要なパーツ

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| 2 | チューブアセンブリ Toro P/N 114-9553 |
| 8 | ケーブルタイ                      |

## コンプレッサから原液チューブと空気チューブを取り外す

フォームマーカークイット2017年度以降

1. フォームマーカークイット用の接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する 図 16。

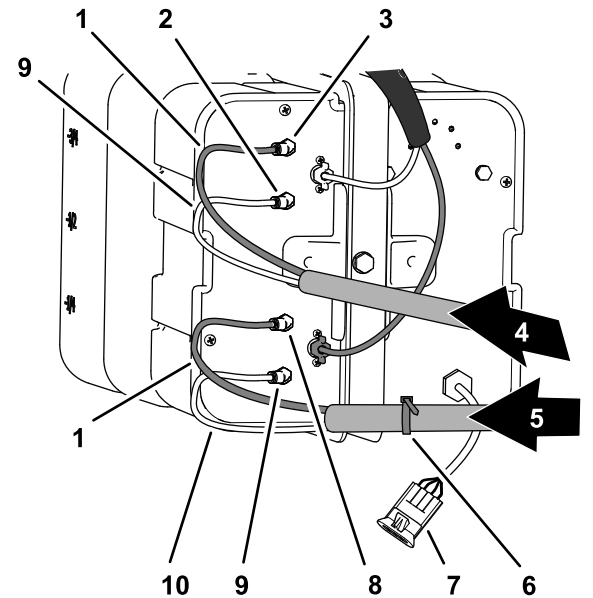


図 16

g266328

1. 青いチューブ
2. 空気用フィッティング左ブーム
3. 原液用フィッティング左ブーム
4. 泡用チューブ左ブーム
5. 泡用チューブ右ブーム
6. ケーブルタイ
7. 電気コネクタ
8. 原液用フィッティング右ブーム
9. 透明チューブ
10. 空気用フィッティング右ブーム

2. ロッキングカラーを押し込む 図 17。

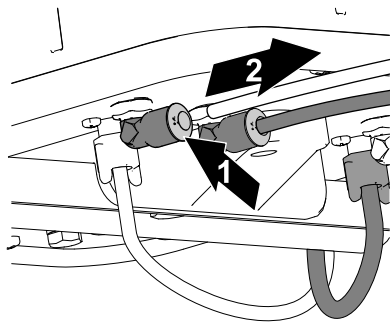
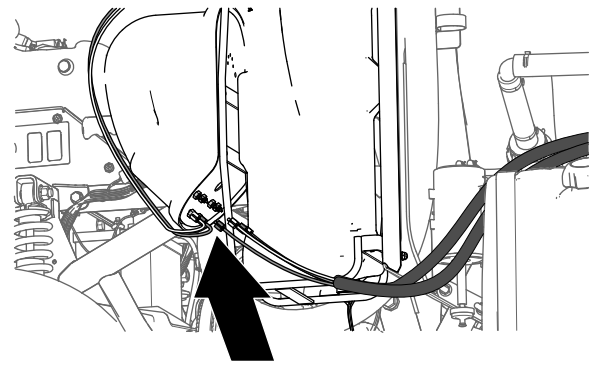


図 17

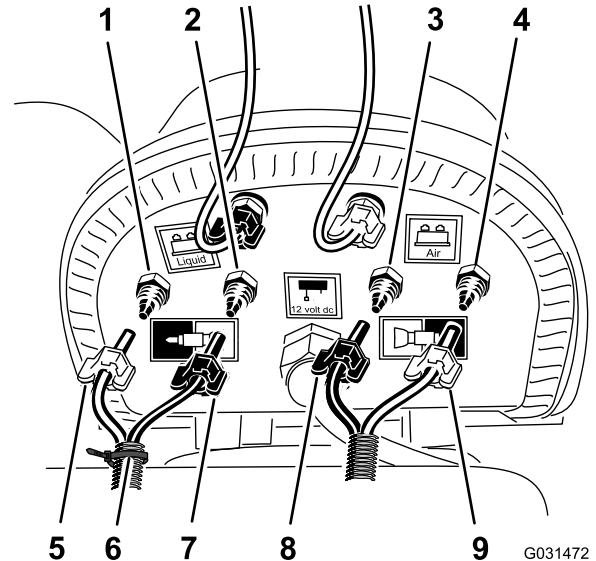
g197769

1. ロックカラーを押し込む
2. チューブを引き出す

3. フィッティングからチューブを引き出す 図 17。
4. 他のチューブ 3 本についても、ステップ 2-3 の作業を行う。



g197745



G031472

g031472

## コンプレッサから原液チューブと空気チューブを取り外す

### フォームマーカークिट2016年度以前

1. フォームマーカークिट用の接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する 図 18。

図 18

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 空気圧縮フィッティング右ブーム    | 6. ケーブルタイ             |
| 2. 原液圧縮フィッティング右ブーム    | 7. 圧縮ナット水用右ブーム、透明チューブ |
| 3. 原液圧縮フィッティング左ブーム    | 8. 圧縮ナット左ブーム、青色チューブ   |
| 4. 空気圧縮フィッティング左ブーム    | 9. 圧縮ナット左ブーム、透明チューブ   |
| 5. 圧縮ナット空気用右ブーム、青チューブ |                       |

2. 左および右ブーム部で、泡ノズル用の透明チューブ 2 本と青色チューブ 2 本の圧縮ナットをゆるめる 図 18。
3. ブーム用の圧縮フィッティングからチューブ 4 本を外す 図 18。

## ブームから原液チューブと空気チューブを取り外す

1. 左ブーム用の泡液剤チューブと空気チューブ、および右ブーム用の液剤チューブと空気チューブを区別できるようにテープなどでマーキングする。
2. 左右のブームで、泡ノズルからチューブを外し、ブームの支点近くにある R クランプから抜き出す [図 19](#)。

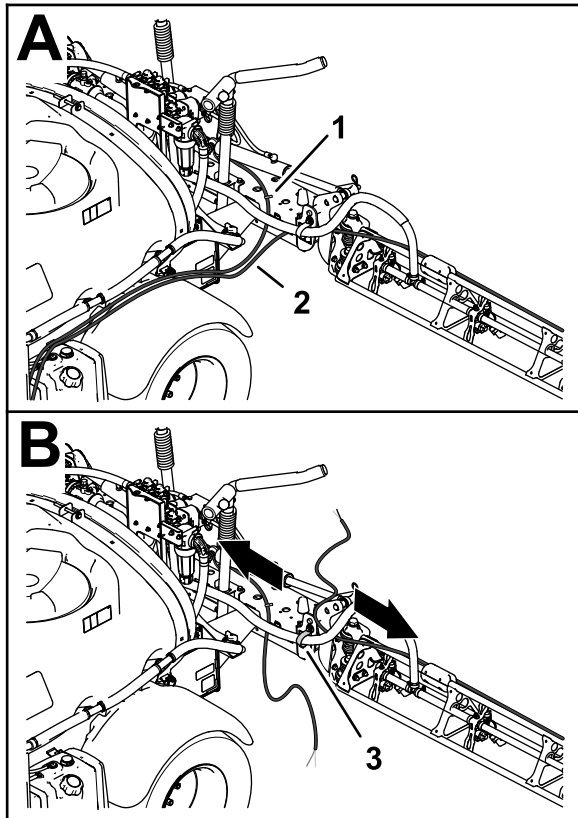


図 19

g197783

1. チューブフォームマーカのノズル用左ブーム用
2. チューブフォームマーカのノズル用右ブーム用
3. R クランプ

3. **センターブーム延長キット** が装着されているマシンでは、外したチューブの端部を右または左ブームに仮止めし、以下の作業は行わない **フォームマーカのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う** (ページ 15) および **新しいチューブアセンブリを取りつける** (ページ 16)。

## フォームマーカのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う

オプションのセンターブーム延長キットを搭載していない車両

1. フォームマーカの透明チューブと青色チューブを左右のブームに固定しているケーブルタイを外す [図 20](#)。

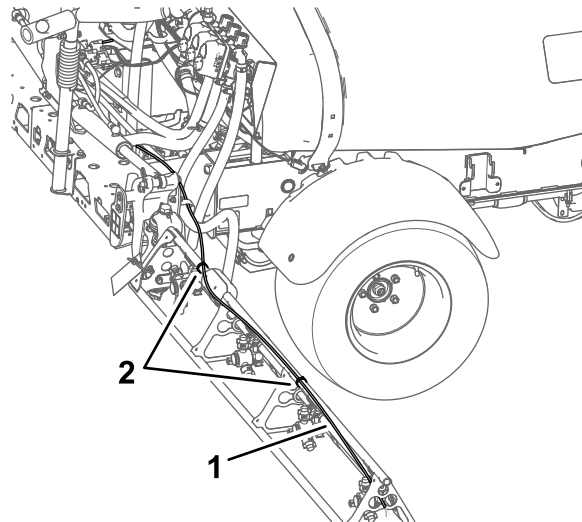
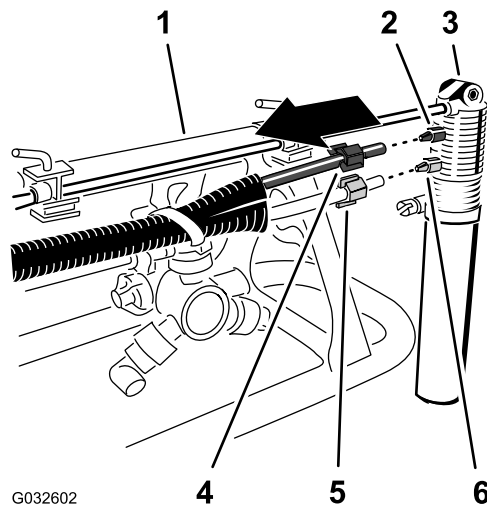


図 20

g197816

1. 原液チューブと空気チューブ
  2. ケーブルタイ
- ブ図は右ブーム

2. フォームマーカのノズル部で、ノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブ水を固定している圧縮ナットをゆるめる [図 21](#)。



G032602

g032602

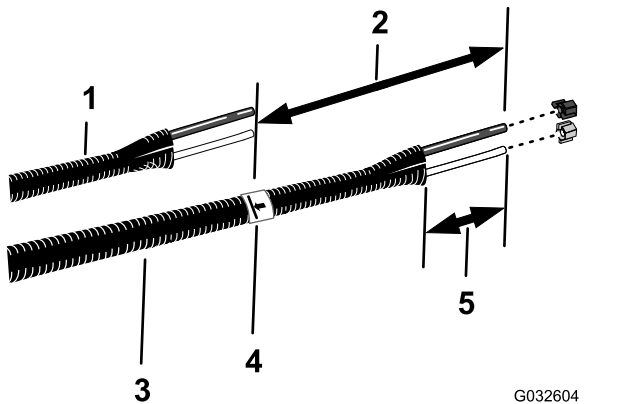
図 21

1. 外側左右のブーム
2. 圧縮フィッティング青
3. フォームマーカのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング白

3. フォームマーカのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブ空気を固定している圧縮ナットをゆるめる [図 21](#)。
4. 機体から原液チューブと空気チューブを取り外す。
5. チューブの両端にある圧縮ナットを取り外す [図 21](#)。

**注** 外した圧縮ナットは、ステップ 1 **新しいチューブアセンブリを取りつける** (ページ 16) で使用します。

6. 古い原液チューブと空気チューブ [図 22](#) を新しいチューブアセンブリ Toro P/N 114-9553 に合わせて並べる。



**図 22**

1. 古い原液チューブと空気チューブ
2. 26 cm
3. 新しいチューブアセンブリ Toro P/N 114-9553
4. テープとマーク
5. 77-102 mm

7. 古い原液チューブと空気チューブに合わせて新しいチューブアセンブリにテープで印をつける。
8. ステップ 7 で新しいチューブアセンブリに付けたマークから 26cm の所にマーキングを施し、この位置長さを増やした方のマークでチューブアセンブリを切断する [図 22](#)。
9. 古い原液チューブと空気チューブにケーブルタイでマーキングが施されている場合には、新しいチューブアセンブリにも同じようにマーキングするが、マーキングされていない場合には、ステップ 10 へ進む。

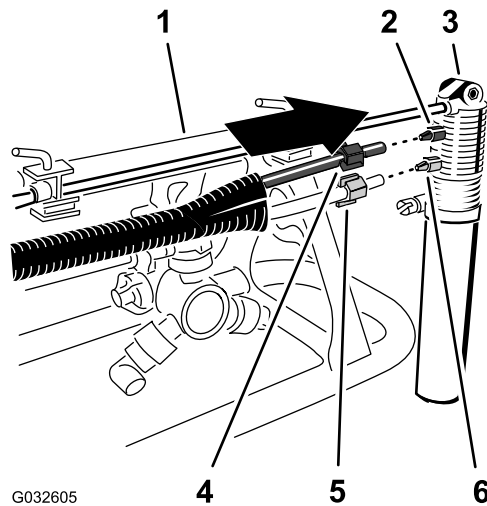
**注** 古い原液チューブと空気チューブは、これで不要になりました。

10. チューブアセンブリの各チューブの端部から、外被覆を 77-102 mm はぎ取る [図 22](#)。
11. 機体の反対側のチューブについても 1 から 10 の作業を行う。

## 新しいチューブアセンブリを取りつける

### オプションのセンターブーム延長キットを搭載していない車両

1. 青色チューブに青色圧縮ナットを取り付け、透明チューブに白色圧縮ナットを取り付ける ([図 23](#))。



**図 23**

1. ブームの外側端部
2. 圧縮フィッティング青
3. フォームマーカのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング白

2. フォームマーカのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブの白色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする [図 23](#)。
3. フォームマーカのノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブの青色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする [図 23](#)。
4. [図 24](#) に示すように、ブームの上側サポートポールの後ろ側に沿ってチューブアセンブリを配設する。

**重要間違えてブームの上側サポートポールの前側に沿ってチューブアセンブリを配設してしまうと、ブームを折りたたんだ時にブームとクレードルとの間にチューブが挟まれてしまいます。**

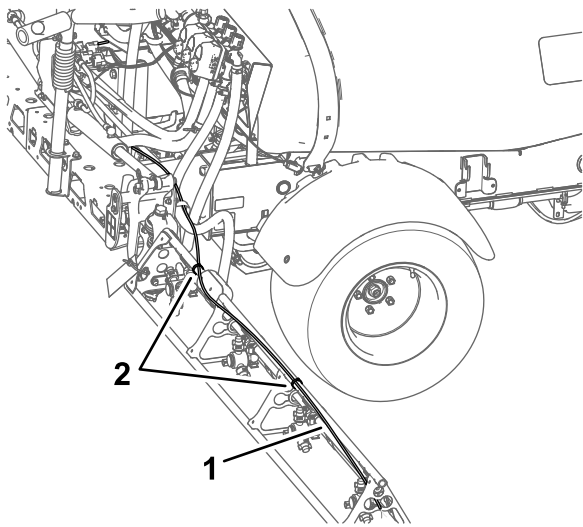
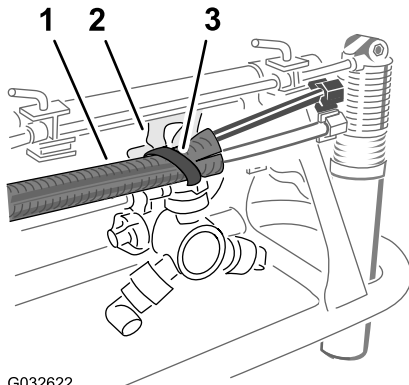


図 24

g197816

1. チューブアセンブリ図は右 2. ケーブルタイ  
boom

5. 図 25に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをノズルサポートの穴に固定する。



G032622

図 25

g032622

1. チューブアセンブリ 3. ケーブルタイ  
2. ノズルサポート

6. 図 24に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをboomに固定する。  
7. チューブアセンブリの自由端を、boomに仮止めする。  
8. マシンの反対側でも、ステップ 1-6 の作業を行う。

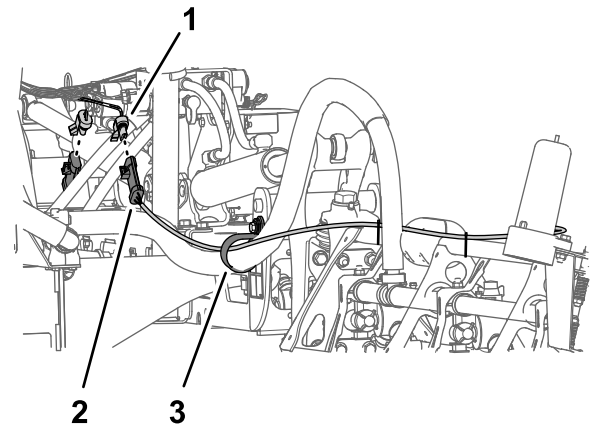
# 5

## ウルトラソニックboomレベリングキットオプションの接続を外す

必要なパーツはありません。

### 手順

1. ウルトラソニックboomレベリングキットのワイヤハーネスの3ピンコネクタを、車両のワイヤハーネスの3ソケットコネクタから外す 図 26。



g198450

図 26

1. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス 3. サポートクランプ  
2. 3ピンコネクタウルトラソニックboomレベリングキットのワイヤハーネス

2. マシンの反対側のウルトラソニックboomのワイヤハーネスの3ピンコネクタにも、ステップ 1の作業を行う。

# 6

## カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す

必要なパーツはありません。

### 手順

1. センターセクションカバー11ノズルを支えておいて、このカバーをカバーサポートブラケットに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 1/4" 4本とカバーストラップ2本を外す [図 27](#)。

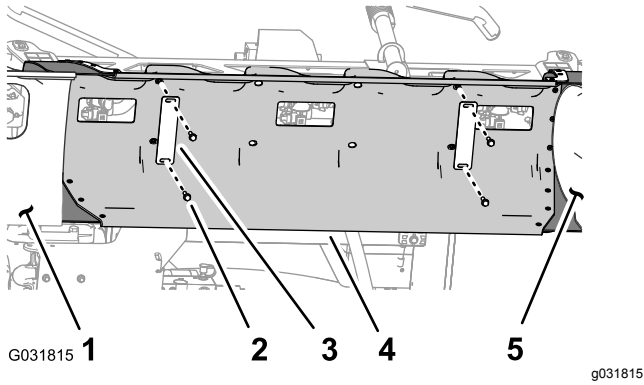


図 27

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. ブームカバー左                | 4. センターセクションカバー |
| 2. フランジヘッドボルト 5/16 x 1/4" | 5. ブームカバー右      |
| 3. カバーストラップ               |                 |

2. 機体からセンターセクションカバーを外す [図 28](#)。

**注** 外したカバー、カバーストラップ、フランジヘッドボルトは、ステップ 1と2 センターブーム用カバーを取り付ける ([ページ 68](#))で使用します。

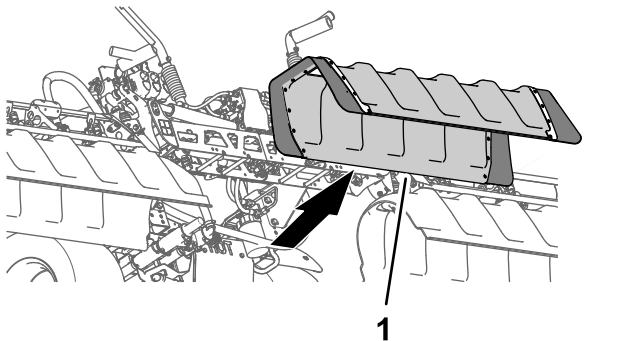


図 28

1. センターセクションカバー

# 7

## ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

必要なパーツはありません。

### ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

**注** スプレーガンキットオプションを搭載している車両では、[水圧検知チューブと散布ホースを外す \(ページ 19\)](#)を参照してください。

1. 右側ブーム用バルブのエンドキャップのカップラにあるカラーを押し込む [図 29](#)。

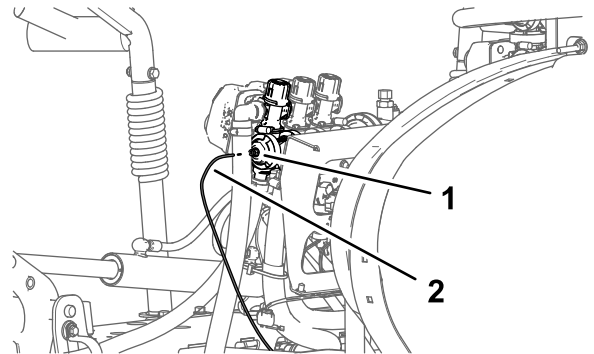


図 29

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| 1. チューブカップラ右ブームバルブのエンドキャップ | 2. 水圧検知チューブ |
|----------------------------|-------------|

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す [図 29](#)。

## 水圧検知チューブと散布ホースを外す オプションのハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. 右側ブーム用バルブの90°エルボに、チューブカップラのカラーを押し込む [図 30](#)。

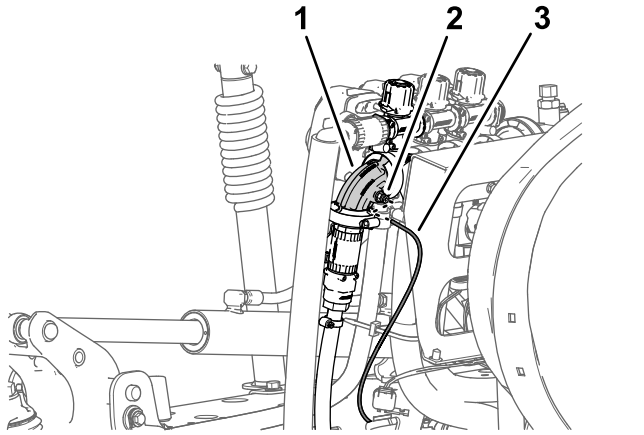


図 30

1. 90°エルボ右ブームバルブ
2. チューブカップラ
3. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す [図 30](#)。

**注** 散布ホース用のシャットオフバルブの90°エルボは右側ブーム用バルブのフランジから外さないでください。

# 8

## 散布バルブのコネクタを取り外す

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 3つの散布バルブアクチュエータのそれぞれについている3ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの3ソケットコネクタそれぞれLEFT SPRAY VALVE、CENTER SPRAY VALVE、RIGHT SPRAY VALVEというラベルがついているを外す [図 31](#)。

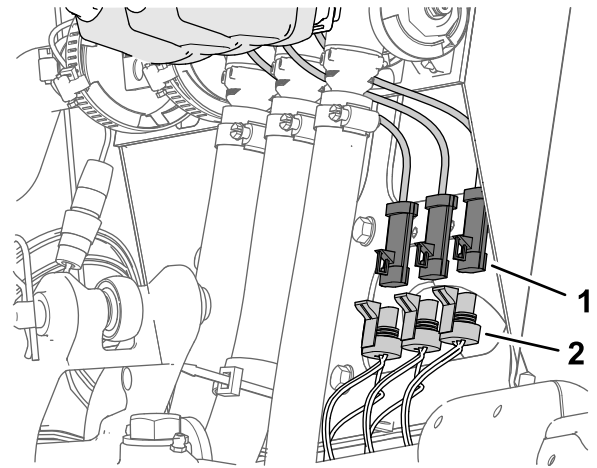


図 31

1. 3ピンコネクタ散布バルブのアクチュエータ
2. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスLEFT SPRAY VALVEは左ブーム用、CENTER SPRAY VALVEは中央ブーム用、RIGHT SPRAY VALVEは右用

2. 車両用ワイヤハーネスのうち、RATE VALVEというラベルのついた4ソケットコネクタを、レートバルブのアクチュエータの4ピンコネクタから外す [図 32](#)。

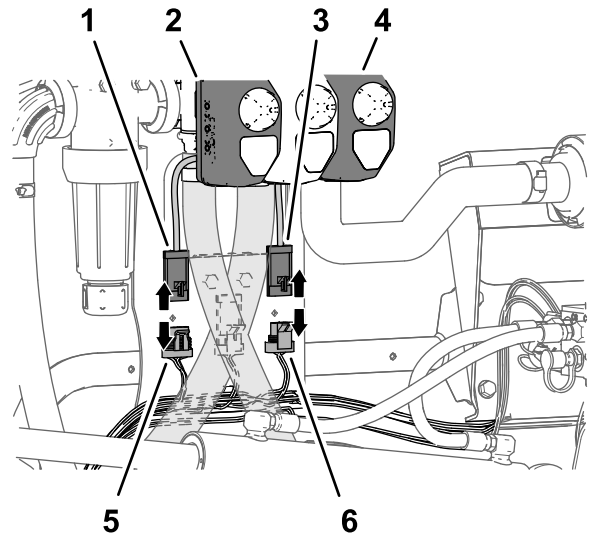


図 32

1. 4ピンコネクタレートバルブのアクチュエータ
2. アクチュエータレートバルブ
3. 3ピンコネクタマスター散布バルブのアクチュエータ
4. アクチュエータマスター散布バルブ
5. 4ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス、レートバルブ
6. 3ソケットコネク車両のワイヤハーネス、マスター散布バルブ

3. 車両用ワイヤハーネスのうち、MASTER SPRAY VALVEというラベルのついた3ソケットコネクタを、マスター散布バルブのアクチュエータの3ピンコネクタから外す [図 32](#)。

# 9

## 散布レートスイッチを外す

この作業に必要なパーツ

|   |          |
|---|----------|
| 1 | ケーブルタイ   |
| 1 | スイッチのプラグ |

### 手順

1. 3スイッチパネルを制御コンソールに固定しているフランジヘッドねじ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$ "4本を外す 図 33。

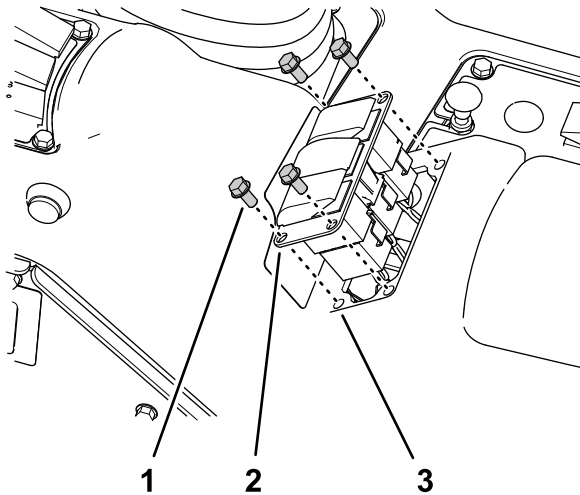


図 33

g198659

1. フランジヘッドねじ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$ "
2. 3スイッチパネル
3. 開口制御コンソール

2. レート制御スイッチのロックタブをつまんで、スイッチを3スイッチパネルから押し出す 図 34。

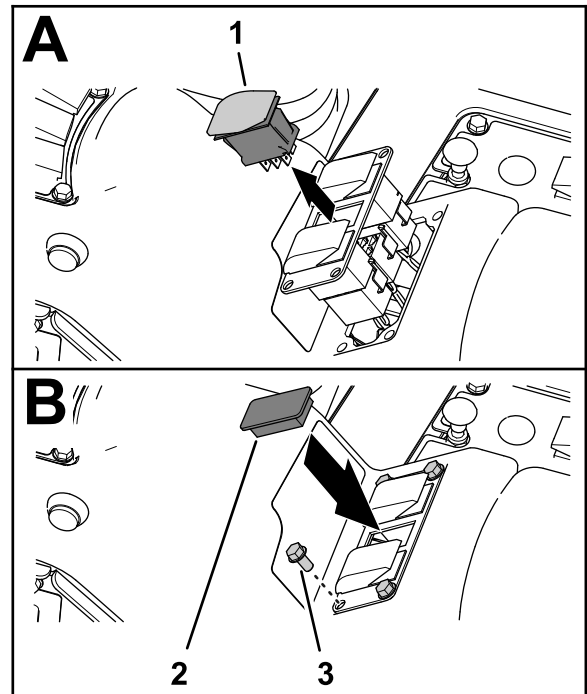


図 34

g198658

1. レート制御スイッチ
2. スwitchのプラグ
3. フランジヘッドねじ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$ "

3. 車両用ワイヤハーネスのうち、**Rate Switch**というラベルのついた8ソケットコネクタを、スイッチの8ピンコネクタから外す 図 33。

**注** 機体から外したレートスイッチは、もう使用しません。

4. 前ハーネスの、レートスイッチ用の枝線を、3スイッチパネルの穴に通し、電気コードをケーブルタイで近くの電気コードに縛り付ける。
5. 3スイッチパネルを制御コンソールに組み付ける 図 34ステップ 1で取り外したフランジヘッドねじ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$ "4本を使用する。
6. 3スイッチパネルの穴に、スイッチプラグを合わせる 図 33。
7. 3スイッチパネルにスイッチプラグを押し込む。プラグがパチンと音を立てて嵌るまで押し込む 図 33。

# 10

## ブームを取り外す

必要なパーツはありません。

### ブームホースを取り外す

1. 左右のブームで、給液ホースをバーブ付きT字フィッティングに固定しているホースクランプを外す 図 35。

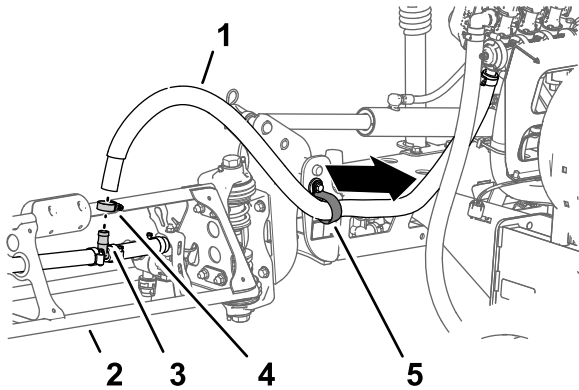


図 35

g198451

1. ブーム給液ホース左右ブーム
2. 外側右または左ブーム
3. バーブ付き字フィッティング
4. ホースクランプ
5. R クランプ

2. 字フィッティングからホースを取り外す 図 35。
3. ホース端部をRクランプから外す 図 35。
4. 機体の反対側のブームでも、ステップ 1-3 の作業を行う。
5. センターブームの下で、センターブームに給液しているホースをバーブ付きT字フィッティングに固定しているクランプを外す 図 36。

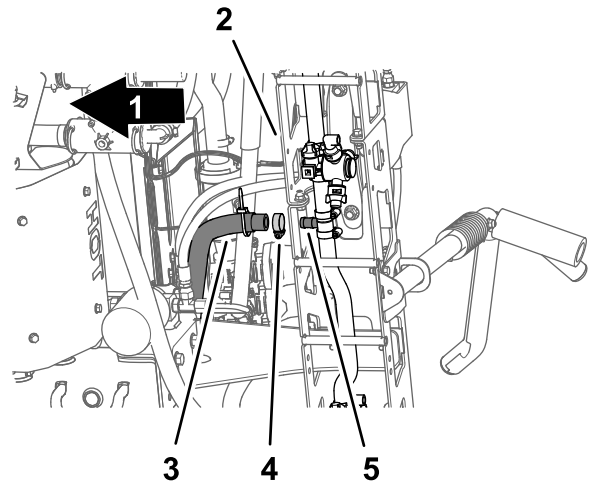


図 36

g198473

1. 車体前方
2. センターブーム
3. 給液ホースセンターブーム
4. ホースクランプ
5. バーブ付き字フィッティング

6. 左、中央、右ブームバルブでそれぞれクイックカップラ固定しているリテーナを外す 図 37。

**注** リテーナは 各ホースをノズルバルブ7-10 番に取り付ける。(ページ 58)で使用します。

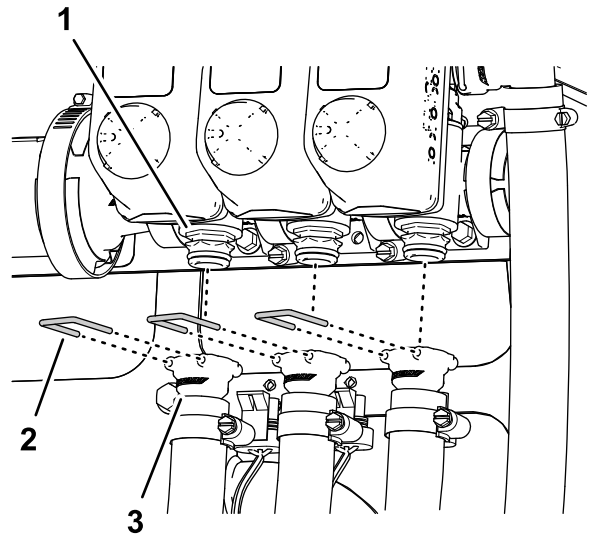


図 37

g198474

1. クイックカップラブームバルブ
2. リテーナ
3. クイックカップラソケット給液ホース

7. 各ブームバルブのクイックカップラから、左、中央、右の各ブーム給液ホースを外し、車両からホースを外す 図 37。

**注** 左、中央、右ブーム用の給液ホースは廃棄して構いません。

## 昇降シリンダから、伸長用ホースと引き込み用ホースを外す。

1. 左右の昇降シリンダの伸長ポートと引き込みポートからホースを外す [図 39](#)。

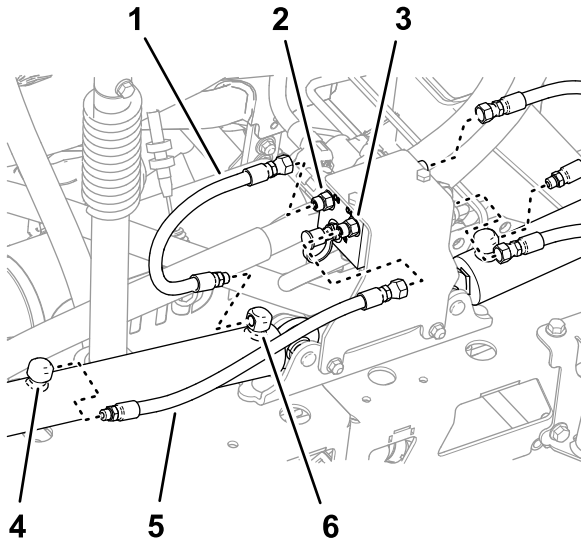


図 38

g198542

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. ホース伸長ポート            | 4. 引き込み用ポート昇降シリンダ |
| 2. ポート C3 昇降シリンダのマニホルド | 5. ホース引き込みポート     |
| 3. ポート C4 昇降シリンダのマニホルド | 6. 伸長用ポート昇降シリンダ   |

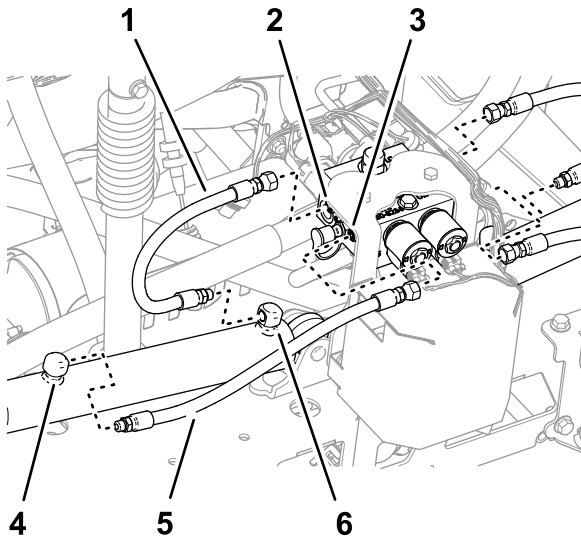


図 39

g198541

オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. ホース伸長ポート            | 4. 引き込み用ポート昇降シリンダ |
| 2. ポート C3 昇降シリンダのマニホルド | 5. ホース引き込みポート     |
| 3. ポート C4 昇降シリンダのマニホルド | 6. 伸長用ポート昇降シリンダ   |

2. 昇降シリンダマニホルドのC2ポートとC4ポートからホースを外す [図 39](#)。
3. 左右の昇降シリンダの引き込みポートからホースを外す [図 39](#)。
4. 昇降シリンダマニホルドのC1ポートとC3ポートからホースを外す [図 39](#)。

注 外したホースは不要です。

## 昇降シリンダを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト・ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを支える。
2. 昇降シリンダをピボットブラケットに固定しているヘアピンとクレビスピンを取り外す [図 40](#)。

注 ヘアピンとクレビスピン 昇降シリンダを組み立てる ([ページ 51](#)) で取り付けに使用します。

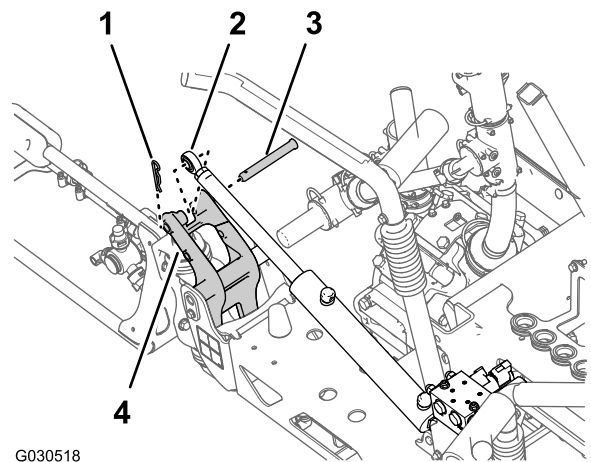


図 40

G030518

g030518

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1. ヘアピン              | 3. クレビスピン    |
| 2. ロッドのフィッティング昇降シリンダ | 4. ピボットブラケット |

3. ピボットピンをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"とフランジヘッドボルト5/16 x 3/4"を取り外す [図 41](#)。

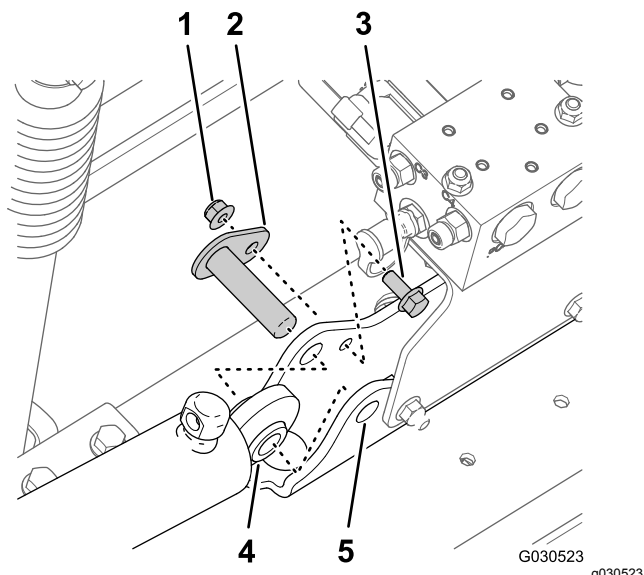


図 41

1. フランジロックナット5/16"
2. ピボットピン
3. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"
4. 昇降シリンダ
5. シリンダマウント

4. 機体から、ピボットピンと昇降シリンダを外す 図 41。
5. ステップ 左右のブームを取り外す (ページ 23) の手順を行う。

## 左右のブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 飛散防止カバーを搭載している車両では、左右のブームから飛散防止カバーを取り外す必要はありません。

### ▲ 警告

重量物の吊り上げは危険を伴う作業であり、最悪の場合は死亡事故を招く。

重量のある装置やアタッチメントを吊り上げる持ち上げる場合には、必ずそれに適した装置を用い、チェーンなどで確実に吊ること。

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト・ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. ピボットピンをピボットブラケットに固定しているフランジボルト5/16 x 1" とフランジロックナット5/16"を取り外す 図 42。

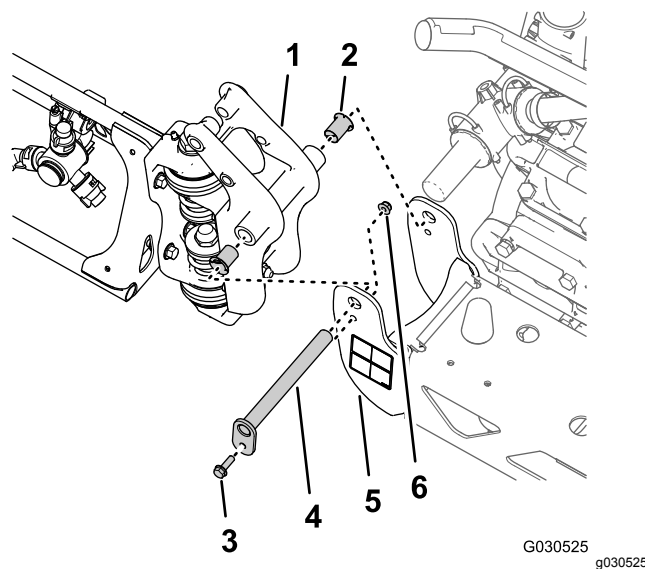


図 42

1. ピボットフィッティング左右
2. ナイロン製フランジブッシュ
3. フランジボルト5/16 x 1"
4. ピボットピン
5. ピボットブラケットセンターブーム
6. フランジロックナット5/16"

2. センターブーム用のピボットブラケット、および、左右ブーム用のピボットフィッティングからピボットピンを抜き取る 図 42。

注 フランジボルト、フランジナット、ピボットピンは 左右のブームを取り外す (ページ 23) で使用します。

3. センターブームから外側左または右ブームを切り離し、外側ブームを機体から外す 図 42。
4. 外側ブームのピボットフィッティングからナイロン製フランジブッシュ2個を外す 図 42。

注 ブッシュは廃棄してください。

5. マシンの反対側の外側左または右ブームにも、ステップ 1-3 昇降シリンダを取り外す (ページ 22) の作業を行う。
6. マシンの反対側の外側左または右ブームにも、この項のステップ 1-4の作業を行う。

## センターブームからブーム昇降マニホルドを外す

1. 以下の手順で、シリンダマウントからブームマニホルドを取り外す
  - オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載していない車両ブーム昇降マニホルド用サポートブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本を外して、マウントからマニホルドとブラケット外す 図 43。

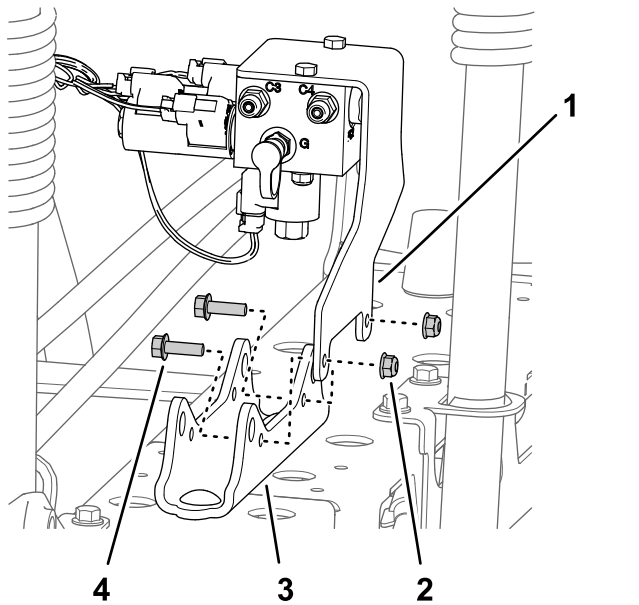
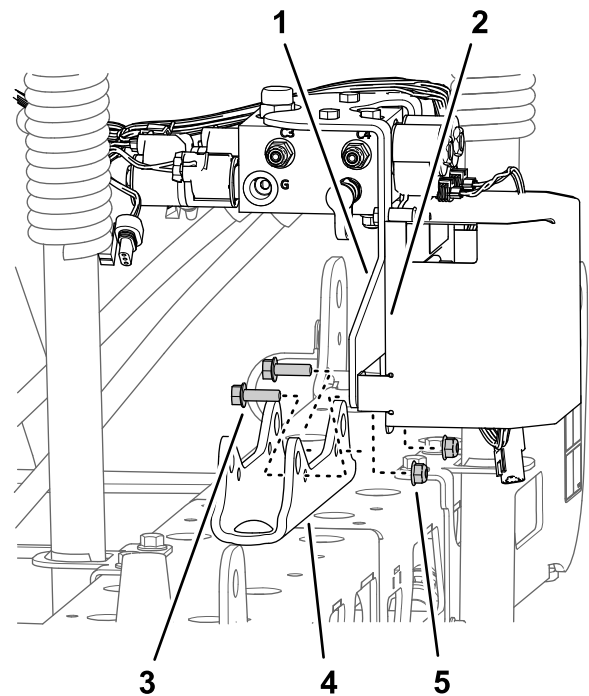


図 43

1. サポートブラケットブーム昇降マニホルド
2. フランジロックナット5/16"
3. シリンダマウント
4. フランジヘッドボルト5/16 x 1"

- オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両ブーム昇降マニホルド用サポートブラケットとTECコントロール用ブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本を外して、マウントからマニホルドとブラケット外す 図 44。



g198618

図 44

オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両

1. サポートブラケットブーム昇降マニホルド
2. TECコントロール用ブラケット
3. フランジヘッドボルト5/16 x 1"
4. シリンダマウント
5. フランジロックナット5/16"

2. ロープを使って、ブーム昇降マニホルドを散布バルブマニホルドに縛り付けて固定する。

注 サポートブラケット、昇降マニホルド、ボルト、ナットは、ステップ 19 昇降シリンダマニホルドをシリンダマウントに取り付ける (ページ 44) で使用します。

## センターブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 41kg

1. 飛散防止カバーを搭載している車両では、センターブームから飛散防止カバーを取り外してください。
2. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える [図 45](#)。

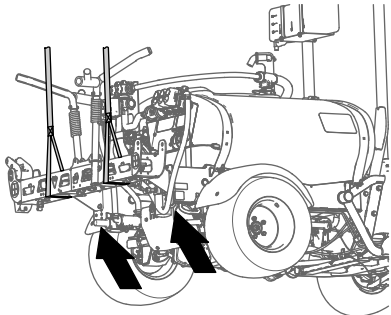


図 45

g198634

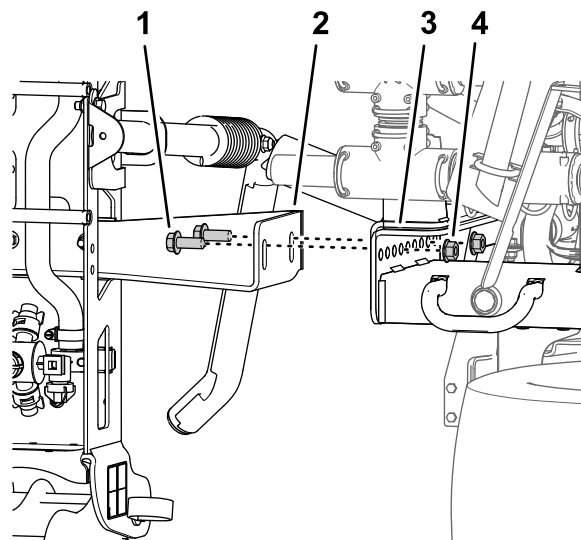


図 47

g198635

1. フランジヘッドボルト ½ x 1¼"
2. サポートブラケットセンターブーム)
3. 取り付け用チャンネル部材スプレーヤのフレーム
4. フランジロックナット ½"

3. フランジヘッドボルト ½ x 1¼" 4本とフランジロックナット ½" 4個でセンターブームのサポートブラケットを機体の取り付けプレートに固定している穴の位置を、テープなどでマーキングする [図 46](#)。

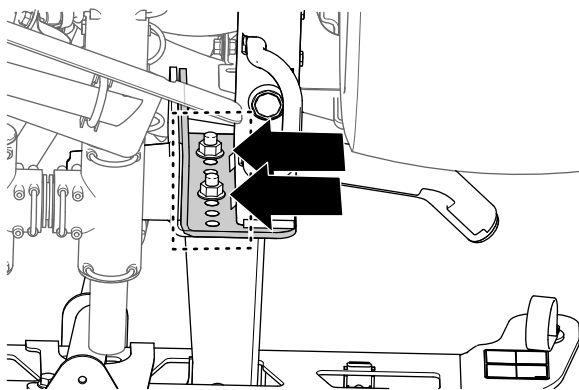


図 46

g198633

4. センターブーム用サポートブラケットを機体フレームの取り付けプレートに固定しているフランジヘッドボルト ½ x 1¼" とフランジロックナット ½" 4個とを外して、センターブームを機体から外す [図 47](#)。

**注** ボルトとロックナットは、新しいセンターブームの取り付けに再使用します。

# 11

## センターブームエクステンションを取り付ける

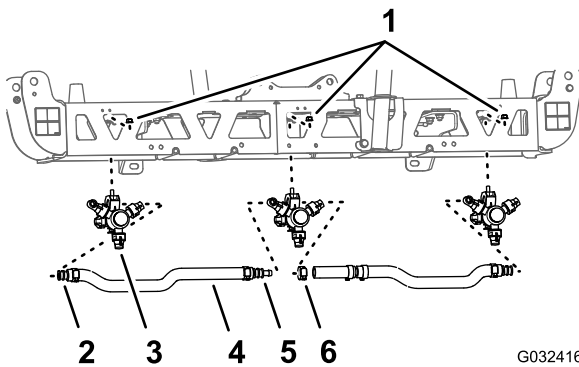
この作業に必要なパーツ

|   |                   |
|---|-------------------|
| 2 | フランジヘッドボルト ¾ x 1" |
| 2 | フランジロックナット ¾"     |
| 1 | センターブームエクステンション   |
| 1 | シリンダマウントワイド       |
| 1 | タイプレートワイド         |
| 4 | キャリッジボルト ½ x 1¼"  |
| 4 | フランジロックナット ½"     |

## スプレーヤのノズルを取り外す

1. センターブーム部で、ノズルをノズルマウントに固定しているフランジロックナット外す [図 48](#)と[図 49](#)。

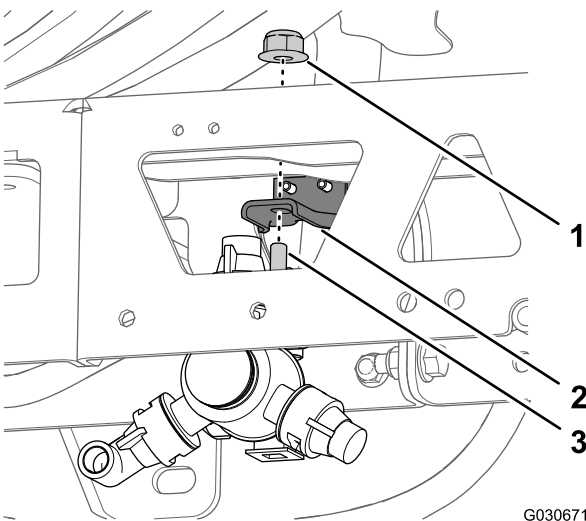
**注** 外したロックナットは、ステップ 6とノズルとホースをセンターブームに取り付ける (ページ 30) で使用します。



G032416  
g032416

図 48

- |                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. フランジロックナット5/16"        | 4. ホース内径 3/4"             |
| 2. 片側バーブ付きホースシャ<br>ンク3/4" | 5. 両側バーブ付きホースシャ<br>ンク3/4" |
| 3. スプレーノズル                | 6. ホースクランプ                |



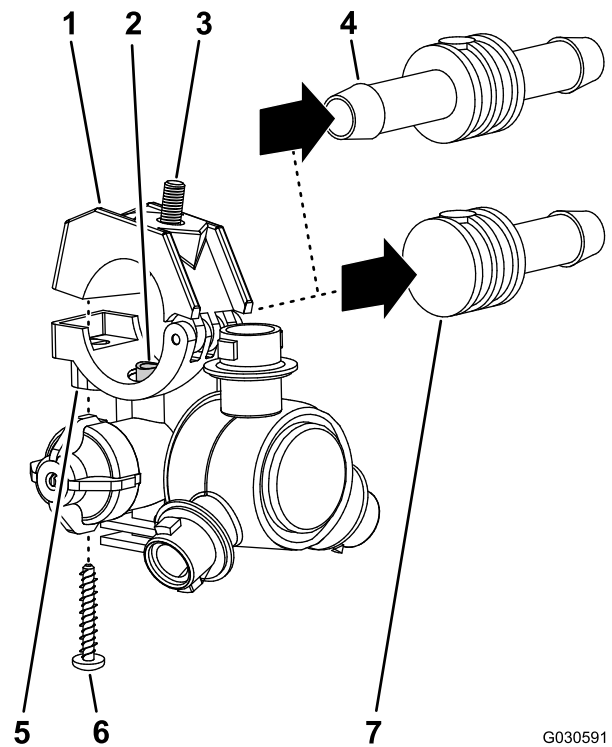
G030671  
g030671

図 49

- |                    |                                  |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. フランジロックナット5/16" | 3. 六角ヘッドボルト5/16 x<br>3/4"スプレーノズル |
| 2. ノズルマウント         |                                  |

2. 片側または両側バーブ付きホースシャック3/4"とそのクランプの上半分とをスプレーノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1 1/4"を外してバーブ付きホースシャックとホースをノズルから外す 図 50。

**注** クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"—ステンレスは再利用しますから捨てないでください。



G030591  
g030591

図 50

- |                                |                           |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. クランプの上半分                    | 5. サドルスプレーノズルのボ<br>ディ     |
| 2. トランスファチューブ                  | 6. ステンレスねじ#12 x 1 1/4"    |
| 3. 六角ヘッドボルト5/16 x<br>3/4"ステンレス | 7. 片側バーブ付きホースシャ<br>ック3/4" |
| 4. 両側バーブ付きホースシャ<br>ック3/4"      |                           |

3. センターブームからノズルを外す 図 48 と 図 49。  
4. 他の2個のノズルについても、上記の手順1と2を行う。

**注** 外したノズル、ステンレスねじ、六角ヘッドボルトは、ステップ 6と7 センターブーム用のノズルとホースを組み立てる (ページ 29)で使用します。

5. センターブームから、ホース内径 3/4"、バーブ付きホースシャック、クランプ、バーブ付き字フィッティングを外す 図 48。

**注** ホース、ホースシャック、クランプ、字フィッティングは、もう使用しません。

## センターブームからサポートブラケットを外す

吊り上げ装置に必要な能力: 41kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
2. サポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1"2本とフランジロックナット3/8"2個を外して、ブラケットを取り外す 図 51。

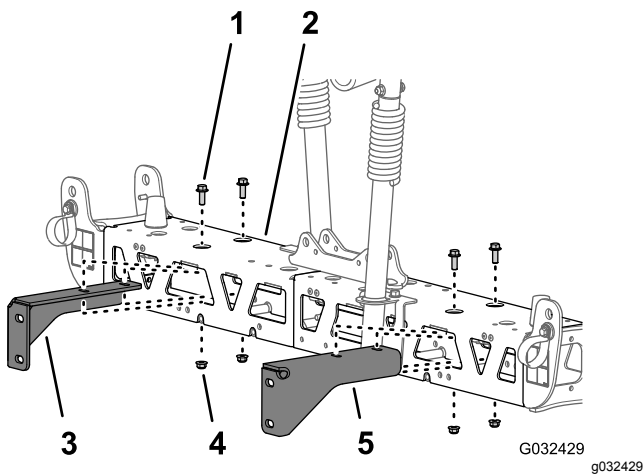


図 51

- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 1" | 4. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " |
| 2. センターブーム                       | 5. 左側サポートブラケットセンターブーム         |
| 3. 右側サポートブラケットセンターブーム            |                               |

3. もうひとつのサポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$  x 1" 2本とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ " 2個を外して、ブラケットを取り外す 図 51。

注 サポートブラケット、ボルト、ロックナットは、ステップ3と4 サポートブラケットをセンターブームに取り付ける (ページ 28) で使用します。

## センターブームのトラスを取り外す

1. 左右のトラスフレームの垂直フランジを固定しているフランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$  x 1" 2本とロックナット $\frac{3}{8}$ " 2個を取り外す 図 52。

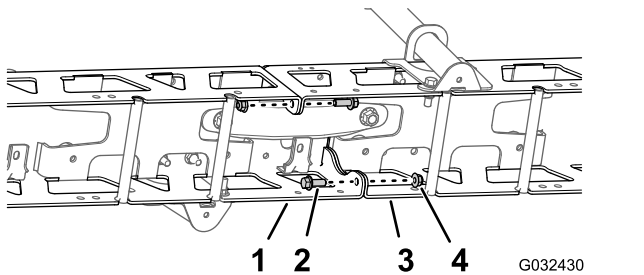


図 52

- |                                  |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 左側トラスフレーム                     | 3. 右側トラスフレーム              |
| 2. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 1" | 4. ロックナット $\frac{3}{8}$ " |

2. 幅狭のシリンダマウント、左右のトラスフレーム、幅狭のタイプレートを固定しているキャリッジボルト $\frac{1}{2}$  x 1 $\frac{1}{4}$ " 2本とロックナット $\frac{1}{2}$ " 2個を取り外す 図 53。

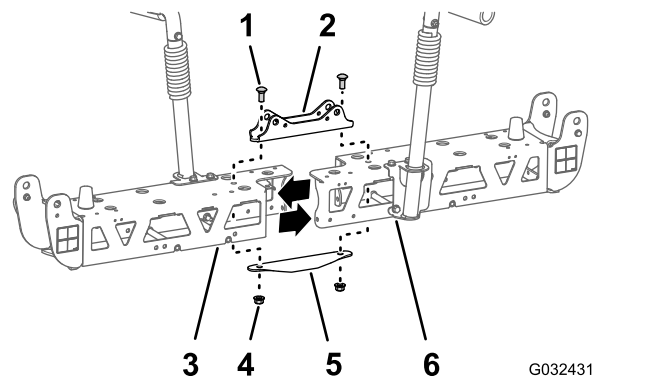


図 53

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1. キャリッジボルト $\frac{1}{2}$ x 1 $\frac{1}{4}$ " | 4. ロックナット $\frac{1}{2}$ " |
| 2. シリンダマウント幅狭                                 | 5. タイプレート幅狭               |
| 3. 左側トラスフレーム                                  | 6. 右側トラスフレーム              |

注 フランジヘッドボルト、キャリッジボルト、ロックナットは、ステップ2と7 センターブームエクステンションを取り付ける (ページ 27) で使用します。幅狭シリンダマウントと幅狭のタイプレートは、もう使用しません。

3. 左右のトラスフレームを分離する。

## センターブームエクステンションを取り付ける

1. センターブームエクステンションの垂直フランジについている穴を、トラスフレームの穴に合わせる 図 54。

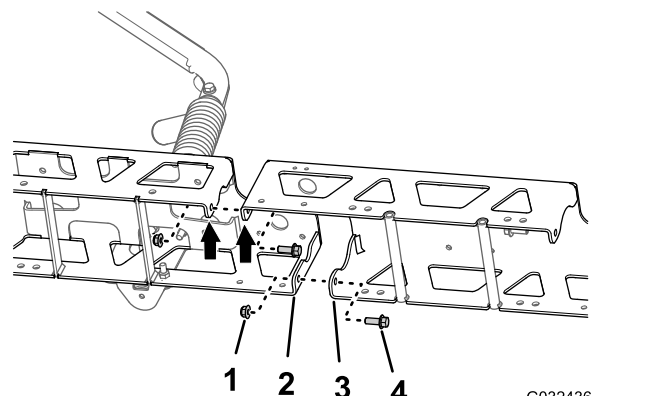


図 54

- |                               |                                  |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " | 3. 垂直フランジセンターブームエクステンション         |
| 2. 垂直フランジトラスフレーム              | 4. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 1" |

2. センターブームエクステンションをトラスフレームに仮組み付けする 図 54 ステップ 1 センターブームのトラスを取り外す (ページ 27) で取り外したフランジヘッドボルト ( $\frac{3}{8}$  x 1") 2本とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ "を使用する。

- センターブームエクステンションの垂直フランジについている穴を、もうひとつのトラスフレームについている穴に合わせる [図 54](#)。
- センターブームエクステンションをこのトラスフレームに仮組み付けする [図 54](#) ジオリンクスプレキシステム仕上げキットに入っているフランジヘッドボルト  $\frac{3}{8}$  x 1" 2本とフランジロックナット  $\frac{3}{8}$ " 2個を使用する [図 54](#)。
- シリンダマウントの穴を、トラスフレームのセンターラインの穴とセンターブームエクステンションの穴に合わせる [図 55](#)。

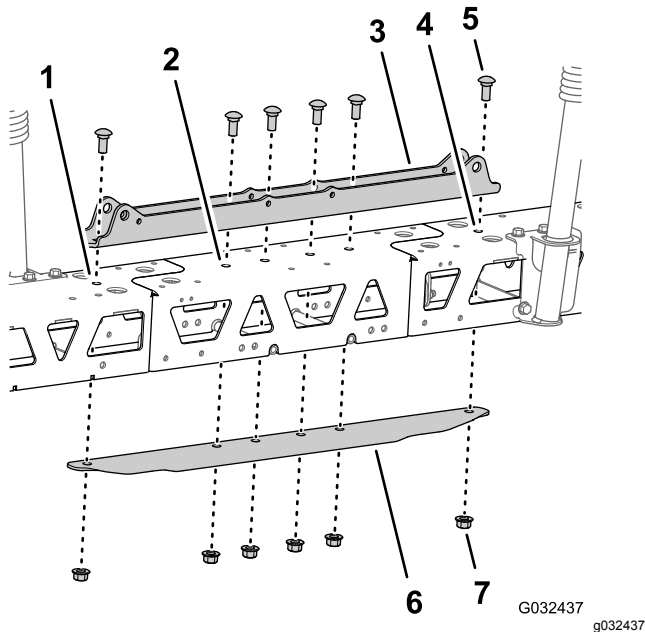


図 55

- 左側トラスフレーム
- センターブームエクステンション
- シリンダマウント幅広
- 右側トラスフレーム
- キャリッジボルト  $\frac{1}{2}$  x  $1\frac{1}{4}$ "
- タイプレート幅広
- フランジロックナット  $\frac{1}{2}$ "

- タイプレートを、トラスフレームとセンターブームエクステンションの中に入れ、タイプレートの穴を、トラスフレームのセンターラインの穴とセンターブームエクステンションの穴に合わせる [図 55](#)。
- シリンダマウント、トラス、センターブームエクステンション、タイプレートの組み付けを行うステップ [2 センターブームのトラスを取り外す \(ページ 27\)](#) で外したキャリッジボルト  $\frac{1}{2}$  x  $1\frac{1}{4}$ " 2本とフランジロックナット  $\frac{1}{2}$ " 2個と、ジオリンクスプレキシステム仕上げキットに入っているキャリッジボルト  $\frac{1}{2}$  x  $1\frac{1}{4}$ " 4本とフランジロックナット ( $\frac{1}{2}$ " ) 4個を使用する [図 55](#)。
- フランジヘッドボルトとフランジロックナット  $\frac{3}{8}$ " を 37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft·lb にトルク締めする。
- フランジロックナット  $\frac{1}{2}$ " を、91-113 N·m 9.3-11.5 kg·m = 67-83 ft·lb にトルク締めする。

# 12

## 取り付けブラケットとスプレーノズルをセンターブームに取り付ける

この作業に必要なパーツ

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| 2 | スプレーノズル                     |
| 2 | ホースアセンブリスプレーバルブ5または6        |
| 2 | フランジロックナット $\frac{5}{16}$ " |

## サポートブラケットをセンターブームに取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 55kg

- 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
- [図 56](#) に示すように、右サポートブラケットの穴を右トラスフレームの穴に合わせる。

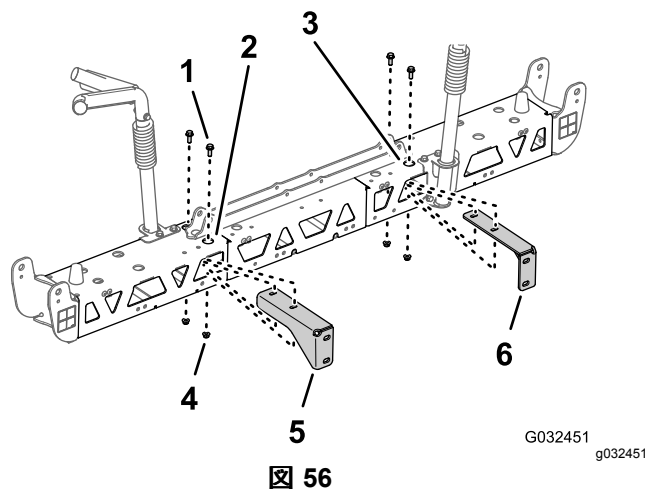


図 56

- フランジヘッドボルト  $\frac{3}{8}$  x 1"
- 右側トラスフレームセンターブーム
- 左側トラスフレームセンターブーム
- フランジロックナット  $\frac{3}{8}$ "
- 右側サポートブラケットセンターブーム
- 左側サポートブラケットセンターブーム

- 右側サポートブラケットを右側トラスフレームに取り付ける [図 56](#) ステップ [2](#) と [3](#) センターブームからサポートブラケットを外す (ページ 26) で取り外したフランジヘッドボルト ( $\frac{3}{8}$  x 1") 2本とフランジロックナット  $\frac{3}{8}$ " 2個を使用する。
- 左トラスフレームの左サポートブラケットにも、ステップ [2](#) と [3](#) の作業を行う [図 56](#)。

- フランジヘッドボルトとフランジロックナットを37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft-lb にトルク締めする。

## センターブーム用のノズルとホースを組み立てる

- 適当な吊り上げ装置を使って、新しいセンターブームを作業しやすい高さまで吊り上げる。
- ジオリンクスプレーシステム仕上げキットに入っているノズル本の、クランプの上半分をサドルに固定しているステンレスねじを外す [図 57](#)。

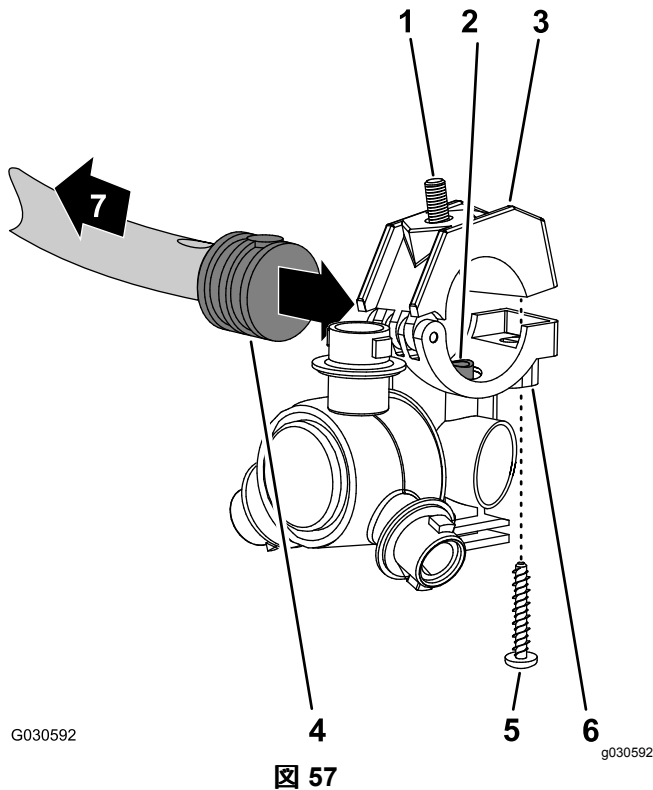


図 57

- 六角ヘッドボルト 5/16 x 3/4" ステンレス
- トランスファチューブ
- クランプの上半分
- 片側バーブ付きホースシャック 1/2"
- ステンレスねじ #12 x 1 1/4"
- スプレーノズルのボディ
- ブームへ

- センターブームスプレーバルブ5または6用のホースアセンブリ25cmの端部についている片側バーブ付きホースシャックの側面にある穴を探し出す [図 57](#) と [図 58](#)。

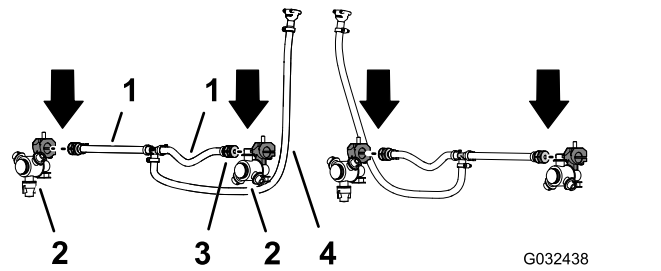


図 58

- ホース 13 x 250mm スプレーバルブ5または6
- スプレーノズル
- 片側バーブ付きホースシャック 13 mm 1/2"
- ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810 mm 1/2 x 32" スプレーバルブ5または6

- ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ [図 57](#) を、片側バーブ付きホースシャック 1/2" の穴に合わせる。
- バーブ付きホースシャックにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ [図 57](#) を、ステンレスねじ #12 x 1 1/4" で固定し、14-18 N·m 0.25-0.3 kg·m = 20-25 in-lb にトルク締めする。

**重要** ステンレスねじは、ステップ 5 に示されている以上の力で締め付けしないでください。

**注** クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト 5/16 x 3/4" がきちんとはまっていることを確認してください。

- ステップ 1 と 2 スプレーヤのノズルを取り外す ([ページ 25](#)) で外したノズル、六角ボルト、ステンレスねじを使って、ステップ 3-5 を、もう一方のホース25 cmの片側バーブ付きホースシャック [図 57](#) と [図 58](#) に対しても行う。
- ステップ 4 スプレーヤのノズルを取り外す ([ページ 25](#)) で外した2つのノズルについて、もう一方のホースアセンブリスプレーバルブ5または6の片側バーブ付きホースシャックに対してステップ 3-5 を、行う [図 57](#) と [図 58](#)。

## ノズルとホースをセンターブームに取り付ける

1. ホース13 mm長さ25cmとノズルのアセンブリを、外側トラスのブレースの間に通す [図 59](#)。

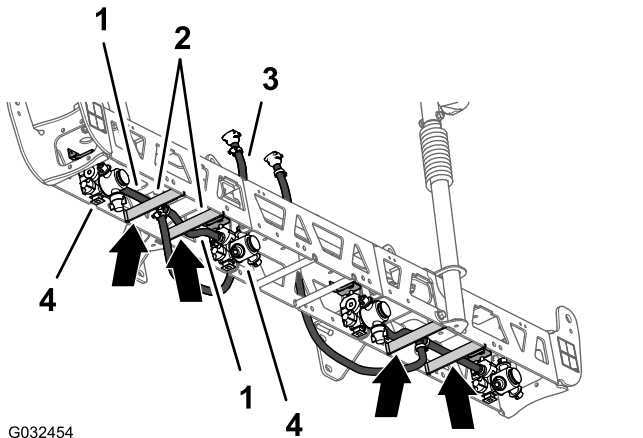


図 59

- |                            |                                      |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 1. ホース 13 x 250 mm ½ x 10" | 3. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810 mm ½ x 32" |
| 2. トラスのブレース左トラス            | 4. スプレーノズル                           |

2. ホースとノズルをトラスのブレースの上側に沿って、ブーム先端側のノズルマウントへ導く [図 59](#)。
3. ノズルの六角ヘッドボルト5/16 x ¾"をノズルマウントの穴に通してノズルをマウントに仮止めする。ジオリンクスプレーシステム仕上げキットにあるフランジロックナット5/16"を使用する [図 60](#)。

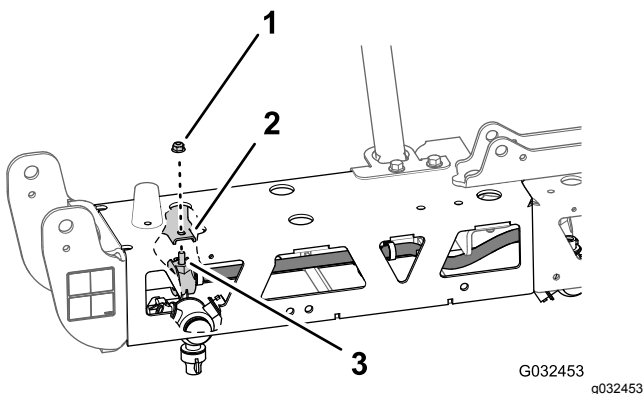


図 60

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. フランジロックナット5/16" | 3. 六角ヘッドボルト5/16 x ¾"ステンレス |
| 2. ノズルマウント外側       |                           |

4. もう一方のホース13 mm長さ25cmとノズルのアセンブリを、外側トラスのブレースの間に通す [図 59](#)。
5. ホースとノズルをトラスのブレースの上側に沿って、ブーム根元側のノズルマウントへ導く [図 59](#)。
6. ノズルの六角ヘッドボルト5/16 x ¾"をノズルマウント [図 60](#)の穴に通してノズルをマウントに仮

止めするステップ1と4 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 25) で外したフランジロックナット5/16"を使用する。

7. フランジロックナットを、19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
8. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810 mm ½ x 32"を、センターブームの左右のサポートブラケットのある側へ導く [図 59](#)。
9. もう一方の外側トラスのホースノズルアセンブリについても、ステップ 1-8 の作業を行う [図 59](#) と [図 60](#)。

# 13

## ブームバルブを取り外す

### この作業に必要なパーツ

|   |              |
|---|--------------|
| 3 | キャップクイックカップラ |
| 3 | リテーナ         |

## ブームバイパスホースを取り外す

1. 以下の手順で、バイパスホースの上端部を外す
  - オプションのスペーススティックキットや電動ホースリールを搭載していない車両バイパスホースのクイックディスコネクトフィッティングを右ブーム用バイパスバルブのクイックディスコネクトフィッティングに固定している小さいリテーナを外す [図 61](#)。

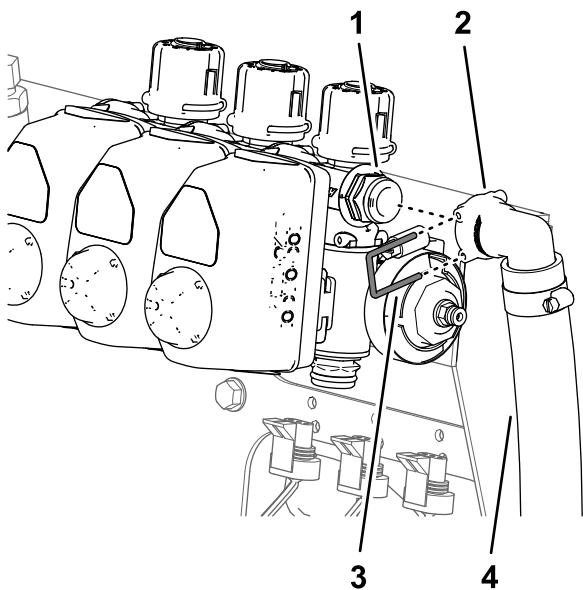


図 61

g198705

1. クイックディスコネクトフィッティング右ブームバイパスバルブ
2. クイックコネクトフィッティング90°ソケットバイパスホース
3. リテーナ小
4. バイパスホース

• オプションのスプレースティックキットや電動ホースリールを搭載している車両では、以下の作業を行う

- A. シャットオフバルブのクイックコネクトフィッティングを右ブーム用バイパスバルブのクイックディスコネクトソケットに固定しているリテーナを外して、ソケットからバルブを取り出す 図 62。

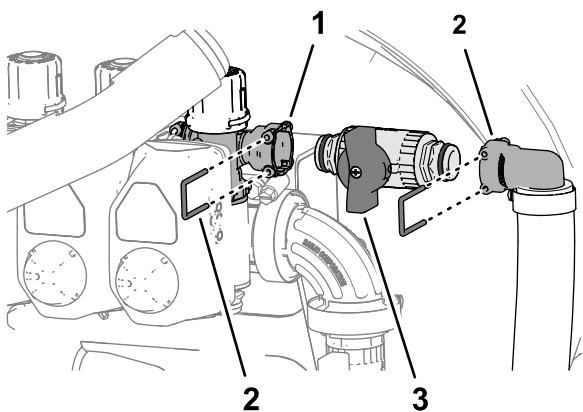


図 62

g263988

1. クイックディスコネクトフィッティング右ブームバイパスバルブ
2. クイックディスコネクトカップリングバーブ付き90°フィッティング
3. リテーナ
4. クイックコネクトフィッティングシャットオフバルブ

- B. シャットオフバルブのクイックコネクトフィッティングをバーブ付き90°フィッティングのクイックディスコネクトソケットに固定しているリテーナを外して、ソケットからバルブを取り出す 図 62。

注 シャットオフバルブとリテーナはシャットオフバルブをバイパスホースに取り付ける(ページ42)で再取り付けするので廃棄しないでください。

2. バイパスホースの下端にあるバーブ付き90°フィッティングを液剤タンクバルクヘッドフィッティングに固定している大きいリテーナを取り外す 図 63。

注 大きいリテーナはバイパスホースをタンクに組み付ける(ページ42)で使用します。

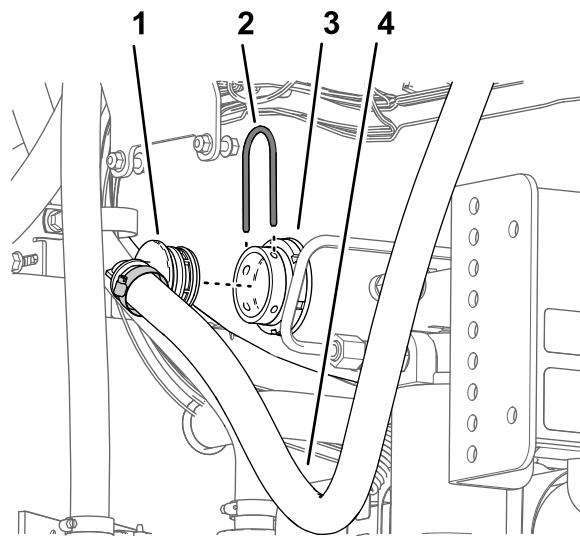


図 63

g198703

1. バーブ付き90°フィッティング
2. リテーナ(大)
3. バルクヘッドフィッティング
4. バイパスホース

3. 機体からバイパスホースを取り外す。

注 バイパスホースと小さいリテーナは廃棄して構いません。

## バイパスバルブの位置替えをするオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

1. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブにある全部で3つのバルブアクチュエータを固定しているリテーナ3個を外す 図 64。

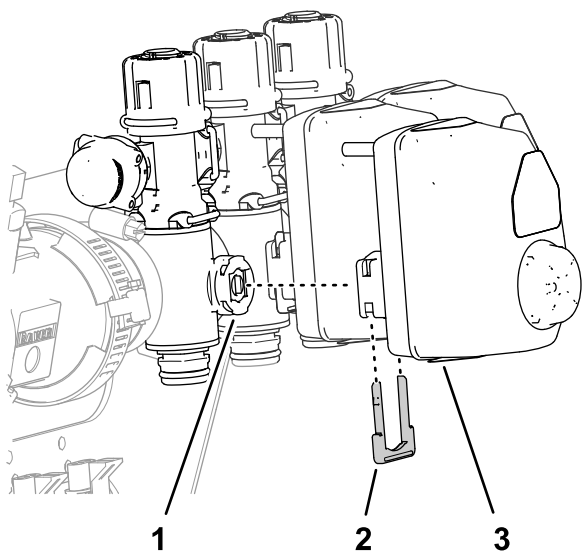


図 64

g200485

1. ブームバルブ
2. リターナ
3. バルブアクチュエータ

2. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブから、バルブアクチュエータを外す 図 64。
3. バイパスマニホールドのクイックディスコネクティングにキャップを固定しているリターナを外してキャップを外す 図 65。

注 キャップは不要です。

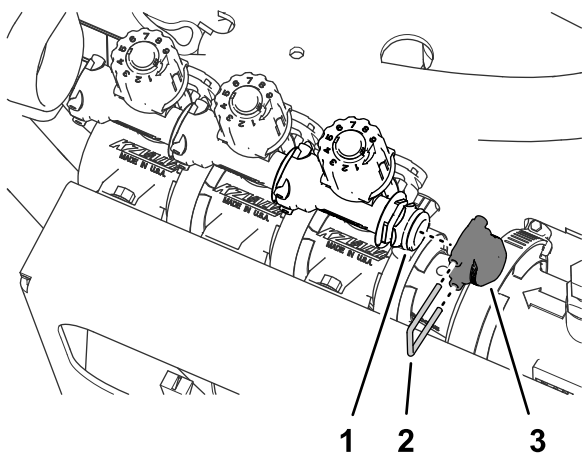


図 65

g200483

1. クイックディスコネクティングバイパスバルブ
2. リターナ
3. キャップ

4. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブにある全部で3つのバイパスバルブを固定しているリターナ3個を外す 図 66。

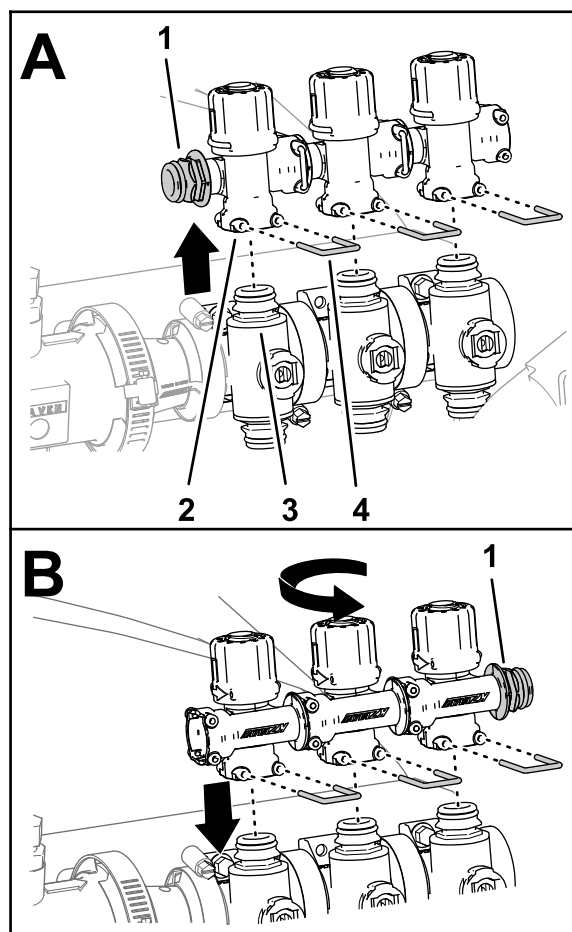


図 66

g200486

1. クイックディスコネクティング
2. クイックコネクティングソケットバイパスバルブ
3. クイックコネクティングブームバルブ
4. リターナ

5. 各ブームバルブからバイパスバルブを一旦外し 図 66、
6. バイパスバルブを180°回転させてブームバルブのクイックディスコネクティングに組み付ける 図 66。
7. ステップ 4 図 66 で外したリターナ3個を使用して、バイパスバルブ3個をそれぞれのブームバルブに固定する。
8. バイパスバルブのクイックコネクティングソケットに、プラグを組み付ける 図 67。

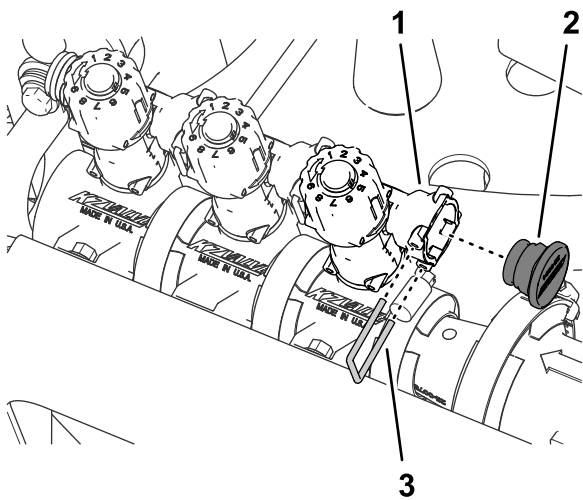


図 67

g200481

1. クイックコネクソケットバ イパスバルブ
2. プラグ
3. リテーナ

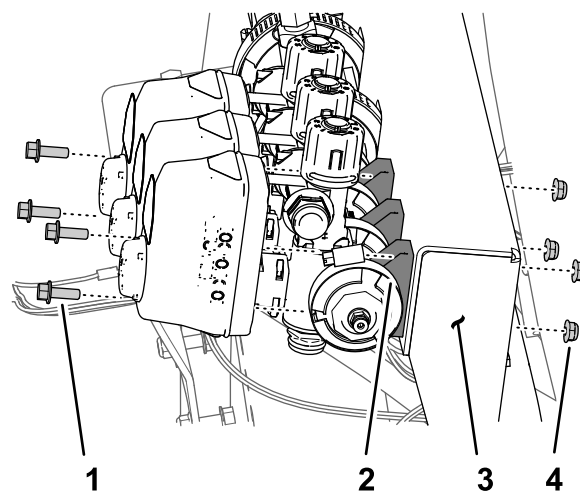


図 68

g198704

1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ "
2. ブームバルブ
3. マニホールドマウント
4. ロックナット $\frac{1}{4}$ "

9. ステップ 3 図 67 で外したリテーナを使用して、プラグをクイックコネクソケットに固定する。
10. 左ブーム、中央ブーム、右ブームのそれぞれのバルブに、バルブアクチュエータ全部で 3 個を取り付ける (図 64) ステップ 1 で外したリテーナを使用する。

## マニホールドマウントからブームバルブを外す

**注** 取り外したブームバルブは、ブームバルブ 3 個をバルブマウントに取り付ける (ページ 47) でジオリンクの 10バルブシステムに取り付けます。

1. 左側ブームバルブをマニホールドマウントに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " 2本とロックナット $\frac{1}{4}$ " 2個を取り外す 図 68。

**注** 外したフランジヘッドボルト 2本とロックナットは不要です。

2. 右側ブームバルブをマニホールドマウントに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " 2本とロックナット $\frac{1}{4}$ " 2個を取り外す 図 68。
3. 左側ブームバルブのフランジ部をアダプタに固定しているフランジクランプ 40-64 mmとガスケット 25 x 35 mmを取り外す 図 68。

**注** 外したフランジヘッドボルト 2本、ロックナット 2個、フランジクランプとガスケットはブームバルブ 3 個をバルブマウントに取り付ける (ページ 47) で使用します。

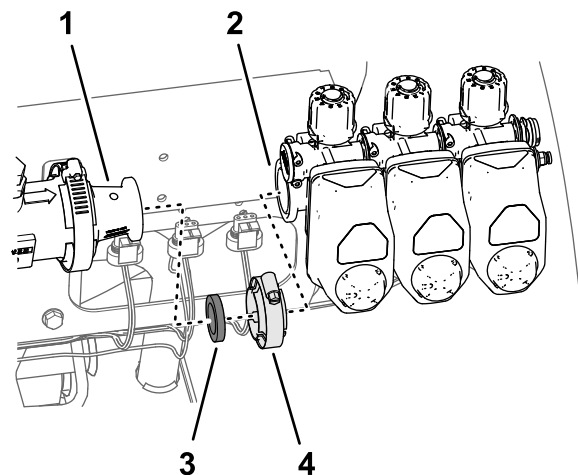


図 69

g198706

1. アダプタ
2. フランジ 左ブームバルブ
3. ガスケット 25 x 35 mm
4. フランジクランプ 40-64 mm

4. 機体からブームバルブ 3 個を外す 図 69。
5. 各ブームバルブ 3 個についているデカルを取り外す 図 70。

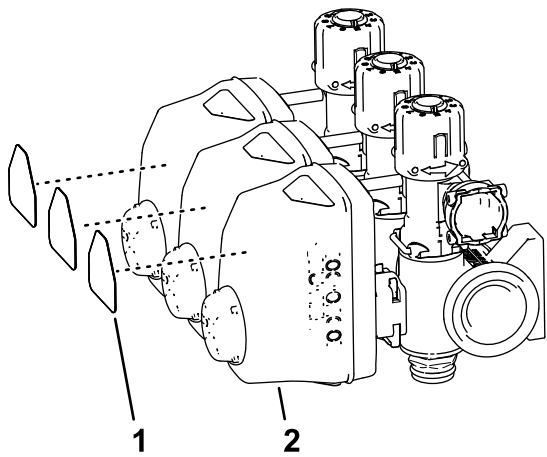


図 70

g201434

1. 個別boomバルブのデカル 2. アクチュエータ個別boomバルブ

6. アダプタのフランジ部をフローメータのフランジに固定しているフランジクランプ51mmとガスケット38mmを取り外す 図 71。

注 外したフランジクランプとガスケットは マニホールドをフローメータに取り付ける (ページ 41) で取り付けに使用します。

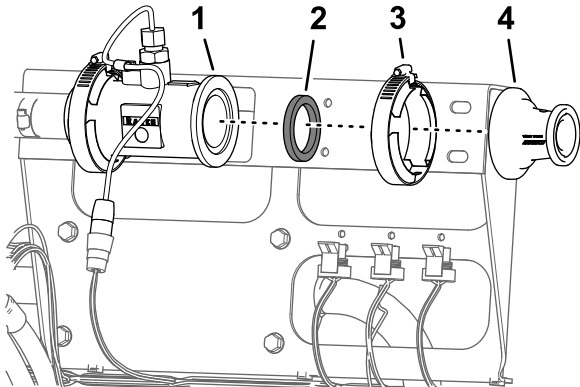


図 71

g198707

1. フランジフローメータ 3. フランジクランプ 51 mm<sup>2</sup>"  
2. ガスケット 4. アダプタ

# 14

## フローメータのサポートクランプを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |                  |
|---|------------------|
| 1 | フローメータのマウント      |
| 4 | サポートクランプハーフ      |
| 4 | ボルト 1/4 x 4 1/2" |
| 4 | フランジロックナット 1/4"  |

### boomバルブブラケットを取り外す

1. フローメータの 3 ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの中のFLOW METERというラベルのついた 3 ソケットコネクタを外す 図 72。

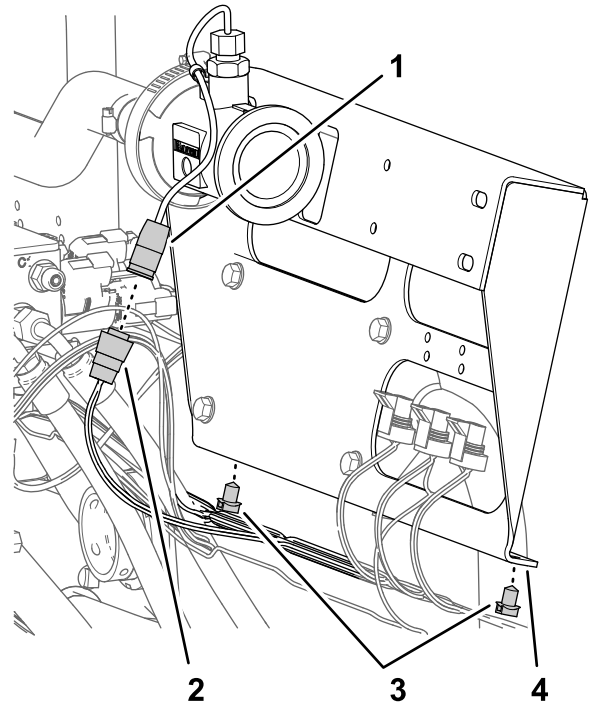


図 72

g198719

1. 3ピンコネクタフローメータ 3. 押し込みファスナー  
2. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはFLOW METER 4. boomバルブ用ブラケット

2. boomバルブ用ブラケットの下側フランジから、車両用ワイヤハーネス固定している押し込みファスナー2個を外す 図 72。  
3. boomバルブブラケットをバルブマウントに固定しているフランジヘッドねじ5/16 x 3/4"4本を取り外して、バルブブラケットを外す 図 73。

**注** 外したフランジヘッドねじはステップフローメータのマウントとクランプを取り付ける(ページ35)で使用しますが、バルブブラケットは廃棄して構いません。

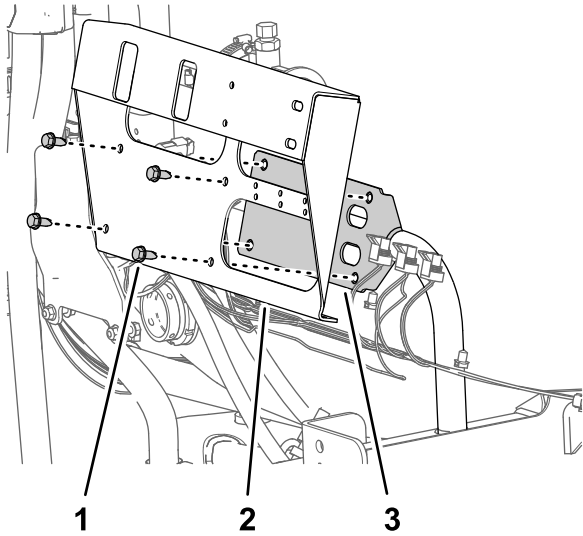


図 73

g198720

1. フランジヘッドねじ5/16 x 3/4" 3. バルブマウント
2. ブームバルブ用ブラケット

2. バルブマウントにフローメータのブラケットを取り付けるステップ3 ブームバルブブラケットを取り外す(ページ34)で取り外したフランジヘッドボルト4本を使用し、19.78-25.42 N·m2.0-2.6 kg·m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
3. フローメータとフローメータブラケットとの間にサポートクランプ2個を入れ、ブラケットの穴に合わせる図75。

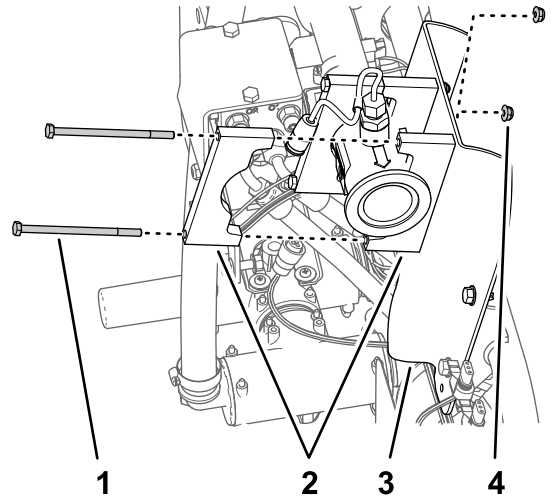


図 75

g198736

1. ボルト1/4 x 1 1/2" 3. フローメータのブラケット
2. サポートクランプハーフ 4. フランジロックナット1/4"

## フローメータのマウントとクランプを取り付ける

1. フローメータのブラケットについている穴を、バルブマウントに合わせる図74。

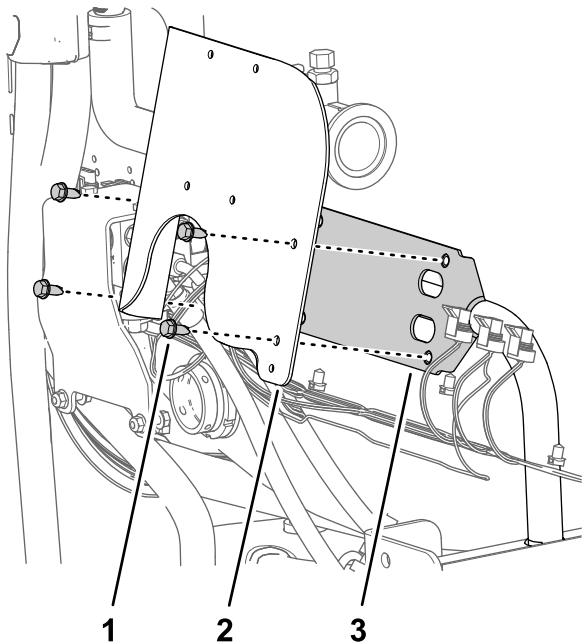


図 74

g198737

1. フランジヘッドねじ5/16 x 3/4" 3. バルブマウント
2. フローメータのブラケット

4. フローメータの裏側部分で、サポートクランプハーフを、ステップ3図75で組み付けたクランプハーフに合わせる。
5. クランプハーフ2個で1組をフローメータのブラケットに固定する図75ボルト1/4 x 4 1/2"2本とフランジロックナット1/4"2個を使用する。
6. ステップ4-5を、もう1個のハーフステップ3で組み付けたものに対しても行う。
7. ボルトとナットを10.17-12.43 N·m2.0-2.6 kg·m = 90-110 in-lbにトルク締めする。

# 15

## ワイヤハーネスを機体に接続する

この作業に必要なパーツ

|   |           |
|---|-----------|
| 1 | 後方ワイヤハーネス |
| 7 | ケーブルタイ    |

### キットのワイヤハーネスを配設する

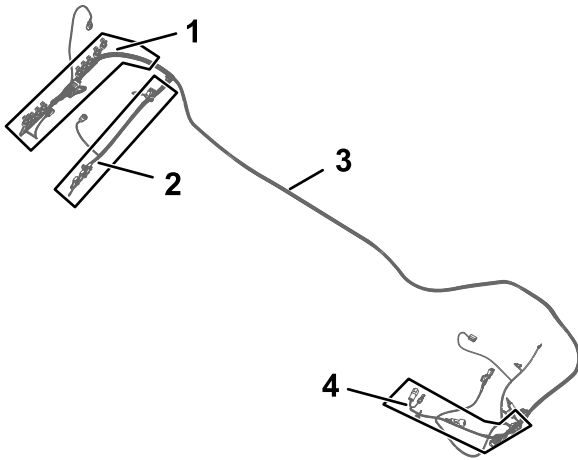


図 76

g198815

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 102 cm のハーネス枝線—ASC 10とノズルバルブ 1-10                  | 3. キットのワイヤハーネス 457cm    |
| 2. 89 cm のハーネス枝線—レートバルブ、マスターバルブ、フローメータ、左散布、センター散布、右散布 | 4. 84cm のハーネス枝線 ポンプクラッチ |

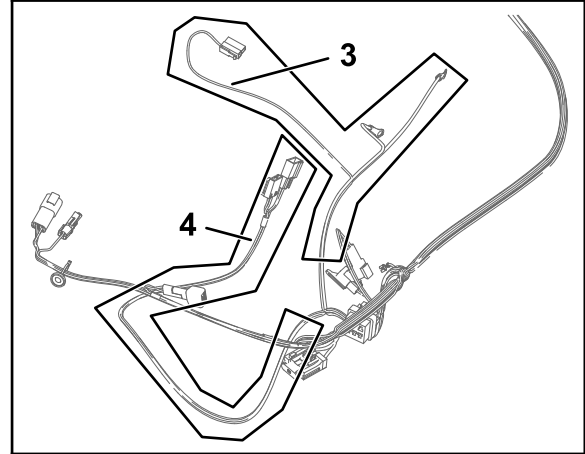
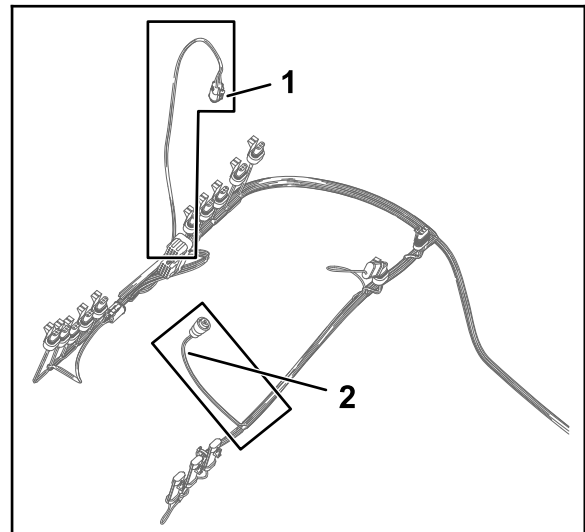


図 77

g198814

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 1. 61cm のハーネス枝線 水圧トランスデューサの緑色のクサビ | 3. 60cm の枝線バッテリーのプラス端子、バッテリーのマイナス端子、オルタネータ   |
| 2. 23cm のハーネス枝線 フローメータ            | 4. 66cm のハーネス枝線ASC 10 動作リレー、50Aヒューズ、ダイオード、GEN 2 トプコン用スイッチ付き電源、ASC 10 電源と X25 からの CAN |

1. キットのワイヤハーネスから 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を探し出す 図 76 と 図 77。
2. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、車両左側にある車両用ワイヤハーネスに沿って配設する 図 78 と 図 79。

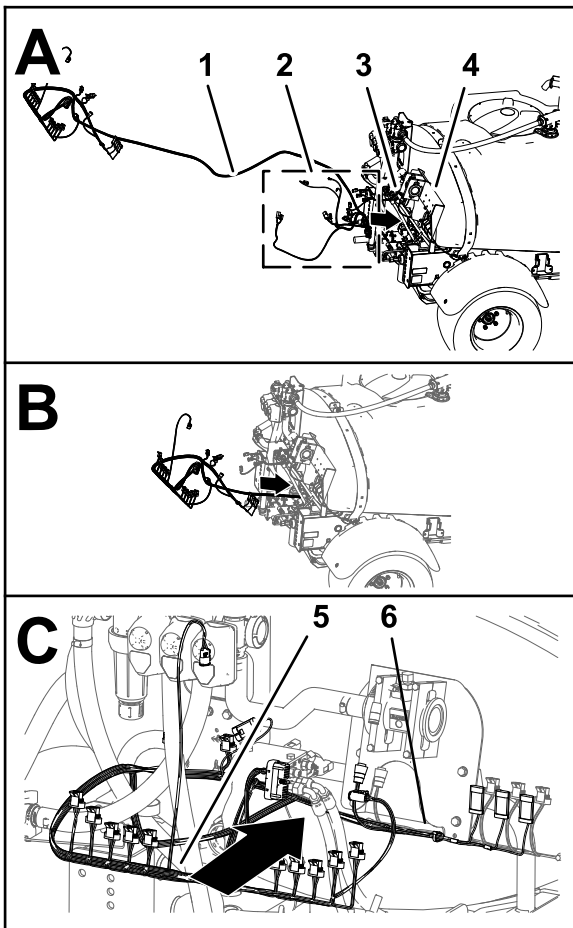


図 78

g198861

- |                                    |               |
|------------------------------------|---------------|
| 1. キットのワイヤハーネス<br>457cm            | 4. マニホールドマウント |
| 2. 84cm の枝線、60cm の枝線、<br>66cm の枝線。 | 5. 102cm の枝線  |
| 3. 車両のワイヤハーネス                      | 6. 89cm の枝線   |

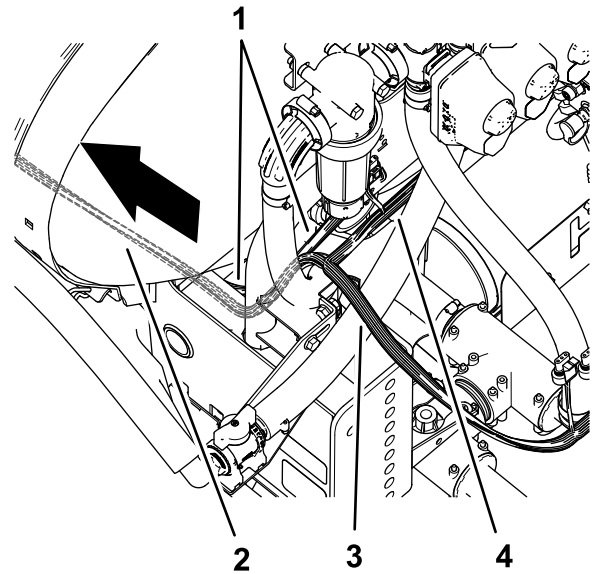


図 79

g199037

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. 車両のワイヤハーネス           | 3. 102 cm のハーネス枝線—ASC 10とノズルバルブ 1-10                  |
| 2. キットのワイヤハーネス<br>457cm | 4. 89 cm のハーネス枝線—レートバルブ、マスターバルブ、フローメータ、左散布、センター散布、右散布 |
3. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、車両左側のチャンネル部材に沿って車両前方に導く図 81と図 82。

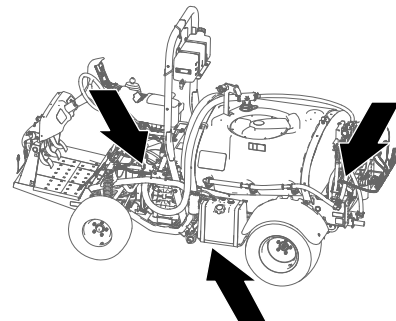
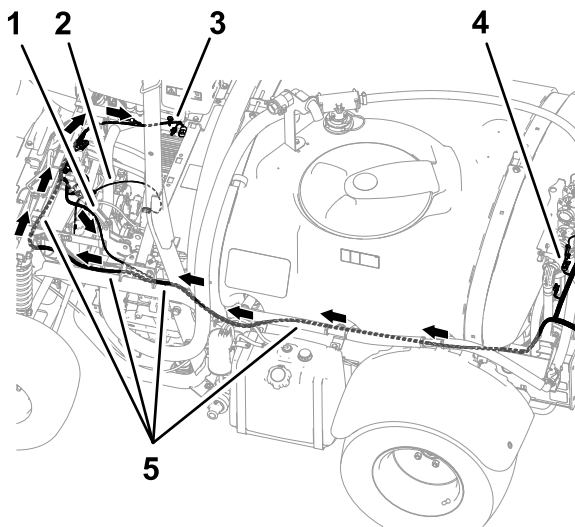


図 80

g199043

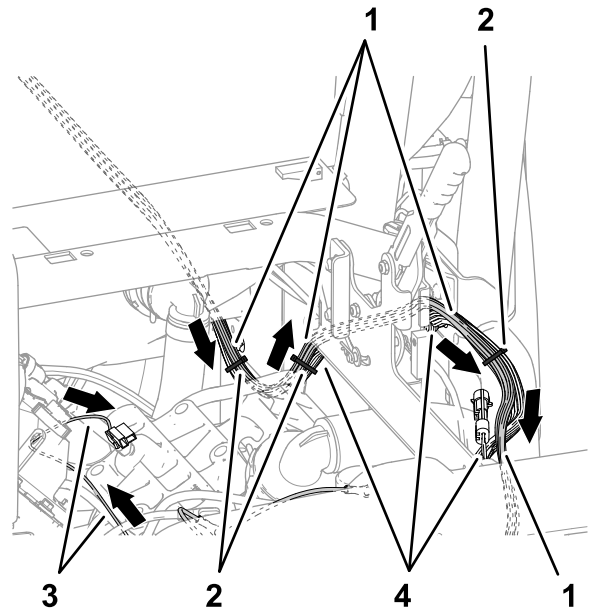


g199038

図 81

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 1. 84cm の枝線ポンプクラッチ  | 4. 102 cm のハーネス枝線—ASC 10とノズルバルブ 1-10 |
| 2. 60cm の枝線 バッテリーのプラス端子、バッテリーのマイナス端子、オルタネータへ  | 5. キットのワイヤハーネス 457cm                 |
| 3. 66cm のハーネス枝線ASC 10 動作リレー、50A ヒューズ、ダイオード、GEN 2 トプコン用スイッチ付き電源、ASC 10 電源と X25 からの CAN |                                      |

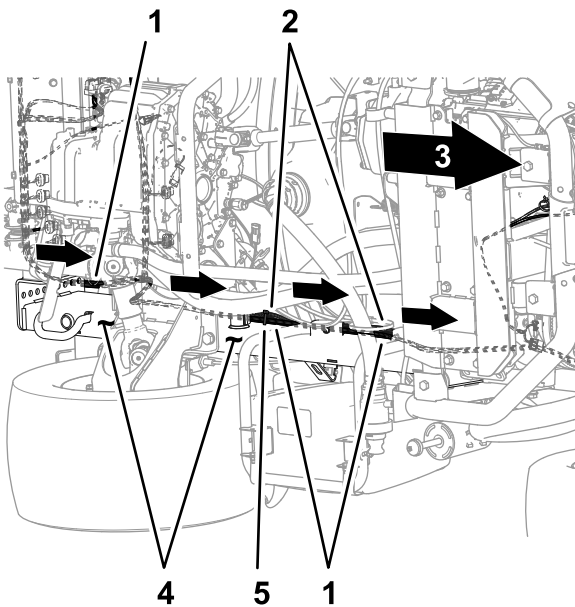
4. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、車両用ワイヤハーネスに沿って車体外方、駐車ブレーキの外側へ導く図 83。



g199040

図 83

- |                      |   |
|----------------------|---|
| 1. キットのワイヤハーネス 457cm | 3. 60cm の枝線バッテリーのプラス端子、バッテリーのマイナス端子、オルタネータへ |
| 2. ケーブルタイ            | 4. 車両のワイヤハーネス                               |



g199039

図 82

機体底部

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1. キットのワイヤハーネス 457cm | 4. 左側フレームチャンネル |
| 2. 車両のワイヤハーネス        | 5. ケーブルタイ      |
| 3. 車体前方              |                |

5. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、図 84 に示すように、ショックサポートチューブに交差させる。

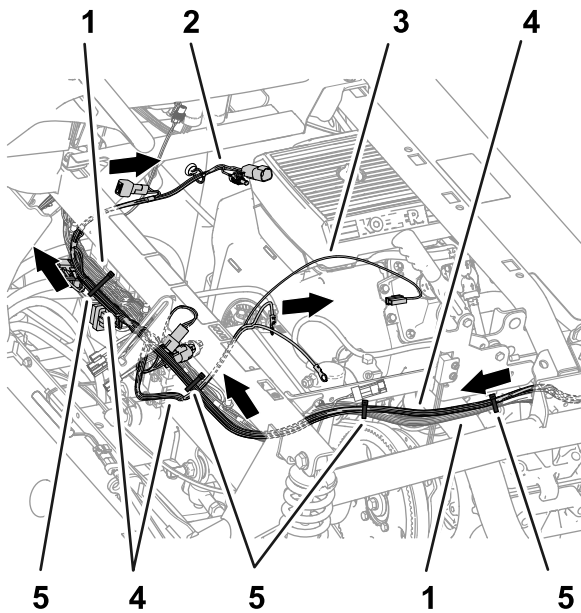


図 84

g199041

- |  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 車両のワイヤハーネス  | 4. キットのワイヤハーネス<br>457cm |
| 2. 66cm のハーネス枝線ASC<br>10 動作リレー、50A ヒューズ、ダイオード、GEN 2<br>トプコン用スイッチ付き電<br>源、ASC 10 電源と X25<br>からの CAN | 5. ケーブルタイ               |
| 3. 60cm の枝線バッテリーの<br>プラス端子、バッテリーの<br>マイナス端子、オルタネー<br>タへ  |                         |

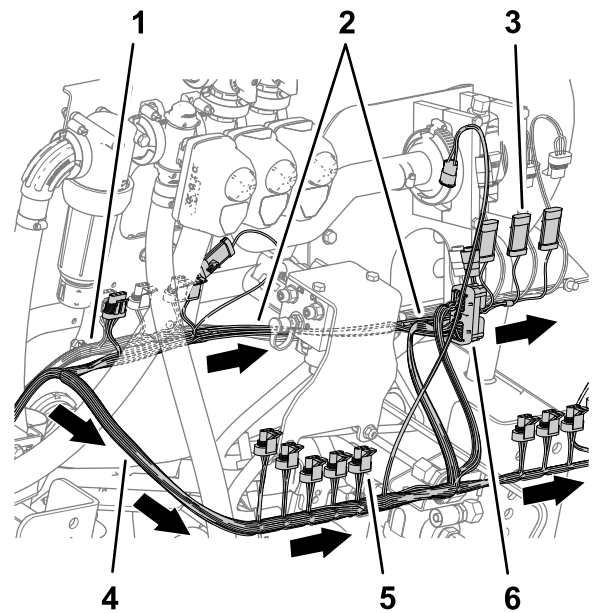


図 85

g199042

- |  |  |
|--|--|
| 1. 車両のワイヤハーネス  | 4. 3 ソケットコネクタノズルバ<br>ルブ 5                    |
| 2. 89cm のハーネス枝線—<br>レートバルブ、マスターバ<br>ルブ、フローメータ、左散<br>布、センター散布、右散布 | 5. 102 cm のハーネス枝<br>線—ASC 10とノズルバ<br>ルブ 1-10 |
| 3. 3 ピンコネクタセンタース<br>プ  | 6. 40ソケットコネクタASC 10<br>レー                    |

8. 102cm の枝線を、[図 85](#)に示すように昇降マニホルドの後方かつ右側に配設する。

6. [図 82](#)、[図 83](#)、[図 84](#)のように、キットのワイヤハーネスを車両に固定する。
7. 車両後部で、89cm の枝線を、[図 85](#)に示すように昇降マニホルドの前方かつフローメータの右側に配設する。

## 左、中央、右の散布バルブのコネクタを接続する

1. 89cm の枝線についている 3 ピンコネクタLEFT SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのLEFT SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する [図 86](#)。

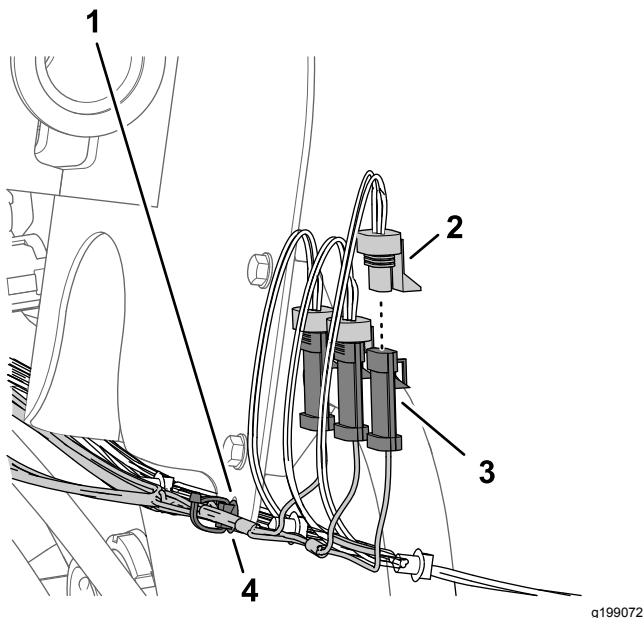


図 86

- |   |   |
|---|---|
| 1. フローメータのブラケット                           | 3. 3ピンコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはRIGHT SPRAY VALVE |
| 2. 3ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 RIGHT SPRAY | 4. プッシュインファスナー                            |

2. キットの枝線についている 3 ピンコネクタCENTER SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのCENTER SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する [図 86](#)。
3. キットの枝線についている 3 ピンコネクタRIGHT SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのRIGHT SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する [図 86](#)。
4. キットの枝線の押し込み型ファスナを、フローメータのブラケットのフランジについている穴に差し込む [図 86](#)。

## フローメータ、マスターブームバルブ、レートバルブ用の各コネクタを接続する

1. 89cm の枝線の 3 ソケットコネクタFLOW METERというラベルのついたものをフローメータの 3 ピンコネクタに接続する [図 87](#)。

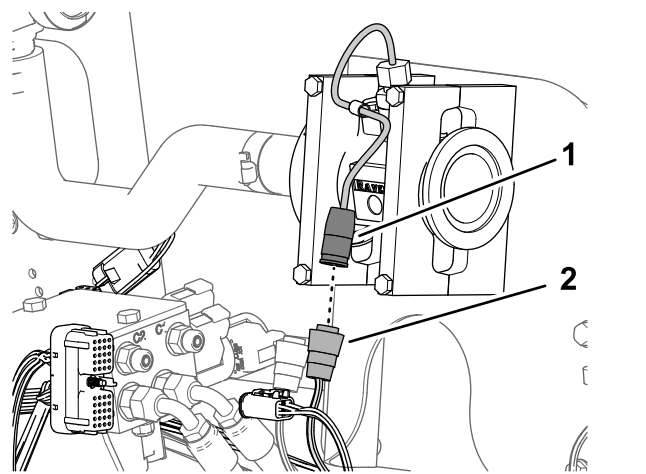


図 87

- |                  |  |
|------------------|--|
| 1. 3ピンコネクタフローメータ | 2. 3ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 FLOW METER |
|------------------|--|

2. 89cm の枝線についている 3 ピンコネクタMASTER VALVEというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのMASTER SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する [図 88](#)。

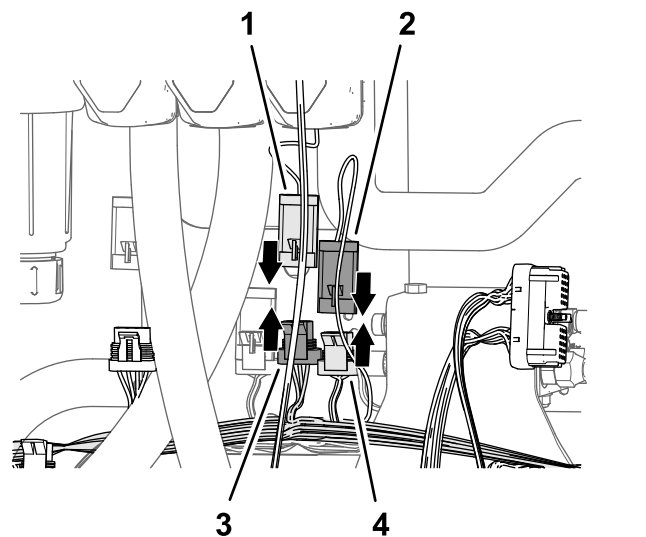


図 88

- |   |  |
|---|--|
| 1. 3ピンコネクタアクチュエータマスタ散布バルブ               | 3. 3ピンコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線MASTER VALVE      |
| 2. 3ピンコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線MASTER VALVE | 4. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはMASTER SPRAY VALVE |

3. マスター散布バルブ用アクチュエータの 3 ピンコネクタを、89cm の枝線のMASTER VALVEというラベルの付いた 3 ソケットコネクタに接続する [図 88](#)。
4. レートバルブ用アクチュエータの 4 ピンコネクタを、89cm の枝線のRATE VALVEというラベルの付いた 4 ソケットコネクタに接続する [図 89](#)。

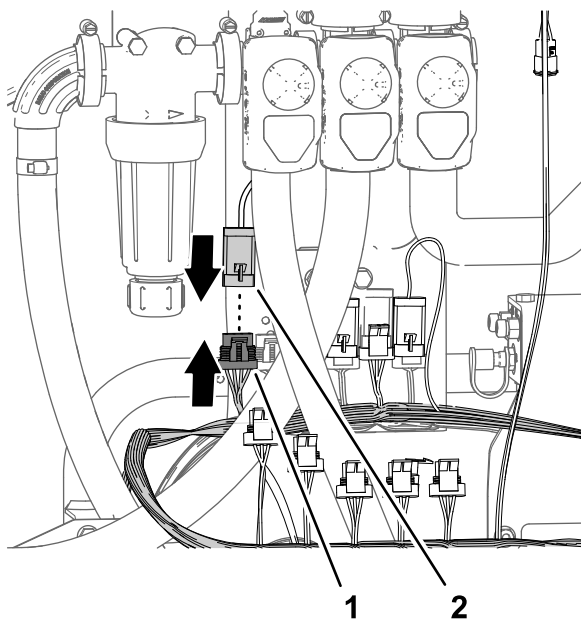


図 89

g199114

1. 4 ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 RATE VALVE
2. 4 ピンコネクタ アクチュエータレートバルブ

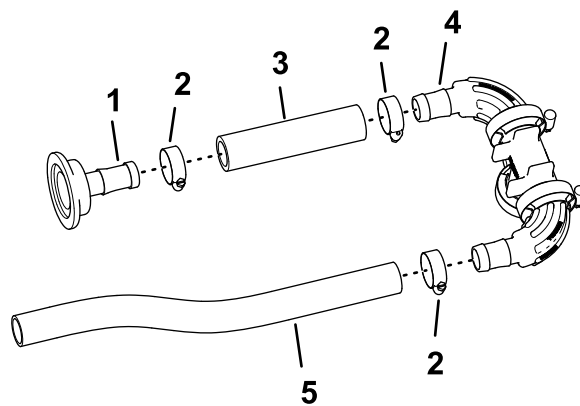


図 90

g199117

1. ストレートバーブ (1 x 2")
2. ホースクランプ  $\frac{3}{4}$ -1 $\frac{1}{2}$ "
3. ホース 1 x 5 $\frac{3}{4}$ " 15 cm
4. マニホルド
5. ホース 1 x 16"

2. ホース 1 x 5 $\frac{3}{4}$ " = 15 cm のもう一方の端部を、マニホルドのバーブ付きフィッティングに組み付け、ホースクランプを手締めする [図 90](#)。
3. ホース 1 x 16" = 40 cm を、マニホルドのもう一方のバーブ付きフィッティングに組み付け、クランプを手締めする [図 90](#)。

# 16

## フローメータのマニホルドを組み付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |  |
|---|--|
| 1 | ストレートバーブ (1 x 2")                        |
| 3 | ホースクランプ $\frac{3}{4}$ -1 $\frac{1}{2}$ " |
| 1 | ホース 1 x 5 $\frac{3}{4}$ " 15 cm          |
| 1 | マニホルド                                    |
| 1 | ホース 1 x 16"                              |

### マニホルドバルブを組み付ける

1. ホース 1 x 5 $\frac{3}{4}$ " = 15 cm を、ストレートバーブ (1 x 2") に組み付け、ホースクランプ  $\frac{3}{4}$ -1 $\frac{1}{2}$ " を取り付けて手締めする [図 90](#)。

### マニホルドをフローメータに取り付ける

1. ストレートバーブ 1 x 2" を、フローメータのフランジに取り付けるステップ [6 マニホルドマウントからブームバルブを外す \(ページ 33\)](#) で取り外したガスケット 38 mm とフランジクランプ 51 mm を使用する。

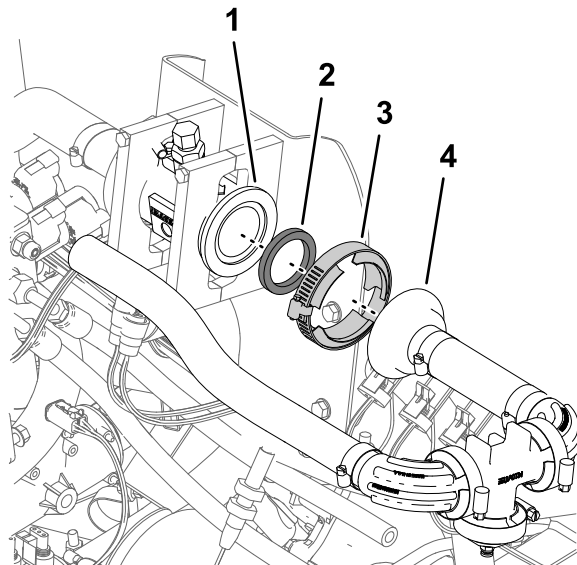


図 91

g199116

1. フランジフローメータ
2. ガスケット 38 mm
3. フランジクランプ 51 mm 2"
4. ストレートバーブ (1 x 2")

2. フランジクランプを手締めする [図 91](#)。

# 17

## バイパスホースをタンクに取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |   |
|---|---|
| 2 | 90° クイックコネクティングソケット1"                     |
| 2 | ホース1 x 26" = 66 cm                        |
| 5 | ホースクランプ $\frac{3}{4}$ x 1 $\frac{1}{8}$ " |
| 1 | T字フィッティング1 x 1 x 1"                       |
| 1 | バーブ付き 90°フィッティングホースアセンブリ                  |
| 1 | 燃料バルブ                                     |

### バイパスホースを組み付ける

- 90° クイックコネクティングソケット — 1"をホース1 x 26"に入れ、ホースクランプで図 92のようにホースを固定する。

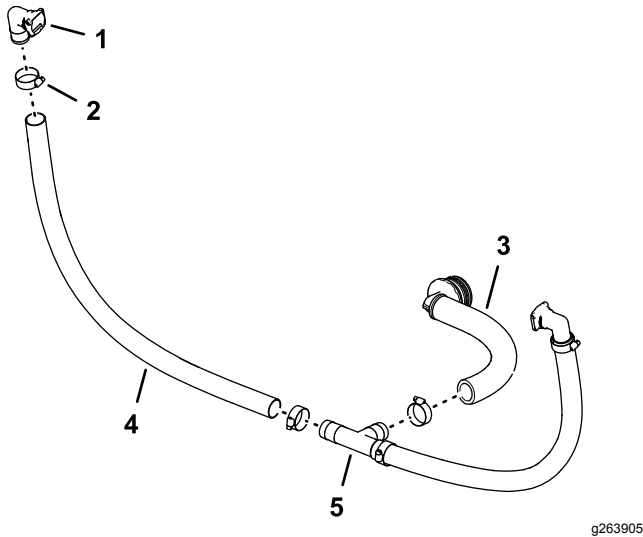


図 92

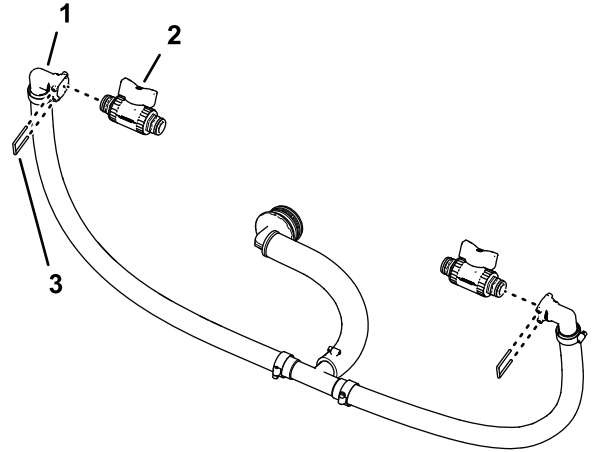
- 90° クイックコネクティングソケット1"
- ホースクランプ $\frac{3}{4}$  x 1 $\frac{1}{8}$ "
- バーブ付き 90°フィッティングホースアセンブリ
- ホース1 x 26" = 66 cm
- T字フィッティング1 x 1 x 1"

- ホースの自由端を、図 92のようにT字フィッティングに接続し、ホースクランプで固定する。
- ステップ 1-2 の作業を、もう一方のバーブ付き90°フィッティングに対しても行う。
- バーブ付き 90°フィッティングとホースのアセンブリを、T字フィッティングに取り付け、ホースをクランプで固定する図 92。

## シャットオフバルブをバイパスホースに取り付ける

オプションのHANDSPREYキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

- 図 93に示すように、90° クイックコネクティング バイパスホースを組み付ける (ページ 42)で組み付けたものからリテーナを外す。



g263926

図 93

- クイックディスコネクティングカップ リングバーブ付き 90° フィッティング
- 燃料バルブ
- リテーナ

- クイックディスコネクティングのソケットに、シャットオフバルブを取り付ける図 93。
- ステップ 1 で取り外したリテーナを使って、バルブをフィッティングに固定する。
- シャットオフバルブとリテーナ1、ブームバイパスホースを取り外す (ページ 30)で外したものを、もう一方のクイックディスコネクティングソケットに取り付ける図 93。

## バイパスホースをタンクに組み付ける

- バイパスホースアセンブリを液剤タンクにセットする図 94。

# 18

## 改造したセンターブームを取り付ける

必要なパーツはありません。

### 手順

吊り上げ装置に必要な能力: 55kg

1. 所定の能力のある吊り上げ装置を使ってセンターブームを吊り上げ、サポートブラケットについているブーム用の穴(図 95)を、車両のフレームの取り付けプレート(穴ステップ3)センターブームを取り外す(ページ 25)で探しておいたものに合わせる。

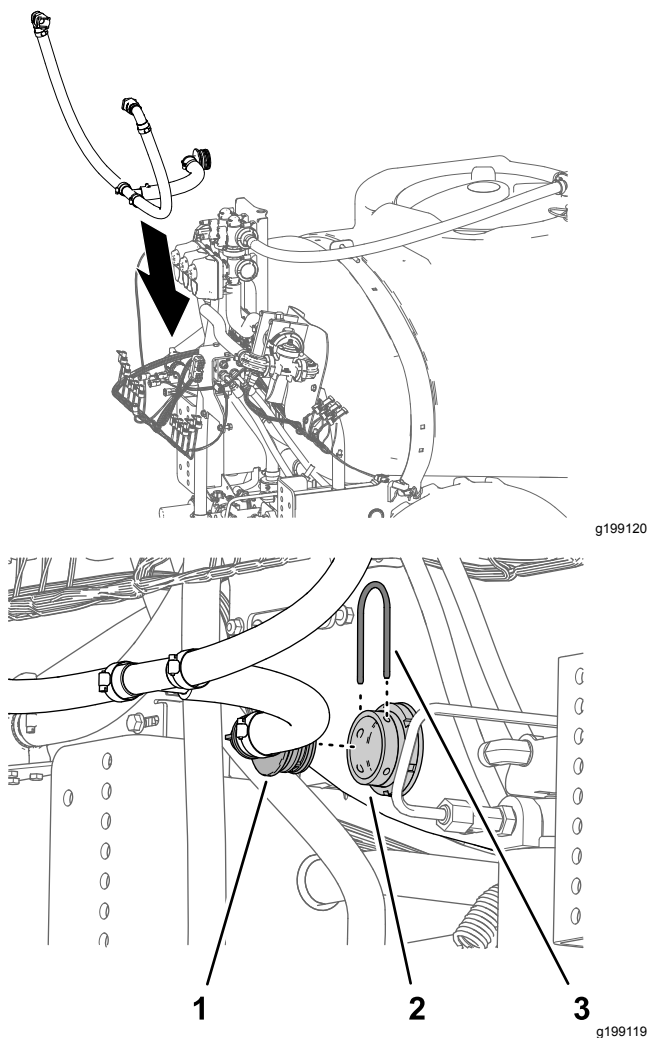


図 94

1. バーブ付き 90°フィッティングバイパスホースアセンブリ
  2. バルクヘッドフィッティングタンク
  3. リテーナ
2. バーブ付き90°フィッティングを、液剤タンクのバルクヘッドフィッティングに取り付け、ステップ 2 ブームバイパスホースを取り外す(ページ 30)で取り外したリテーナで固定する。

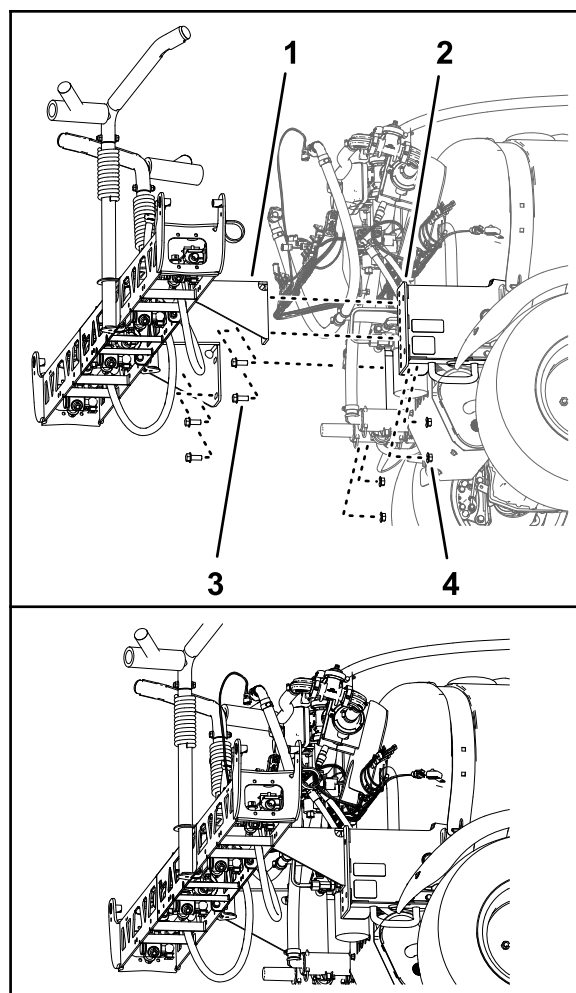


図 95

1. サポートブラケット10バルブシステム用のセンターブーム
2. フランジヘッドボルト 1/2 x 1 1/4"
3. 取り付けチャンネル車両のフレーム
4. フランジロックナット 1/2"

2. センターブームを取り付け用チャンネル部材に組み付ける [図 95](#) ステップ 4 センターブームを取り外す ([ページ 25](#)) で取り外したフランジヘッドボルト  $\frac{1}{2}$  x  $1\frac{1}{4}$ " 4本とフランジロックナット  $\frac{1}{2}$ " 4個を使用する。
3. ボルトとナットを 91-113 N·m 9.3-11.5 kg·m = 67-83 ft·lb にトルク締めする。

[図 24](#)) で取り外したフランジヘッドボルト  $\frac{5}{16}$  x 1" 2本とフランジロックナット  $\frac{5}{16}$ " を使用する。

- オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両
  - A. サポートブラケットにあるブーム昇降マニホルド用とTECコントローラブラケット用の穴を、シリンダマウントの穴に合わせる。

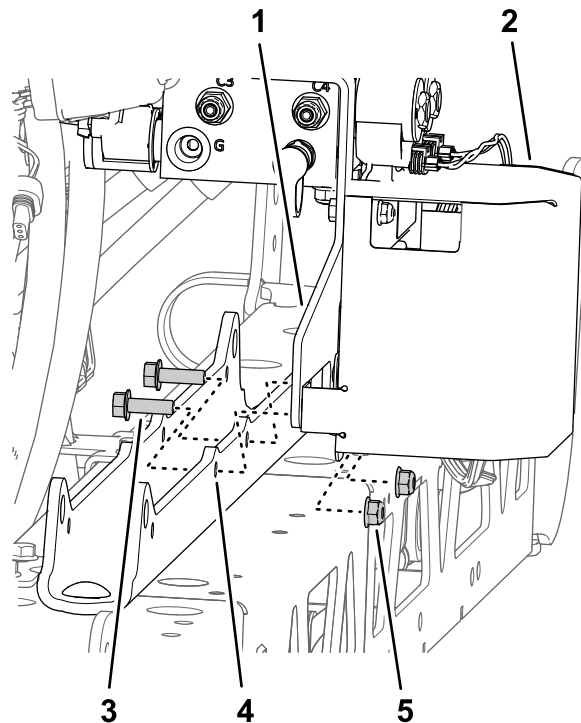
# 19

## 昇降シリンダマニホルドをシリンダマウントに取り付ける

必要なパーツはありません。

### 手順

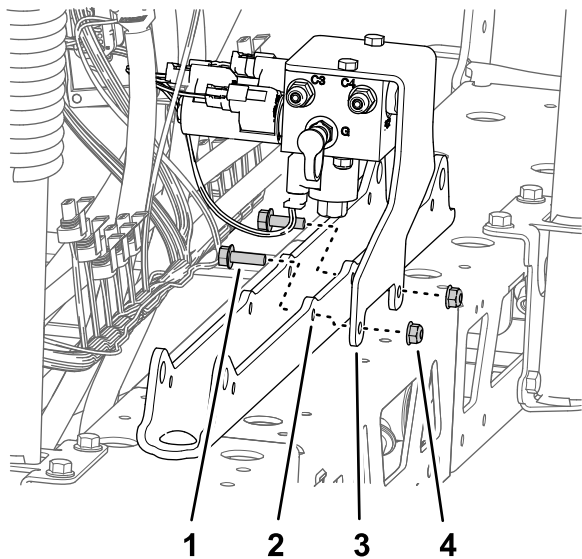
1. バルブ取り付けブラケットから昇降マニホルドを外す。
2. 以下の手順で、ブームマニホルドをシリンダマウントに取り付ける
  - オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載していない車両
    - A. サポートブラケットにあるブーム昇降マニホルド用の穴を、シリンダマウントの穴に合わせる [図 96](#)。



g199820

図 97

1. サポートブラケットブーム昇降マニホルド
2. TECコントローラ用ブラケット
3. フランジヘッドボルト  $\frac{5}{16}$  x 1"
4. シリンダマウント
5. フランジロックナット  $\frac{5}{16}$ "



g199754

図 96

1. フランジヘッドボルト  $\frac{5}{16}$  x 1"
2. シリンダマウント
3. サポートブラケットブーム昇降マニホルド
4. フランジロックナット  $\frac{5}{16}$ "

- B. サポートブラケットとTECブラケットをシリンダマウントに取り付ける [図 97](#) ステップ 1 センターブームからブーム昇降マニホルドを外す ([ページ 24](#)) で取り外したフランジヘッドボルト  $\frac{5}{16}$  x 1" 2本とフランジロックナット  $\frac{5}{16}$ " を使用する。
3. ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする。

- B. サポートブラケットをシリンダマウントに取り付ける [図 96](#) ステップ 1 センターブームからブーム昇降マニホルドを外す (ペー

# 20

## バルブマウントとスプレーバルブを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | バルブマウントスプレーバルブアセンブリ   |
| 3 | ボルト4 x 10mm           |
| 1 | ASC 10 スプレーヤコントローラ    |
| 3 | フランジロックナット4mm         |
| 2 | キャップクイックディスクコネクティング   |
| 8 | フランジヘッドボルト5/16 x 3/4" |
| 8 | フランジロックナット5/16"       |
| 1 | ホースクランプ               |
| 1 | プッシュインファスナーケーブルタイ)    |
| 3 | プッシュインファスナーコネクタアンカー   |

### 散布コントローラをバルブマウントに取り付ける

1. ASC 10 スプレーヤコントローラを、バルブマウントの前側に合わせる。4ピンコネクタが外側を向くようにすること [図 98](#)。

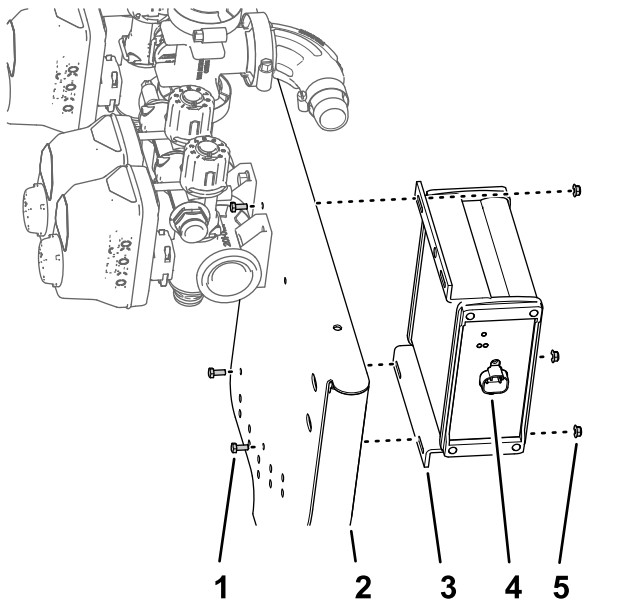


図 98

g199152

1. ボルト4 x 10mm
2. バルブ10本用マウント
3. ASC 10 スプレーヤコントローラ
4. 4ピンコネクタ
5. フランジロックナット4mm

2. 散布コントローラをバルブマウントに取り付ける [図 98](#); ボルト3 x 10mm3本とフランジロックナット4mm4個を使用する。

注 ASC 10 スプレーヤコントローラの上外側の穴を使用しないでください。

3. ボルトとナットを 234-286 N·cm0.24-0.29 kg.m = 21-25 in-lbにトルク締めする。

### バイパスバルブの位置替えをするオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載している車両

1. ノズルバルブ 1-7 用のバルブアクチュエータを固定しているリテーナを外す [図 99](#)。

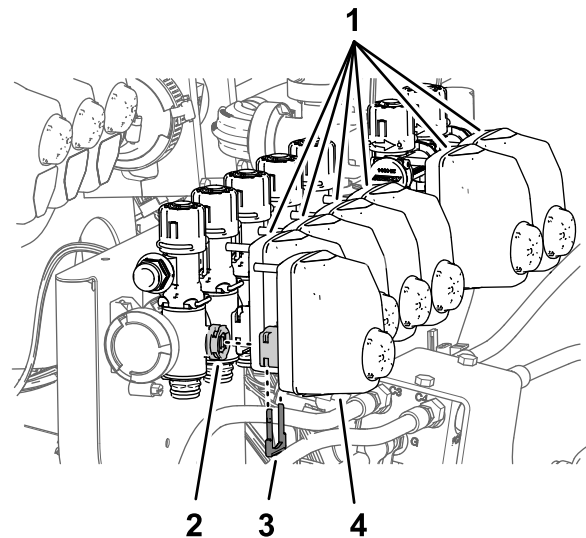


図 99

g201572

1. バルブアクチュエータをノズルバルブ 2~7
2. バルブシステムノズルバルブ 1番
3. リテーナ
4. バルブアクチュエータノズルバルブ 1番)

2. ノズルバルブ 1-7 からバルブアクチュエータを外す [図 99](#)。
3. ノズルバルブ 5 番と 6 番のところのクイックディスクコネクティングのソケットにプラグを固定しているリテーナを外して、プラグを外す [図 100](#)。

注 プラグは廃棄します。リテーナは **ブームバイパスホース**を取り付けるオプションのスプレースティックキットまたは**電動ホースリールキット**を搭載している車両 (ページ 49)で使用します。

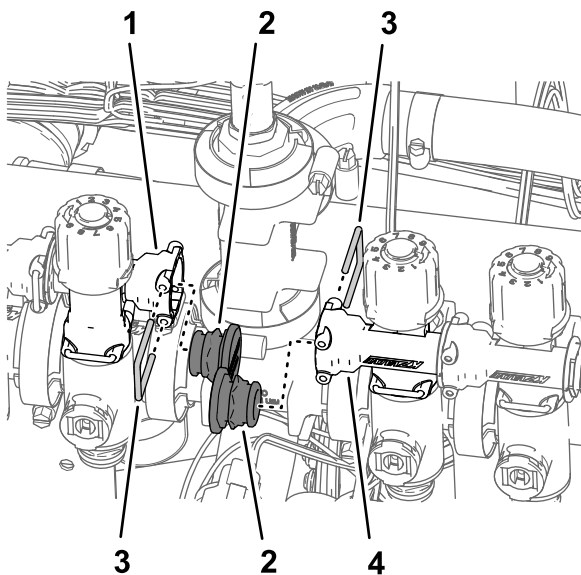


図 100

g201570

- |  |  |
|--|--|
| 1. クイックコネク<br>トフィッティ<br>ングソケット<br>ノズルバルブ<br>5番のバイパス<br>バルブ | 3. リテーナ  |
| 2. キャップクイ<br>ックディスコ<br>ネクトフィッ<br>ティング                      | 4. クイックコ<br>ネク<br>トフィッティ<br>ングソケット<br>ノズルバルブ<br>6番のバイパス<br>バルブ |

4. ノズルバルブ 1-7 にバイパスバルブを固定しているリテーナを外す 図 101。

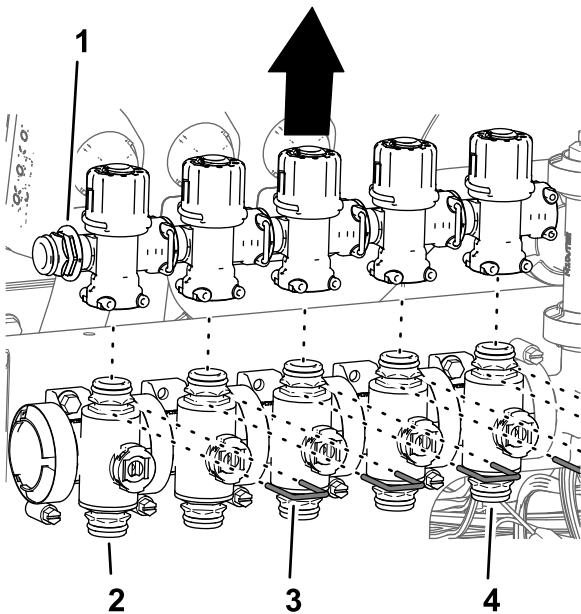


図 101

g201568

- |                                       |                 |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1. クイックディス<br>コネクトの<br>フィッティ<br>ングプラグ | 3. リテーナ         |
| 2. ノズルバルブ<br>1番                       | 4. ノズルバルブ<br>5番 |

5. ノズルバルブ 1-5 からのバイパスバルブを一旦外し 図 101、

6. バイパスバルブを180°回転させてboomバルブのクイックディスコネクフィッティングに組み付ける 図 102。

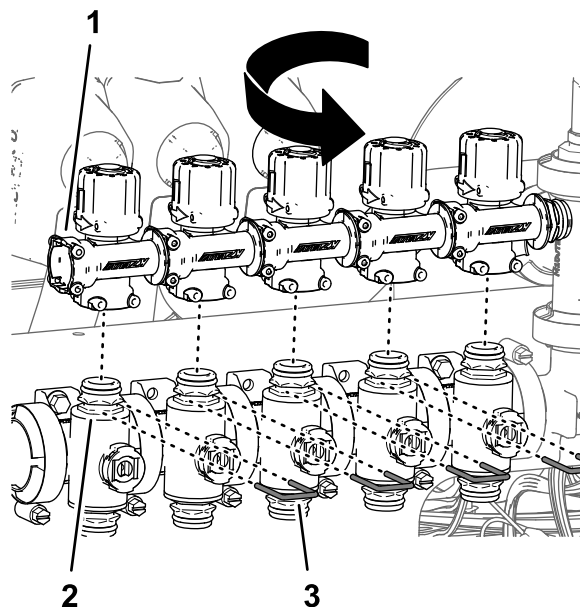


図 102

g201573

- |  |         |
|--|---------|
| 1. クイックコ<br>ネク<br>トフィッティ<br>ングソケット<br>外側に向け<br>て配置 | 3. リテーナ |
| 2. ノズルバル<br>ブ 1番                                   |         |

7. バイパスバルブをそれぞれのboomバルブに固定するリテーナ 図 102ステップ4で外したものを使用
8. ノズルバルブ 6番と7番のバイパスバルブについてもステップ 5-7 の作業を行う 図 103。

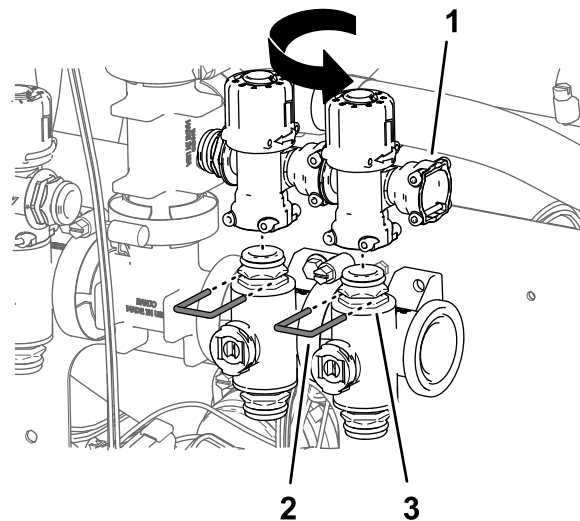


図 103

g201625

- |  |                  |
|--|------------------|
| 1. クイックコ<br>ネク<br>トフィッティ<br>ングソケット<br>外側に向け<br>て配置 | 3. ノズルバル<br>ブ 7番 |
| 2. リテーナ  |                  |

9. ノズルバルブ 6 番と 7 番のバイパスバルブのクイックディスコネクティングにキャップを取り付けるキャップに付属しているリテーナを使用する [図 102](#)。

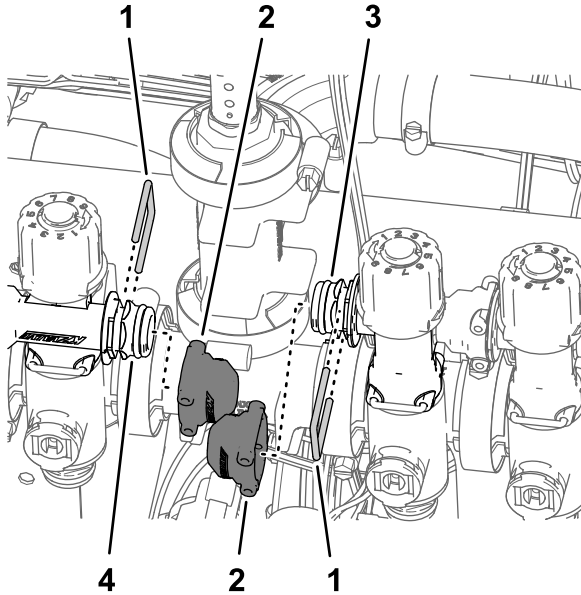


図 104

g201567

- |                       |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 1. リテーナ               | 3. クイックコネクティングプラグノズルバルブ 5 番のバイパスバルブ |
| 2. キャップクイックディスコネクティング | 4. クイックコネクティングプラグノズルバルブ 6 番のバイパスバルブ |

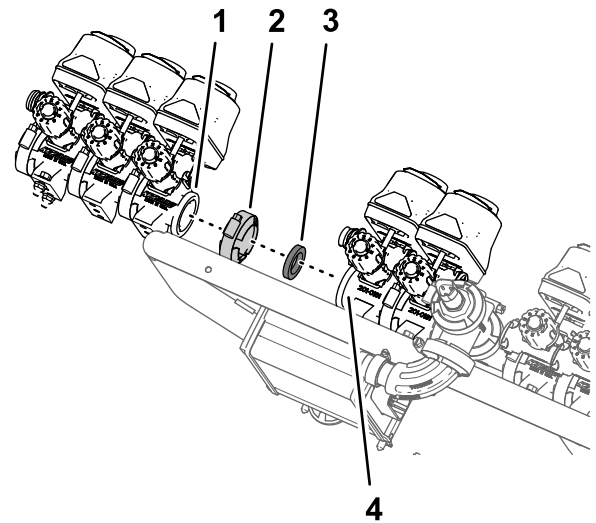


図 105

g199387

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 1. フランジboomバルブ左<br>boomノズルバルブ 8 番 | 3. ガasket                                     |
| 2. フランジクランプ                       | 4. フランジノズルバルブ 7 番<br>ジョーリンクスプレーヤバルブ<br>アセンブリ) |

2. ノズルバルブ 8 番のクイックディスコネクティングのソケットを、ノズルバルブ 7 番のバイパスバルブのクイックディスコネクティングに固定するステップ 8 マニホルドマウントからboomバルブを外す (ページ 33) で外したリテーナを使う。

10. ノズルバルブ 1-7 にバルブアクチュエータを取り付ける ([図 99](#))ステップ 1 で外したリテーナを使用する。

## boomバルブ 3 個をバルブマウントに取り付ける

1. boomバルブ 3 個 [図 105](#) ステップ S8 マニホルドマウントからboomバルブを外す (ページ 33) で外したものを、バルブ 7 番のフランジに取り付けるステップ 4 マニホルドマウントからboomバルブを外す (ページ 33) で取り外したフランジクランプとガasketを使用する。

**重要** ジョーリンク散布システムの左boom、センターboom、右boomは以下のように識別されま  
す左boomのバルブ ノズルバルブ 8 番センター  
boomのバルブ ノズルバルブ 9 番右boomの  
バルブ ノズルバルブ 10 番。

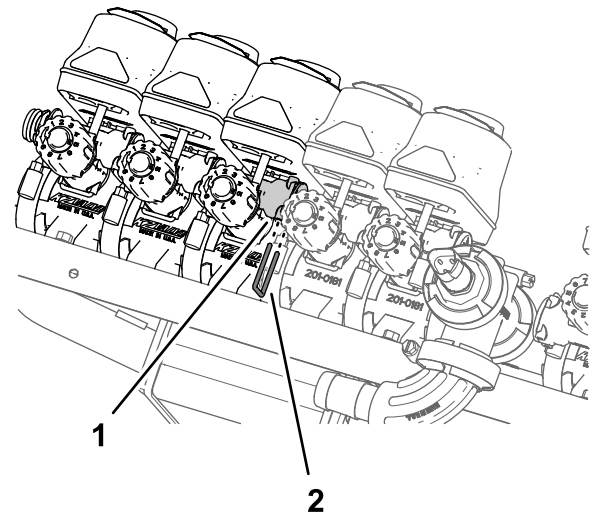


図 106

g199386

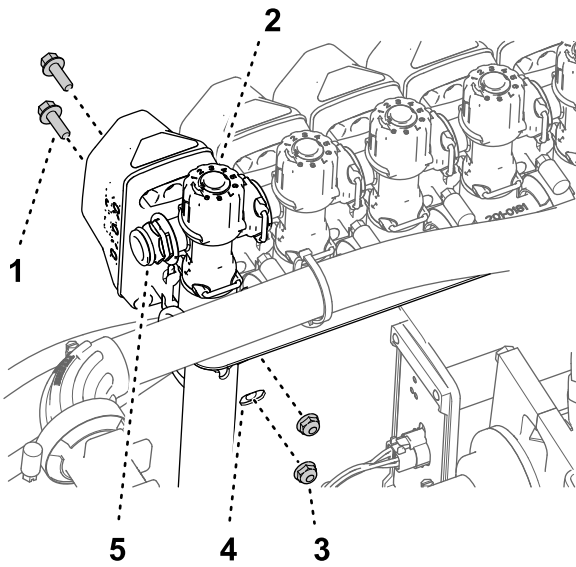
- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| 1. クイックディスコネクティングソケットバイパスバルブ | 2. リテーナ |
|------------------------------|---------|

3. ノズルバルブ 10 番をバルブマウントに取り付ける [図 107](#) または [図 108](#) ステップ 2 マニホルドマウントからboomバルブを外す (ページ 33) で取り外したフランジヘッドボルト  $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " 2 本とロックナット  $\frac{1}{4}$ " 2 個を使用する。

# バルブマウントスプレーバルブアセンブリを機体に組み付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 23kg

1. 所定の能力のある昇降装置を使ってバルブマウントスプレーバルブアセンブリを吊り上げ、センターブームに合わせる [図 109](#)。

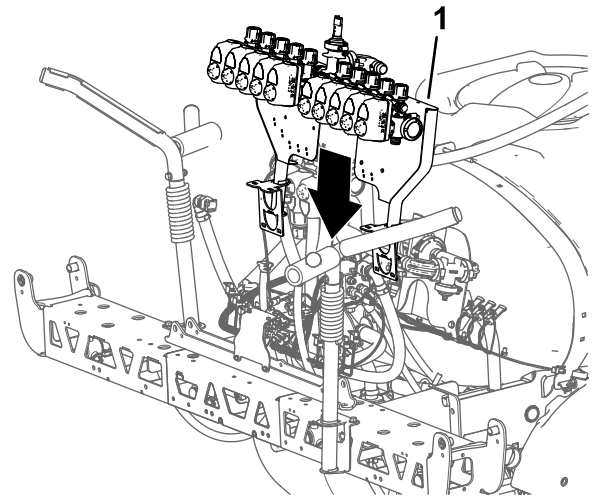


g201492

**図 107**

ハンドスプレーキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " | 4. バルブマウント                |
| 2. ノズルバルブ 10番                                    | 5. クイックディスコネクトのフィッティングプラグ |
| 3. ロックナット $\frac{1}{4}$ "                        |                           |

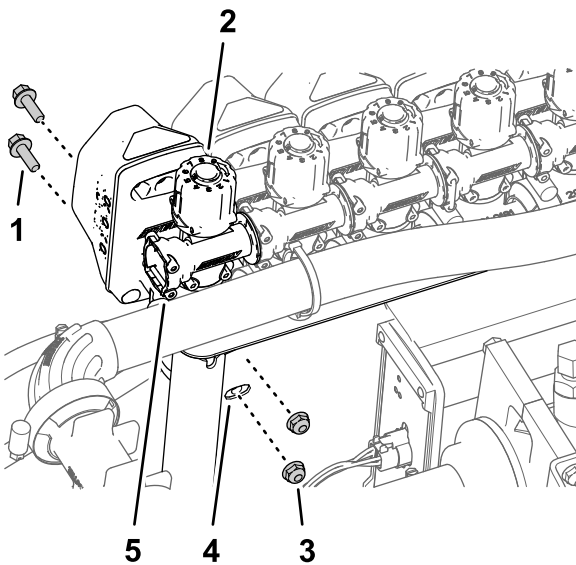


g199385

**図 109**

1. バルブマウントスプレーバルブアセンブリ

2. バルブマウントの取り付けブラケットの穴を、センターブームのトラスフレームの穴に合わせる [図 110](#)。

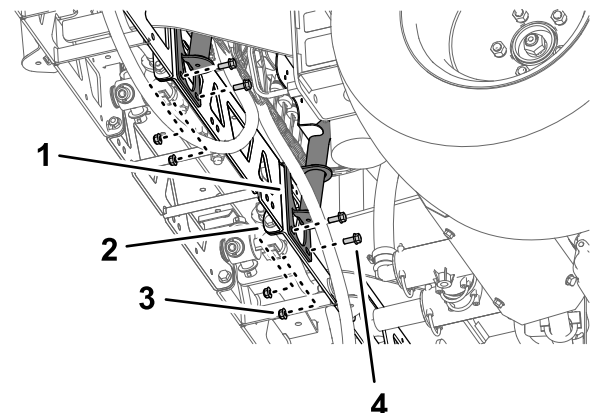


g201569

**図 108**

ハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

- |  |                            |
|--|----------------------------|
| 1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " | 4. バルブマウント                 |
| 2. ノズルバルブ 10番                                    | 5. クイックディスコネクトのフィッティングソケット |
| 3. ロックナット $\frac{1}{4}$ "                        |                            |



g199540

**図 110**

- |                   |                                      |
|-------------------|--------------------------------------|
| 1. ブラケットバルブマウント   | 3. フランジロックナット 5/16"                  |
| 2. トラスフレームセンターブーム | 4. フランジヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ " |
3. バルブマウントをトラスフレームに固定する [図 110](#) と [図 111](#) ボルト 5/16 x  $\frac{3}{4}$ " 4本とフランジロックナット 5/16" 4個を使用する。

4. フランジヘッドボルトとロックナットを 10.17-12.43 N·m 1.0-1.4 kg·m = 90-120 in-lb にトルク締めする。

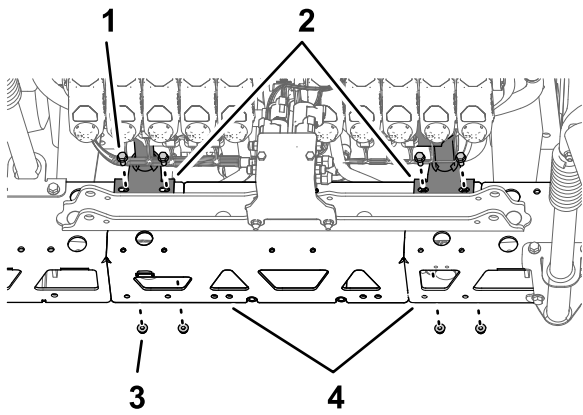


図 111

g199541

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4" | 3. フランジロックナット5/16" |
| 2. ブラケットバルブマウント          | 4. トラスフレームセンターブーム) |

- もう一方のトラスフレームの取り付けブラケットにも、ステップ 2-3 の作業を行う。
- フランジヘッドボルトとフランジロックナットを 1978-2542 N·cm 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lb にトルク締める。

## ホースをスプレーバルブマニホールドに組み付ける

- 図 112 に示すように、ホース 1 x 16" = 40 cm を 90 度フランジフィッティングに組み付ける。

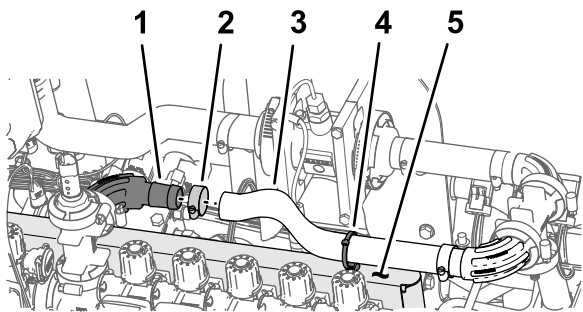


図 112

g199542

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 90度フランジフィッティング 1" | 4. 押し込み型ファスナーケーブルタイ |
| 2. ホースクランプ           | 5. バルブマウント          |

- ホースクランプを使ってホースをフランジフィッティングに固定する 図 112。
- 図 112 に示すように、ケーブルタイ押し込みファスナーをバルブマウント上部の穴に取り付ける。
- ケーブルタイ押し込みファスナー 図 112 をホース 1 x 16" = 40 cm に巻き付ける。

## ブームバイパスホースを取り付けるオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

- ステップ 1 バイパスホースを組み付ける (ページ 42) でバイパスホースに組み付けたクイックコネクトフィッティングのソケットからリテーナを外す。
- バイパスホースのクイックコネクトフィッティングを、ノズルバルブ 10 番のところにあるバイパスバルブにあるクイックディスコネクトフィッティングに取り付ける 図 113。

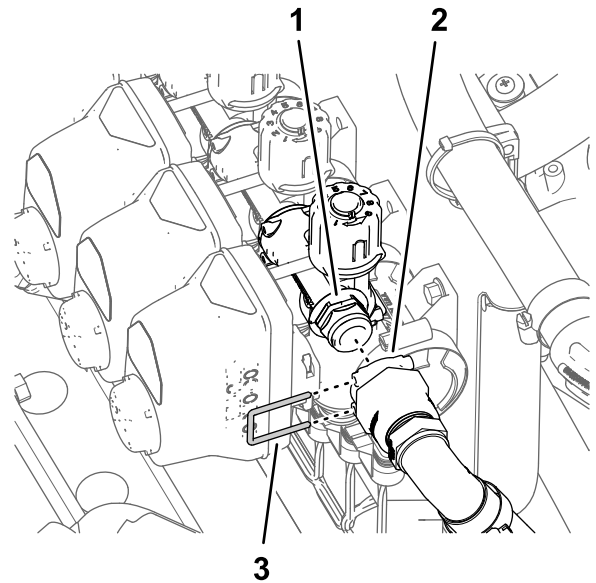


図 113

g199847

- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| 1. クイックディスコネクトフィッティングバイパスバルブ | 3. リテーナ |
| 2. ソケットクイックコネクトフィッティング       |         |
- バイパスホースおよびバイパスバルブ用のクイックディスコネクトフィッティングを、リテーナで固定する 図 113。
  - ノズルバルブ 1 番のクイックディスコネクトフィッティングについてもステップ 1-3 の作業を行う。

## ブームバイパスホースを取り付けるオプションのスプレースティックキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

- バイパスシャットオフバルブのクイックディスコネクトフィッティングを、バイパスバルブのクイックディスコネクトフィッティングに取り付ける 図 114。

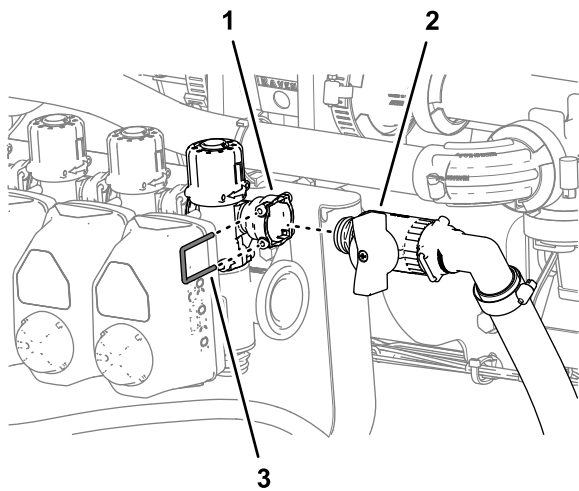


図 114

g264554

1. クイックコネクティングソケットノズルバルブ 10番
2. シャットオフバルブハンドスプレースティックまたは電動ホースリールキット
3. リテーナ

2. バイパスシャットオフバルブおよびバイパスバルブ用のクイックディスコネクティングを、リテーナで固定する図 114 ステップ 3 バイパスバルブの位置替えをするオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載している車両 (ページ 45) で外したリテーナを使用する。
3. 車体の反対側のバイパスシャットオフバルブおよびバイパスバルブにも、ステップ 1-2 の作業を行う。

## ノズルバルブのコネクタの接続を行う

1. コネクタアンカー用押し込みファスナーをバルブマウント穴に取り付ける図 115。

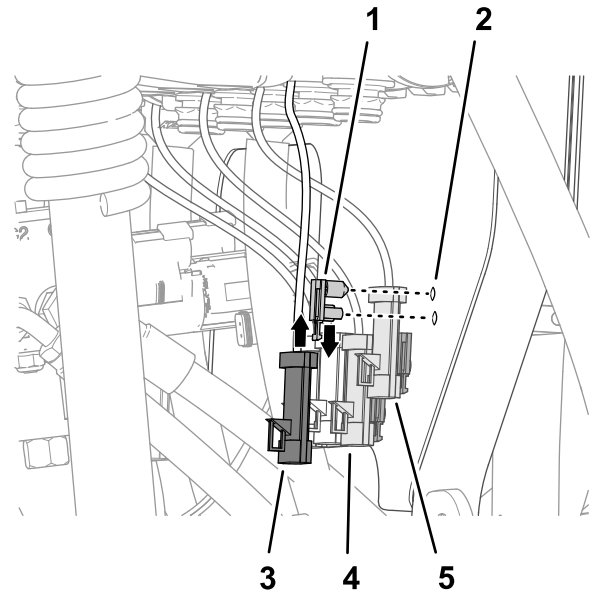


図 115

g199981

1. 押し込み型ファスナーコネクタアンカー
2. バルブマウント
3. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 10)
4. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 8)
5. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 9)

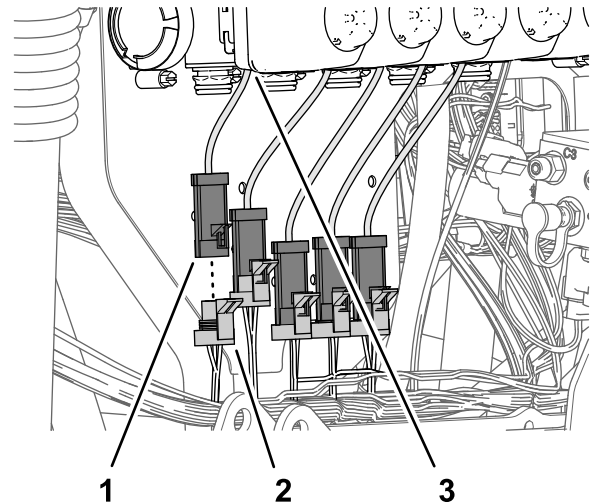


図 116

g199980

1. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 1)
2. 3ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 NOZZLE VALVE 1
3. バルブアクチュエーターポジション 1

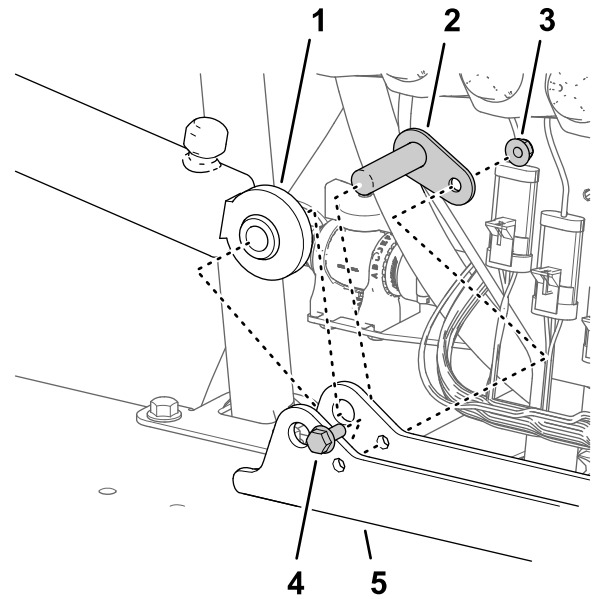
2. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線についている 3ピンコネクタ図 116 NOZZLE VALVE 1 というラ

ベルがついているものを一番左のバルブアクチュエータポジション 1 の 3 ピンコネクタに接続する。

**注** バルブアクチュエータのポジション 1-10 は、車両の後ろから見たときに左から右へ順に数えた位置です。

3. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線についている 3 ピンコネクタ [図 116](#) NOZZLE VALVE 2 というラベルがついているものをバルブアクチュエータポジション 2 の 3 ピンコネクタに接続する。
4. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線に残っている 3 ソケットコネクタを、バルブアクチュエータの 3 ピンコネクタに接続する [図 116](#)。

**注** 各 3 ソケットコネクタとバルブアクチュエータが正しく対応していることを確認してください。



g200002

図 117

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 昇降シリンダ固定側        | 4. フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4" |
| 2. ピボットピン           | 5. シリンダマウント               |
| 3. フランジロックナット 5/16" |                           |

2. シリンダをマウントに組み付けるピボットピン、フランジヘッドボルト、フランジナットを使用する [図 117](#)。
3. ボルトとナットを 1978-2542 N·cm 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする。
4. 機体の反対側の昇降シリンダについても 1-3 の作業を行う。

# 21

## ブーム昇降シリンダを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |                     |
|---|---------------------|
| 4 | 油圧ホース 1/4 x 24 3/4" |
|---|---------------------|

### 昇降シリンダを組み立てる

1. ステップ 3 昇降シリンダを取り外す (ページ 22) で取り外した昇降シリンダの固定側端部を、シリンダマウントの 16mm の穴にセットする [図 117](#)。

**注** 延びる側のポートと縮む側のポートを間違えないように整列させてください。

## 昇降シリンダホースを取り付ける

1. 左側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホールドのポート C3 との間に、新しい油圧ホース  $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ " を仮止めする [図 118](#)。

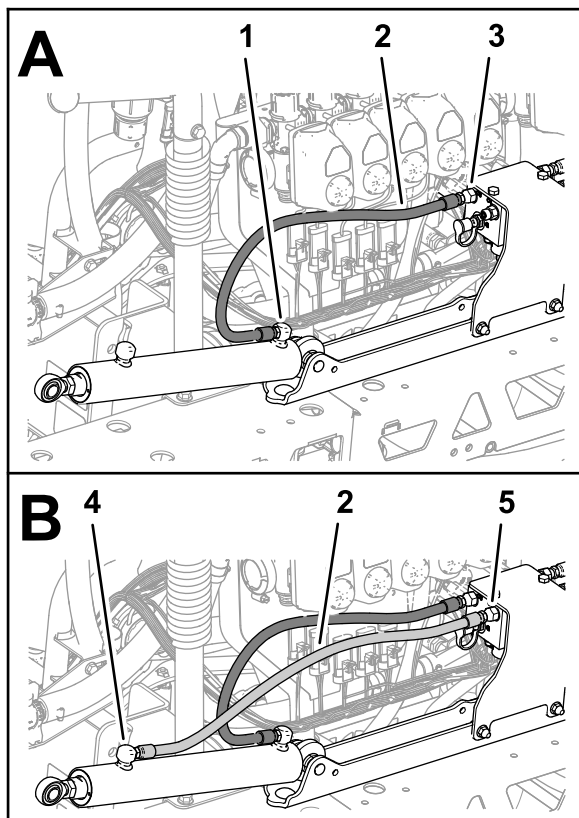


図 118

g200075

1. 延長動作用ポート左側ブーム昇降シリンダ
  2. 油圧ホース  $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ "
  3. ポート C3ブーム昇降マニホールド
  4. 引き込み側ポート左側ブーム昇降シリンダ
  5. ポート C4ブーム昇降マニホールド
2. 左側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホールドのポート C4 との間に、新しい油圧ホース  $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ " を仮止めする [図 118](#)。
  3. 右側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホールドのポート C1 との間に、新しい油圧ホース  $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ " を仮止めする ([図 119](#)。

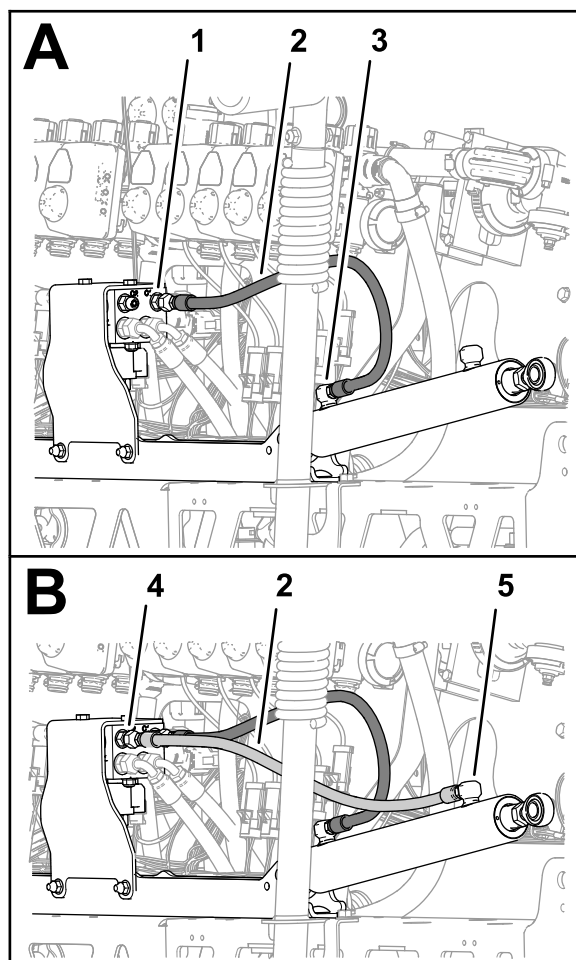


図 119

g200076

1. ポート C1ブーム昇降マニホールド
  2. 油圧ホース  $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ "
  3. 延長動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
  4. ポート C2ブーム昇降マニホールド
  5. 収縮動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
4. 右側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホールドのポート C2 との間に、新しい油圧ホース  $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ " を仮止めする [図 119](#)。
  5. 昇降シリンダの延長動作用および収縮動作用のポートのホースフィッティング [図 118](#) と [図 119](#) を 21-26 N·m 2.1-2.6 kg·m = 15-19 ft·lb にトルク締めする。
  6. 昇降マニホールドのホースのスイベルナット [図 118](#) と [図 119](#) を 24-30 N·m 2.4-3.0 kg·m = 17-22 ft·lb にトルク締めする。

# 22

## 左右のブームを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |                 |
|---|-----------------|
| 4 | ナイロン製フランジブッシュ   |
| 1 | ケーブルタイ          |
| 1 | 給液ホースアセンブリ188cm |
| 1 | 給液ホースアセンブリ234cm |
| 1 | 給液ホースアセンブリ279cm |

### 左右のブームからスプレーノズルを外す

- ふたつのノズルの間でホースを切断する [図 120](#)。

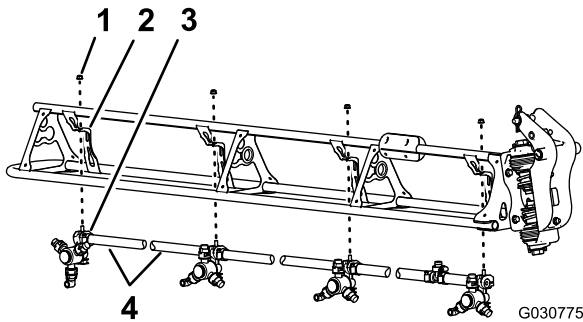


図 120

- フランジロックナット5/16"      3. スプレーノズル
- ノズルサポート                      4. ホース内径 3/4"

- ノズルをノズルサポートに固定しているフランジロックナット5/16"を外す [図 120](#)。
- 他の3個のノズルについても、上記の手順2と1を行う。

**注** 外したフランジロックナットとノズルは **左右のブームの散布ノズルを取り付ける (ページ 59)** で使用しますので捨てないでください。

**注** 機体から外したホース、クランプ、T字フィッティングは廃棄してください。

- 反対側のブームについても、2-3の作業を行う。
- ステップ1で取り外した8個のノズル全部について片側または両側バーブ付きホースシャンク3/4"とそのクランプの上半分とを各ノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1/4"を外してバーブ付きホースシャンクをから外す [図 121](#)。

**注** クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"—ステンレスは再利用しますから捨てないでください。

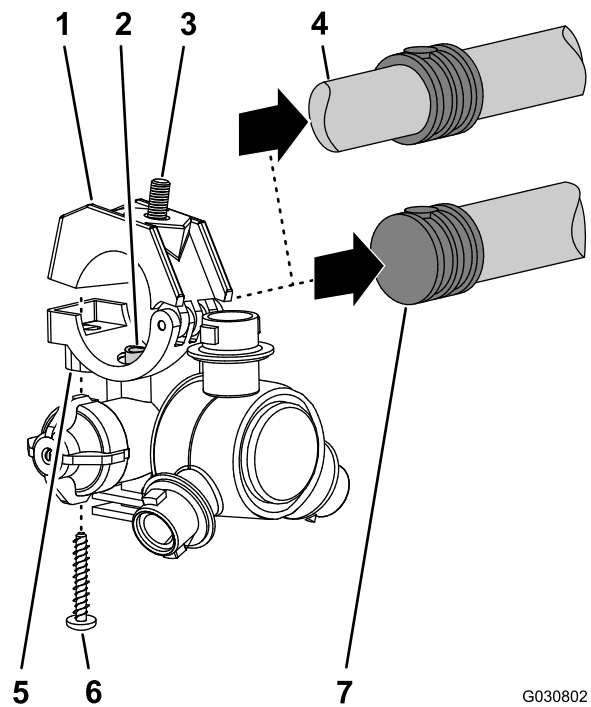


図 121

- クランプの上半分
- トランスファチューブ
- 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"ステンレス
- 両側バーブ付きホースシャンク3/4" ホース
- スプレーノズルのボディ
- ステンレスねじ#12 x 1/4"
- 片側バーブ付きホースシャンク3/4" ホース

### 左右のブームを機体に取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

- 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを吊り上げる。
- ピボットフィッティングの両側にある31.8mmの穴に、ナイロン製のフランジブッシュを入れる [図 122](#)。

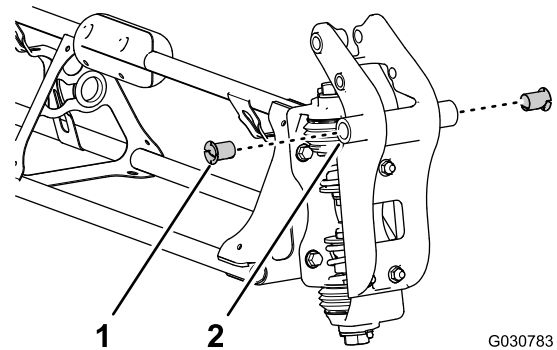
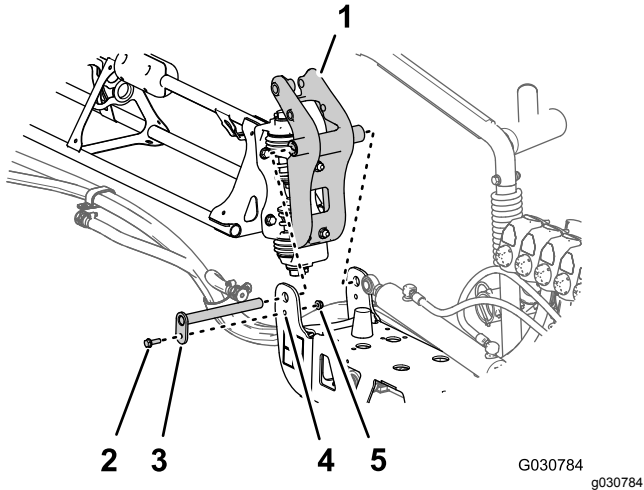


図 122

- ナイロン製フランジブッシュ
- ピボットフィッティング左右ブーム

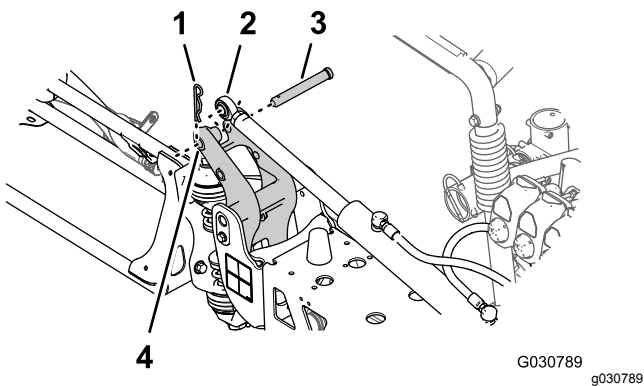
3. ピボットフィッティングのブッシュを、センターブームの端部にあるピボットブラケットのフランジについている穴に合わせる [図 123](#)。



**図 123**

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. ピボットフィッティング左右ブーム | 4. ピボットブラケットセンターブーム |
| 2. フランジボルト5/16 x 1" | 5. フランジロックナット5/16"  |
| 3. ピボットピン           |                     |

4. ピボットフィッティングをピボットブラケットに取り付けるステップ 2 左右のブームを取り外す (ページ 23) で取り外したピボットピン、フランジボルト5/16 x 1" とフランジロックナット5/16" を使用する。
5. ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする。
6. 昇降シリンダのロッドの先端を、ピボットフィッティングのホーンツノの穴25mmに合わせる [図 124](#)。



**図 124**

- |                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| 1. ヘアピン         | 3. クレビスピン                    |
| 2. ロッドの先端昇降シリンダ | 4. 25mm の穴 — ピボットフィッティングのホーン |

7. 昇降シリンダをピボットフィッティングに固定するクレビスピンとヘアピン [図 124](#) ステップ 2 昇降シリンダを取り外す (ページ 22) で外したものを使用する。
8. 機体の反対側のブームにも、ステップ 1-7 の作業を行う。

# 23

## 散布ノズル用ホースを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |            |
|---|------------|
| 2 | 給液ホース279cm |
| 2 | 給液ホース234cm |
| 4 | 給液ホース188cm |
| 2 | 給液ホース81cm  |

### 各散布ノズル用ホースの取り付け位置を確認する

各ホースの取り付け位置をホースの長さで確認する [図 125](#)

#### ホース取り付け位置確認表

| ノズルの位置左ブーム                  | ノズルの位置センターブーム                        | ノズルの位置右ブーム                    |
|-----------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| 散布ノズル 1ノズルバルブ 1 給液ホース 279cm | 散布ノズル と6ノズルバルブ 5 給液ホース 81cm 枝ホース本付き  | 散布ノズル 9ノズルバルブ 7 給液ホース 188cm   |
| 散布ノズル 2ノズルバルブ 2 給液ホース 234cm | 散布ノズル 7と8ノズルバルブ 6 給液ホース 81cm 枝ホース本付き | 散布ノズル 10ノズルバルブ 8 給液ホース 188cm  |
| 散布ノズル 3ノズルバルブ 3 給液ホース 188cm |                                      | 散布ノズル 11ノズルバルブ 9 給液ホース 234cm  |
| 散布ノズル 4ノズルバルブ 4 給液ホース 188cm |                                      | 散布ノズル 12ノズルバルブ 10 給液ホース 279cm |

注 ノズルバルブの位置については [図 126](#) 各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。(ページ 57)、[図 127](#) ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。(ページ 57)、および[図 128](#) 各ホースをノズルバルブ7-10 番に取り付ける。(ページ 58)を参照してください。

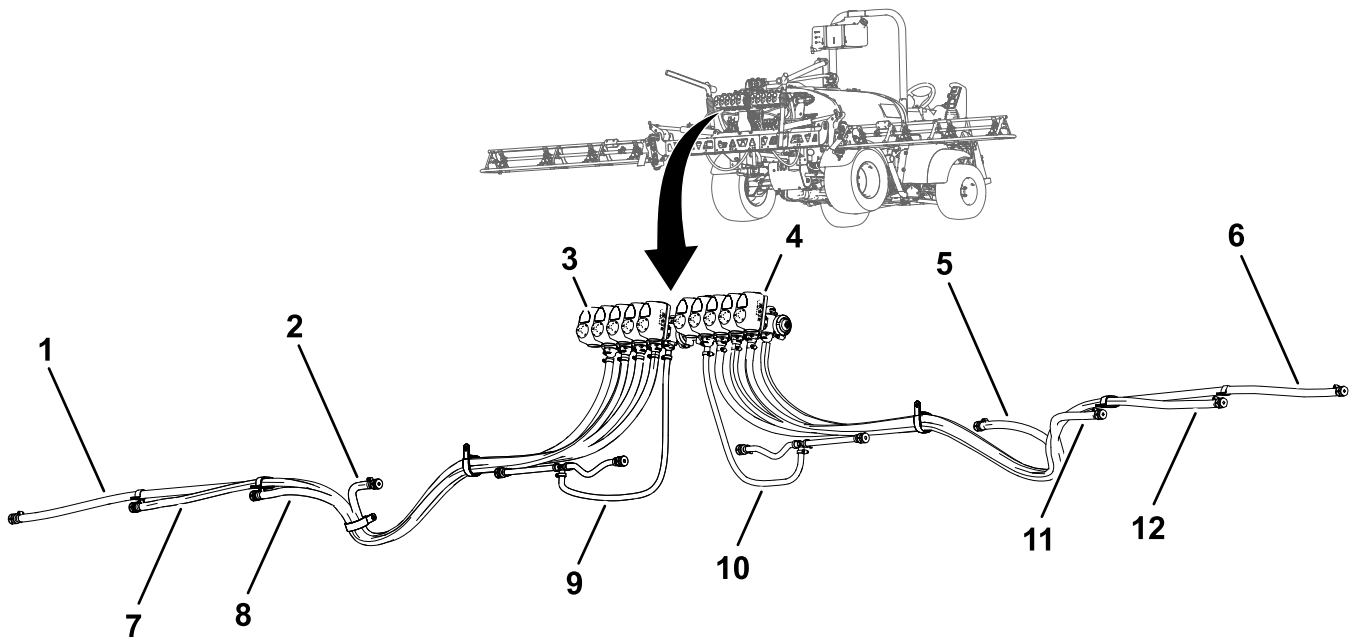


図 125

g200077

- |                      |                       |                        |
|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 給液ホース279cm 散布ノズル  | 5. 給液ホース188cm 散布ノズル9  | 9. 給液ホース81cm 散布ノズルと6   |
| 2. 給液ホース188cm 散布ノズル4 | 6. 給液ホース279cm 散布ノズル12 | 10. 給液ホース81cm 散布ノズル7と8 |
| 3. ノズルバルブ 1番         | 7. 給液ホース234cm 散布ノズル2  | 11. 給液ホース188cm 散布ノズル10 |
| 4. ノズルバルブ 10番        | 8. 給液ホース188cm 散布ノズル3  | 12. 給液ホース234cm 散布ノズル11 |

## 各ホースをノズルバルブ~4番に取り付ける。

1. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ番のカップラに組み付ける [図 126](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

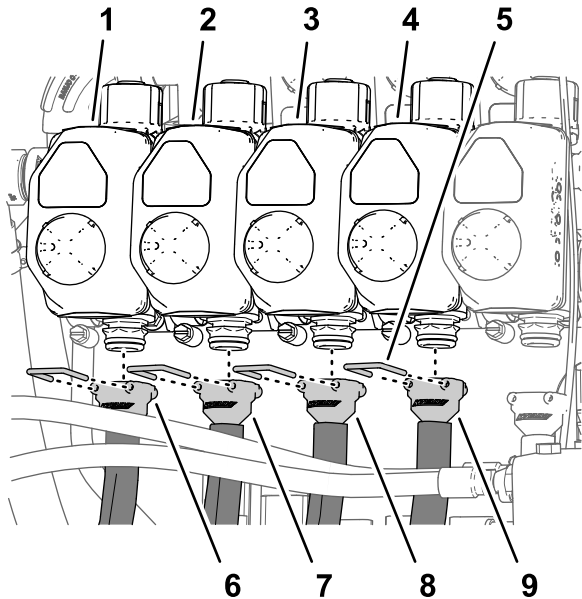


図 126

g200156

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ノズルバルブ 1番 | 6. 給液ホース279cm |
| 2. ノズルバルブ 2番 | 7. 給液ホース234cm |
| 3. ノズルバルブ 3番 | 8. 給液ホース188cm |
| 4. ノズルバルブ 4番 | 9. 給液ホース188cm |
| 5. リテーナ      |               |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 126](#)。

3. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ2番のカップラに組み付ける [図 126](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 126](#)。

5. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ3番のカップラに組み付ける [図 126](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 126](#)。

7. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ4番のカップラに組み付ける [図 126](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 126](#)。

## ホースをノズルバルブ5および6番に取り付ける。

**注** 給液ホースアセンブリ81cmにはT字フィッティング、枝ホース本、バーブ付きホースシャック本が付きまます。

1. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ5番のカップラに組み付ける [図 127](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

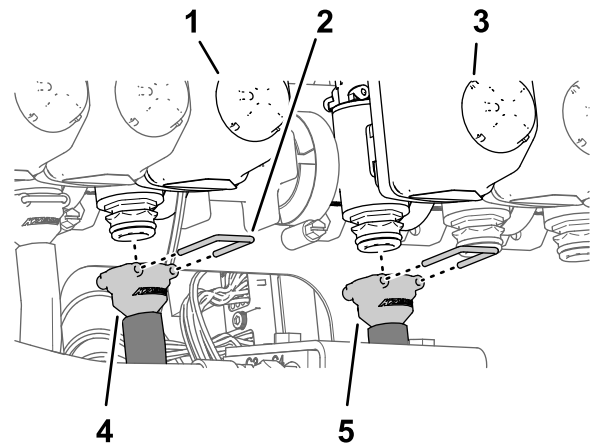


図 127

g200157

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. ノズルバルブ 5番 | 4. 給液ホース81cm |
| 2. リテーナ      | 5. 給液ホース81cm |
| 3. ノズルバルブ 6番 |              |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 127](#)。

3. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ6番のカップラに組み付ける [図 127](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 127](#)。

## 各ホースをノズルバルブ7-10番に取り付ける。

1. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ7番のカップラに組み付ける [図 128](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

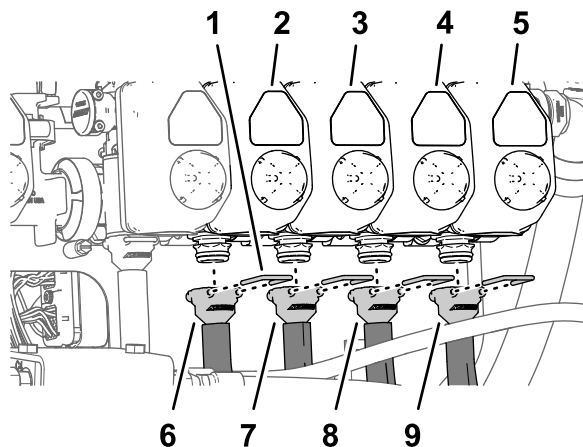


図 128

g200158

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. リテーナ       | 6. 給液ホース188cm |
| 2. ノズルバルブ 7番  | 7. 給液ホース188cm |
| 3. ノズルバルブ 8番  | 8. 給液ホース234cm |
| 4. ノズルバルブ 9番  | 9. 給液ホース279cm |
| 5. ノズルバルブ 10番 |               |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 128](#)。

3. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ8番のカップラに組み付ける [図 128](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 128](#)。

5. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ9番のカップラに組み付ける [図 128](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 128](#)。

7. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ10番のカップラに組み付ける [図 128](#)。

**注** バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 128](#)。

## 給液ホースを散布ノズルへ配設する

1. 散布ノズル、、、番用のホースを、センターブームの左端にあるR クランプに通す [図 129](#)と [図 130](#)。

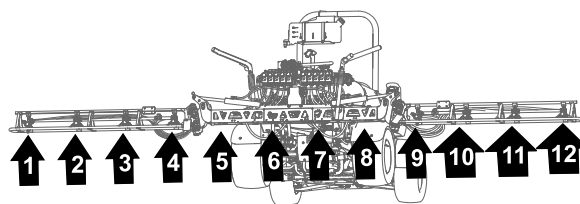


図 129

g200162

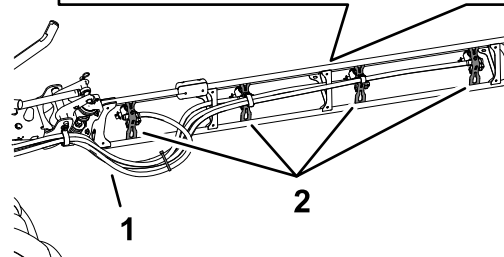
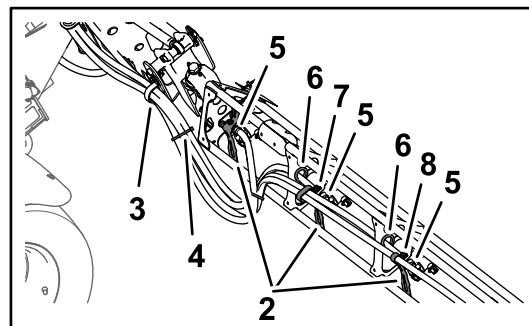


図 130

g200185

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 1. ホース     | 5. 片側バーブ付きホースシャック1/2" |
| 2. ノズルサポート | 6. グロメット              |
| 3. R クランプ  | 7. ダブル R クランプ         |
| 4. ケーブルタイ  | 8. シングル R クランプ        |

2. 散布ノズル7、8、9、10番用のホースを、センターブームの右端にあるR クランプに通す [図 129](#)と [図 130](#)。

3. [図 129](#)と[図 130](#)のように、給液ホース279 cmとバーブ付きホースシャック3/4"をブームに沿って散布ノズル-10番へ配設する。

4. [図 129](#)と[図 130](#)のように、給液ホース234 cmとバーブ付きホースシャック3/4"をブームに沿って散布ノズル4-9番へ配設する。

5. [図 129](#)と[図 130](#)のように、給液ホース188 cmとバーブ付きホースシャック3/4"をブームに沿って散布ノズル3-8番へ配設する。

**注** 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。

6. 図 129と図 130のように、給液ホース188 cmとバーブ付きホースシャック $\frac{3}{4}$ "をブームに沿って散布ノズル4-7番へ配設する。

**注** 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。

7. 散布ノズル用のホース4本をケーブルタイで 図 130のようにまとめる。

- ノズル位置1番と4番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける 図 132のAステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 53)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。
- ノズル位置2番と3番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける 図 132のAとBステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 53)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。

## 左右のブームの散布ノズルを取り付ける

1. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ 図 131を、片側バーブ付きホースシャック $\frac{1}{2}$ "の穴に合わせる。

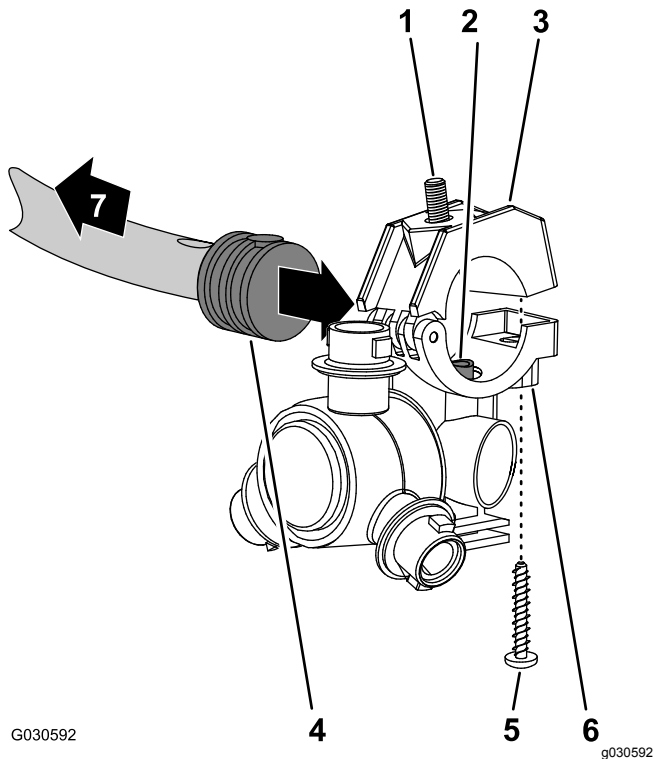


図 131

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| 1. 六角ヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ "ステンレス | 5. ステンレスねじ#12 x $1\frac{1}{4}$ " |
| 2. トランスファチューブ                          | 6. スプレーノズルのボディ                   |
| 3. クランプの上半分                            | 7. ブームへ                          |
| 4. 片側バーブ付きホースシャック $\frac{1}{2}$ "      |                                  |

2. バーブ付きホースシャックにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ 図 131を、ステンレスねじ#12 x  $1\frac{1}{4}$ "で固定し、14-18 N·m 0.25-0.3 kg·m = 20-25 in-lbにトルク締めする。

**注** クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x  $\frac{3}{4}$ "がきちんとはまっていることを確認してください。

3. 以下の要領で、左右のブームにスプレーノズルを取り付ける

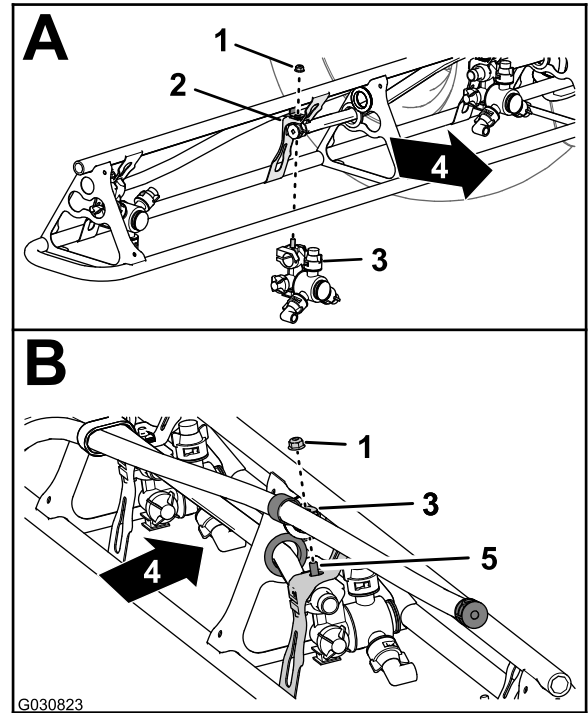


図 132

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1. フランジロックナット5/16" | 4. 機体後方                                |
| 2. ノズルマウント         | 5. 六角ヘッドボルトステンレス5/16 x $\frac{3}{4}$ " |
| 3. スプレーノズル         |  |

4. フランジロックナットを、19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
5. このブームの他のノズルについても、1-4の手順を行う。
6. 機体の反対側のブームにも、ステップ 1-5の作業を行う。

# 24

## キットのワイヤハーネスを車体後部に接続する

必要なパーツはありません。

### ワイヤハーネスを水圧トランスデューサとASC 10に接続する

1. キットのワイヤハーネスの 61cm の枝線の PRESSURE TRANSDUCER GREEN WEDGE というラベル付きの3ソケットコネクタを、水圧トランスデューサの3ピンコネクタに接続する [図 133](#)。

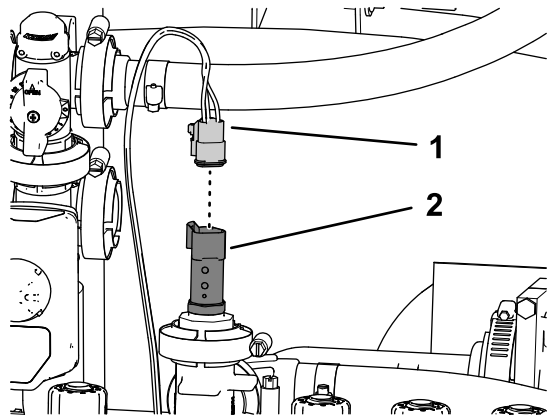


図 133

g200254

1. 3ソケットコネクタキットのハーネスの 61cm 枝線  
PRESSURE TRANSDUCER GREEN WEDGE
2. 3ピンコネクタ水圧トランスデューサ

2. キットのワイヤハーネスの 40ソケットコネクタを、ASC 10 散布コントローラの 40ピンコネクタに接続する [図 134](#)。

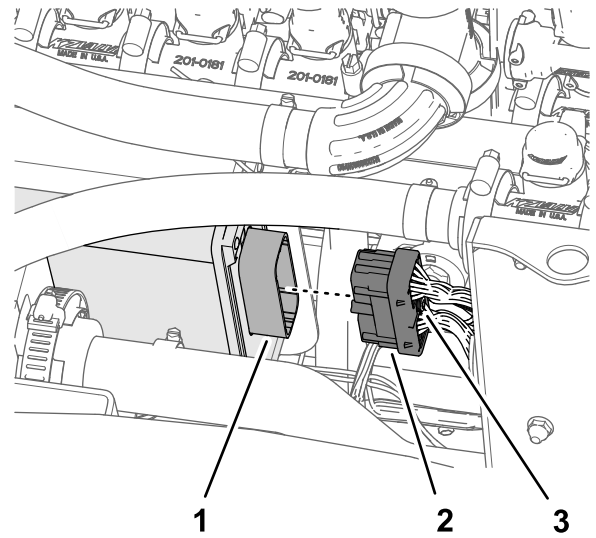


図 134

g200253

1. 40ピンコネクタASC 10 散 3. 蝶ねじ  
布コントローラ
2. 40ソケットコネクタワイヤ  
ハーネスの 102cm 枝線

3. 40ソケットコネクタについているねじを、ASC 10  
コントローラに取り付ける [図 134](#)。
4. TO ASC 10というラベルの付いた4ソケットコネク  
タを、ASC 10 散布コントローラの4ピンコネク  
タに接続する [図 135](#)。

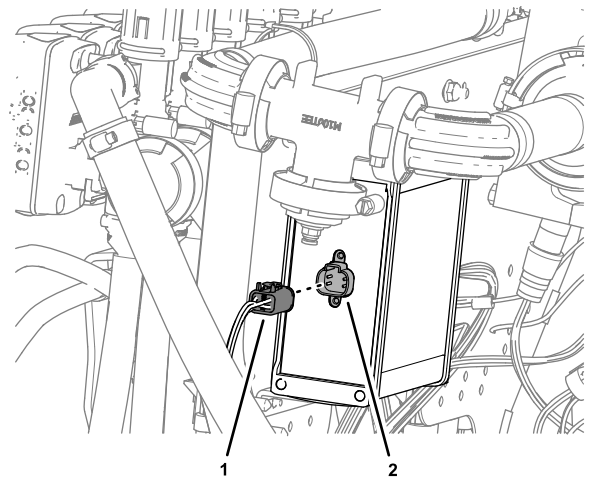


図 135

g264612

1. 4ソケットコネクタTO ASC 10 2. 4ピンコネクタASC 10 散布  
コントローラ

# 25

## ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

必要なパーツはありません。

### ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロックカラーに合わせる [図 136](#)。

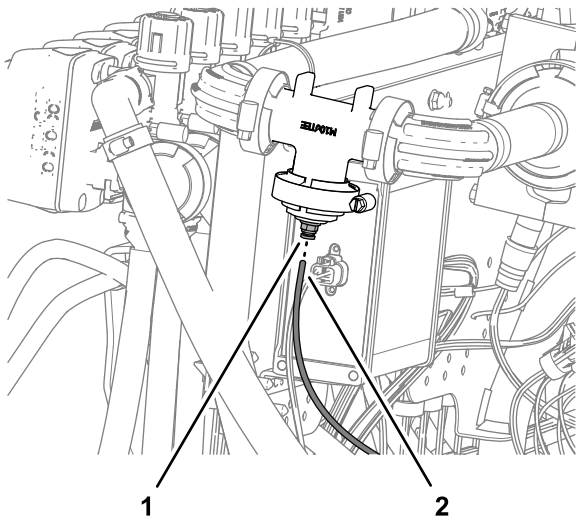


図 136

g264613

1. ロッキングカラーチューブ
2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む [図 136](#)。

### 水圧検知チューブを取り付ける

オプションのハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. ノズルバルブ 10 番のフランジにプレーンキャップを固定しているフランジクランプとガスケットを取り外す [図 137](#)。

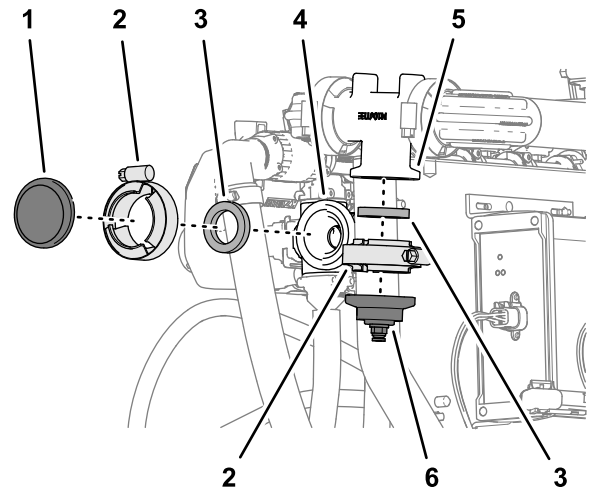


図 137

g264611

1. キャッププレーン
2. フランジクランプ
3. ガスケット
4. フランジノズルバルブ 10 番
5. フランジフローメータマニホルド
6. キャップとチューブフィッティング

2. フローメータマニホルドのフランジにキャップを固定しているフランジクランプとガスケットを取り外す [図 137](#)。

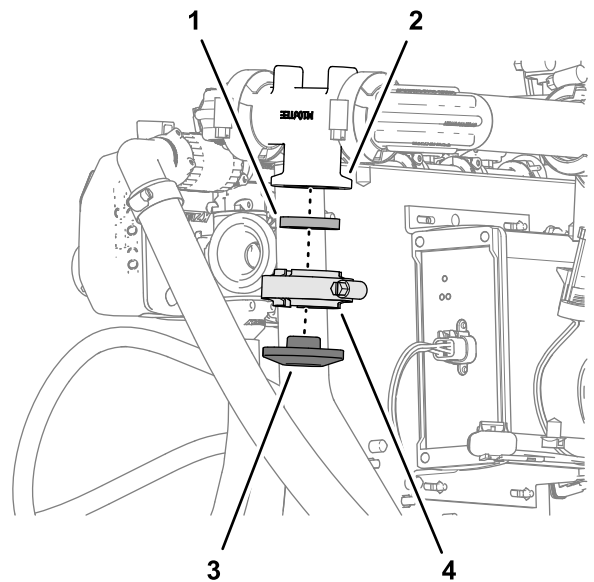


図 138

g264610

1. ガスケット
2. フランジフローメータのマニホルド
3. キャッププレーン
4. フランジクランプ

3. プレーンキャップをフローメータマニホルドのフランジに組み付けるステップ 2 で外したフランジクランプとガスケットを使用する。クランプは手締めする [図 138](#)。

4. オプションのスプレースティックキットまたは電動ホースリールキット用のシャットオフバルブの 90°フィッティングを、ノズルバルブ 10 番のフラ

ンジに組み付けるステップ 1 で外したフランジクラ  
ンプとガスケットを使用する。クランプは手締め  
する 図 139。

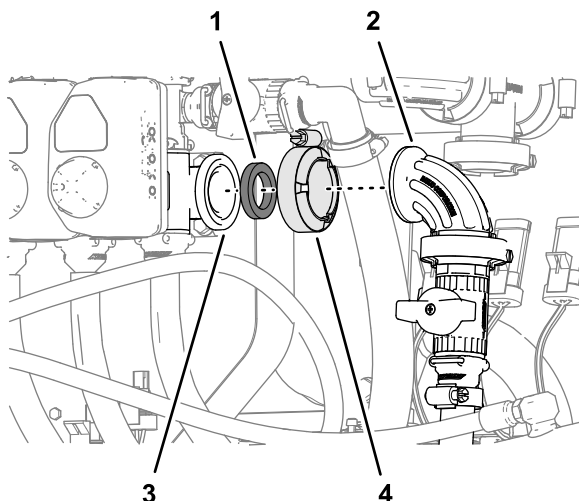


図 139

g264587

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. ガスケット                    | 3. フランジノズルバルブ 10番 |
| 2. 90° フィッティングシャットオ<br>フバルブ | 4. フランジクランプ       |

5. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹  
脂チューブの口を、スプレースティックキットまた  
は電動ホースリールキット用のシャットオフバルブ  
の 90° フィッティングのチューブカップラ用ロッキ  
ングカラーに合わせる 図 140。

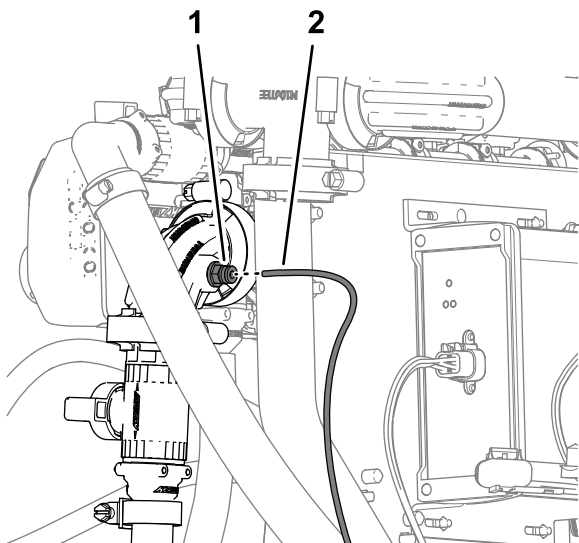


図 140

g264588

- |                                     |                             |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. チューブカップラ90° フィッ<br>ティングシャットオフバルブ | 2. 水圧検知チューブダッシュ<br>ボードの水圧計用 |
|-------------------------------------|-----------------------------|

6. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番  
奥まで押し込む 図 140。

# 26

## オプションのフォームマーカ キットの接続を行う

この作業に必要なパーツ

|   |        |
|---|--------|
| 6 | ケーブルタイ |
|---|--------|

### フォームマーカのノズルのチュー ブの配設行う

1. 左右のboom用の泡ノズル用チューブを、車両  
中心に向かって配設し、各boomの支点近く  
にある R クランプに通す 図 142。

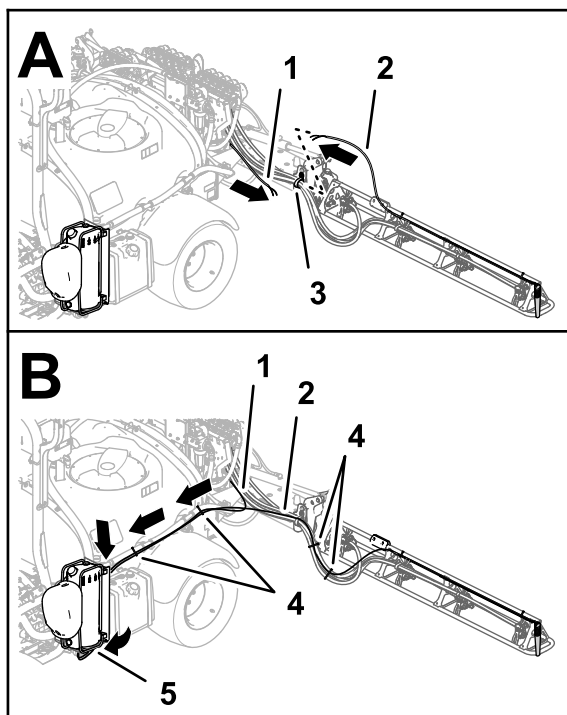
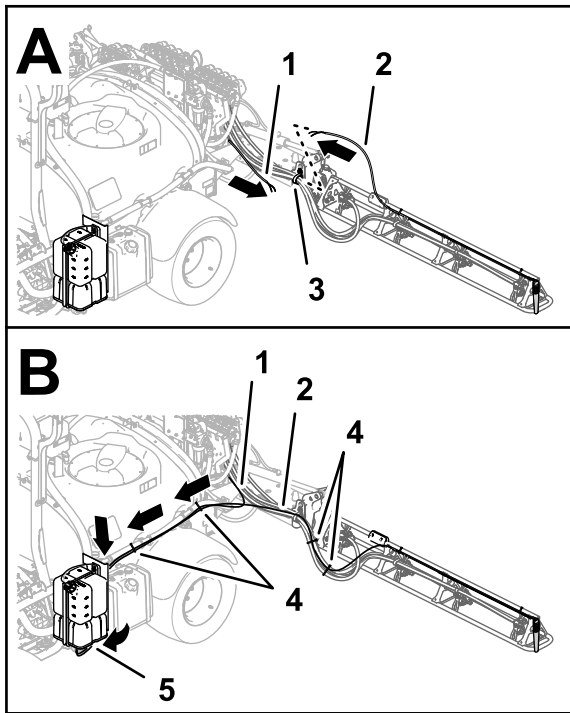


図 141

g202021

フォームマーカキット2016年度以前

- |                               |                             |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. チューブフォームマーカ<br>のノズル用右boom用 | 4. ケーブルタイ                   |
| 2. チューブフォームマーカ<br>のノズル用左boom用 | 5. 接続パネルフォームマ<br>ーカーのコンプレッサ |
| 3. R クランプ                     |                             |



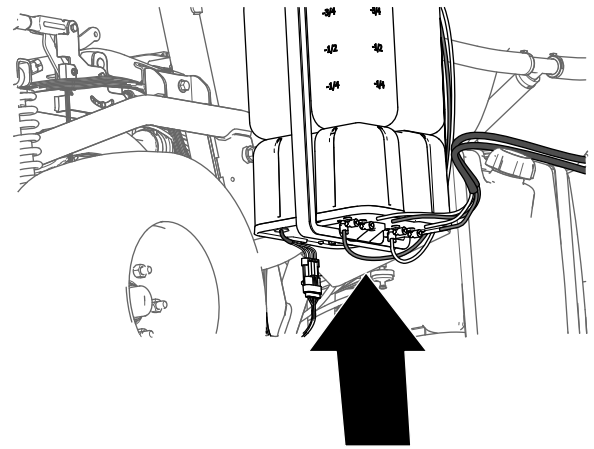
g201934

図 142

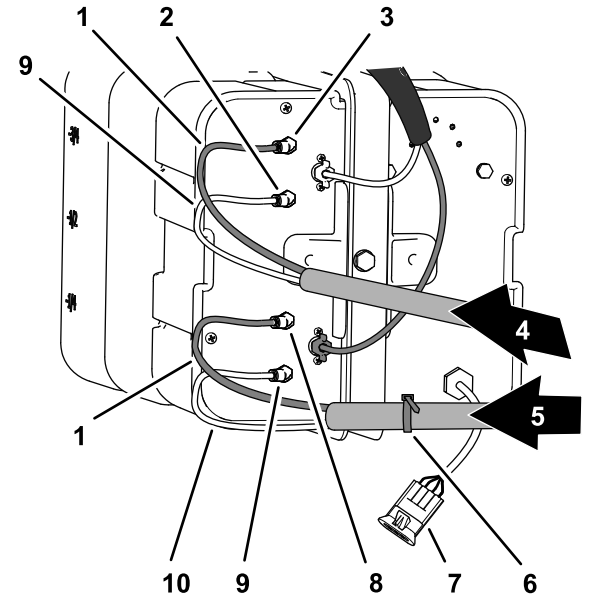
フォームマーカークィット2017年度以降

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. チューブフォームマーカークのノズル用右ブーム用 | 4. ケーブルタイ                |
| 2. チューブフォームマーカークのノズル用左ブーム用 | 5. 接続パネルフォームマーカークのコンプレッサ |
| 3. R クランプ                  |                          |

- 散布液剤タンクの左側に沿ってチューブを前方に延ばす 図 142。
- ケーブルタイを使って、左右のブーム用のフォームマーカークのノズルをスプレーヤの液剤ホースに 図 142 のように固定する。
- ケーブルタイ2本を使って、左右のフォームマーカークのノズルを攪拌用のチューブに 図 142 のように固定する。



g197746



g266328

図 143

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 青いチューブ         | 6. ケーブルタイ          |
| 2. 空気用フィッティング左ブーム | 7. 電気コネクタ          |
| 3. 原液用フィッティング左ブーム | 8. 原液用フィッティング右ブーム  |
| 4. 泡用チューブ左ブーム     | 9. 透明チューブ          |
| 5. 泡用チューブ右ブーム     | 10. 空気用フィッティング右ブーム |

## コンプレッサに原液チューブと空気チューブを取り付ける

フォームマーカークィット2017年度以降

- 図 143 のように、右側ブーム用泡チューブを配設する。

- コンプレッサのサイドプレートのエア用フィッティングに透明チューブを入れる 図 143 と 図 144。

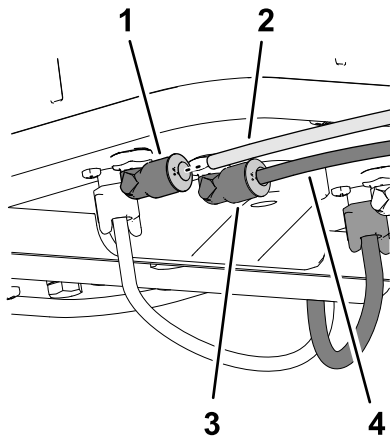


図 144

g201938

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 空気用フィッティング | 3. 原液用フィッティング |
| 2. 透明チューブ     | 4. 青色チューブ     |

3. サイドコンプレッサプレートで、原液用フィッティングに青いチューブを入れる 図 143 と 図 144。
4. 図 143 のように、左側ブーム用泡チューブを配設する。
5. コンプレッサのサイドプレートのエア用フィッティングに透明チューブを入れる 図 143 と 図 144。
6. サイドコンプレッサプレートで、原液用フィッティングに青いチューブを入れる 図 143 と 図 144。

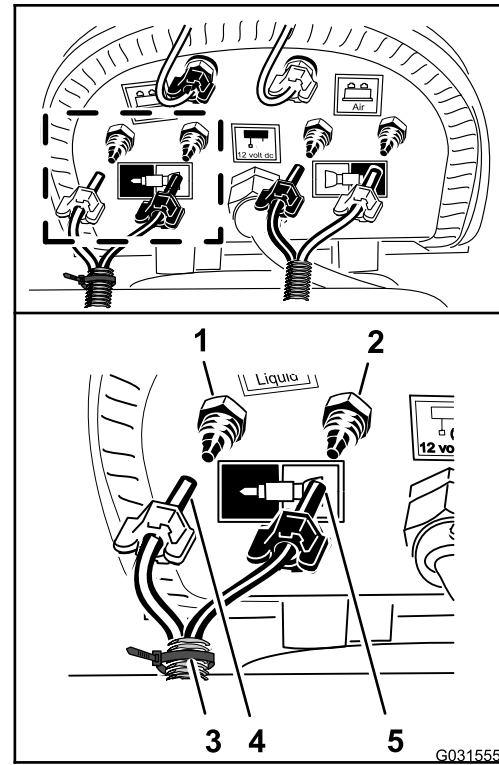


図 145

g031555

- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 圧縮フィッティング水用右ブーム、青チューブ   | 4. 圧縮ナット空気用右ブーム、青チューブ |
| 2. 圧縮フィッティング空気用右ブーム、透明チューブ | 5. 圧縮ナット水用右ブーム、透明チューブ |
| 3. ケーブルタイ                  |                       |

## コンプレッサに原液チューブと空気チューブを取り付ける

### フォームマーカークイット2016年度以前

1. ステップ 9 フォームマーカのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う (ページ 15) でケーブルタイを使ってマーキングしたチューブのうち、右側ブーム用の青色チューブを右側ブーム用給水部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 145。

2. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 145。
3. 右側ブーム用の透明チューブを右側ブーム用エア供給部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 145。
4. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 145。
5. マークの付いていないケーブルタイの付いていないチューブ束で、左側ブーム用の青色チューブを左側ブーム用給水部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 146。

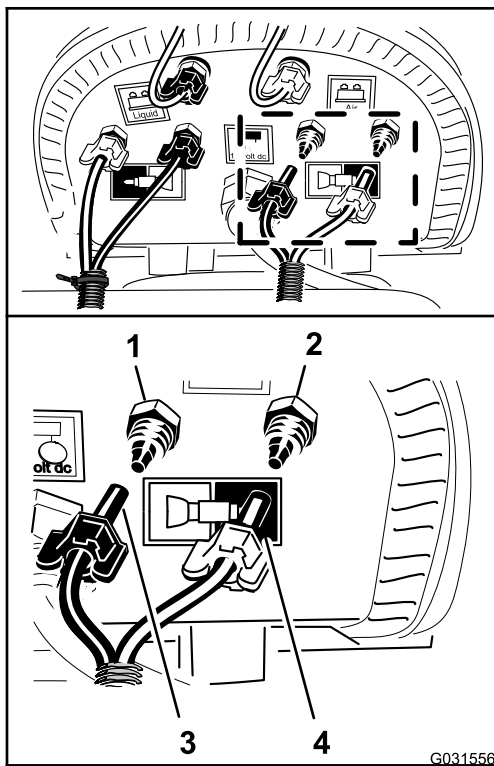


図 146

g031556

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 圧縮フィッティング水用左<br>ブーム、青チューブ   | 3. 圧縮ナット左ブーム、青<br>チューブ  |
| 2. 圧縮フィッティング空気用<br>左ブーム、透明チューブ | 4. 圧縮ナット左ブーム、透明<br>チューブ |

6. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 146。
7. 左側ブーム用の透明チューブを左側ブーム用エア供給部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 146。
8. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 146。
9. ケーブルタイ2本を使って、フォームマーカのチューブを液剤ホースに固定する 図 142。

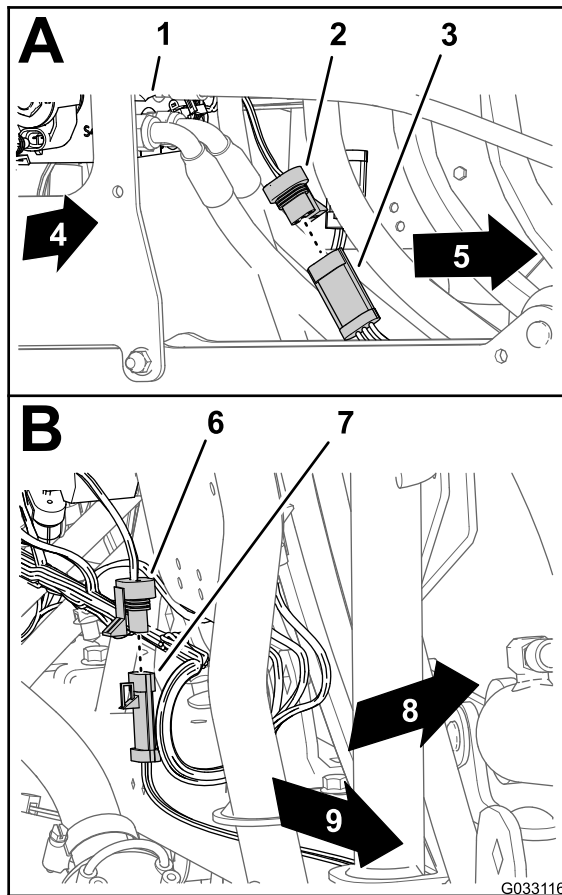


図 147

g033116

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| 1. 昇降シリンダのマニホールド                         | 6. 3ピンコネクタ左側ウルトラ<br>ソニックセンサー: ケーブル |
| 2. 3ソケットコネクタソニック<br>ブームのワイヤハーネス右<br>センサー | 7. 機体左側                            |
| 3. 3ピンコネクタ右側ウルトラ<br>ソニックセンサー: ケーブル       | 8. 機体後方                            |
| 4. 機体右側                                  | 9. 機体左側                            |
| 5. 3ソケットコネクタソニック<br>ブームのワイヤハーネス左<br>センサー |                                    |

2. 左側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを接続する 図 147のB。

# 27

## オプションのウルトラソニック ブームキットを接続する

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 右側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを接続する 図 147のA。

# 28

## オプションのブームカバーキットの取り付けを行う

### この作業に必要なパーツ

|    |   |
|----|---|
| 1  | カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用 Toro P/N 120-0621                        |
| 22 | ポップリベット Toro P/N 114439   |
| 4  | サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03                        |
| 4  | クリップナット Toro P/N 94-2413  |
| 16 | フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x 1 $\frac{1}{4}$ " Toro P/N 110-5050 |
| 16 | フランジロックナット $\frac{5}{16}$ " Toro P/N 104-8301                   |
| 2  | カバーストラップ Toro P/N 120-0629                                      |
| 4  | フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x 1 $\frac{1}{4}$ " Toro P/N 323-36   |

### センターブームカバー11ノズルにカバーエクステンションを取り付ける

1. 補強プレートリベット1列とゴム製カバーを11ノズル用センターブームのカバーに固定している11本のポップリベット [図 148](#) ステップ 26 **カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 18)** で外しておいたカバーについているリベットを、直径5mmのドリルビットを使って取り外す。

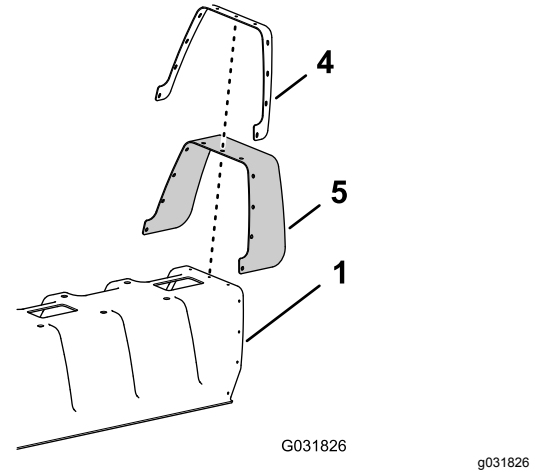
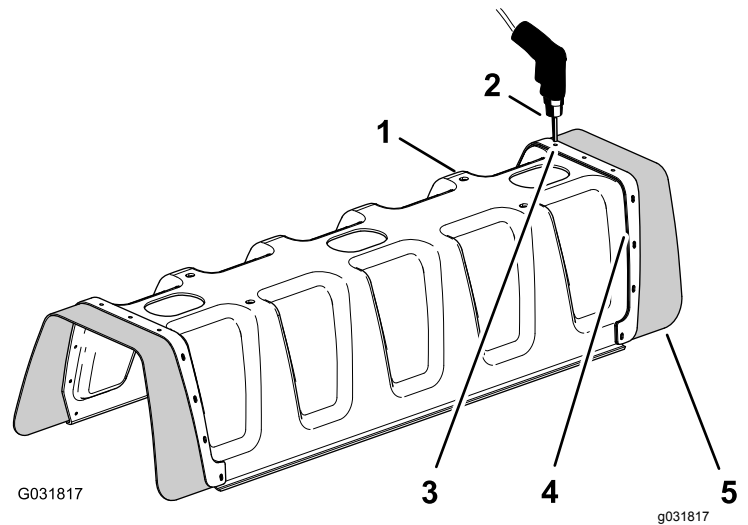


図 148

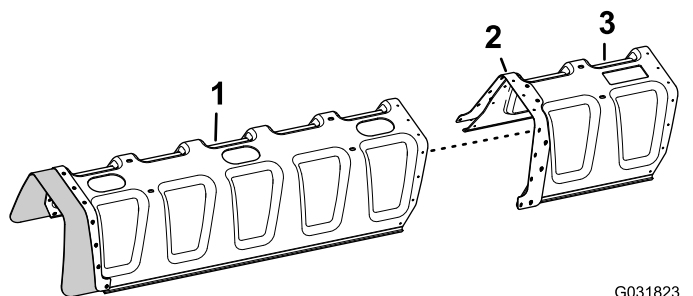
1. 11ノズルブーム用カバー
2. ドリルと直径5mmビット
3. リベット $\frac{3}{16}$  x  $\frac{1}{2}$
4. 補強板1列穴
5. ゴムカバー

2. 11ノズルブーム用カバーから、補強版、ワッシャ $\frac{3}{16}$ " 11枚、ゴム製カバーを取り外す [図 148](#)。

**注** 外した補強版、ワッシャ、ゴム製カバーは、ステップ 5 と 6 で使用します。

3. カバーエクステンションに取り付けられている補強プレート2列穴の穴に、11ノズルブーム用カバーの穴を合わせる [図 149](#)。

注 ワッシャ3/16"は、カバーエクステンションの内面に当たるように取り付けてください。

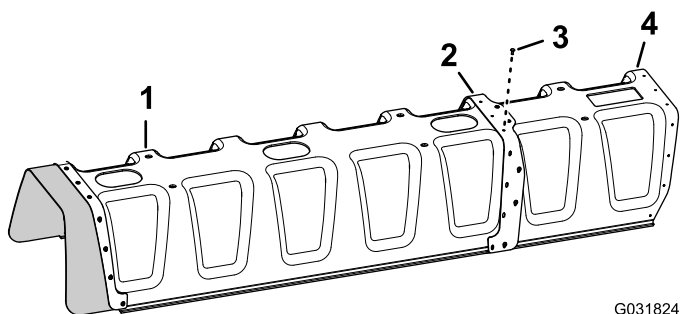


G031823  
g031823

図 149

1. 11 ノズルboom用カバー
2. 補強板2列穴
3. カバーエクステンション

4. ポップリベット11本Toro P/N 114439を使って、カバーエクステンションを11 ノズルboom用カバーに固定する 図 150。

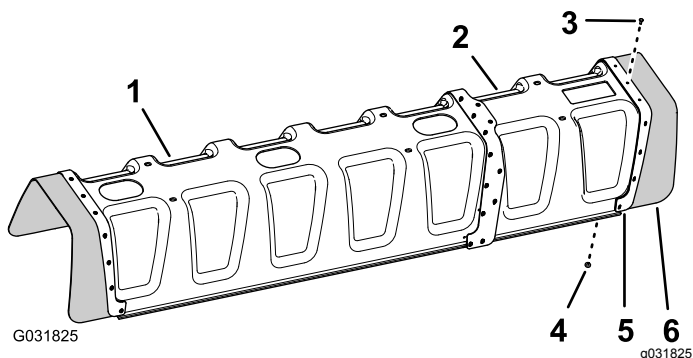


G031824  
g031824

図 150

1. 11 ノズルboom用カバー
2. 補強板2列穴
3. ポップリベットToro P/N 114439
4. カバーエクステンション

5. ステップ2で取り外したゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる 図 151。



G031825

g031825

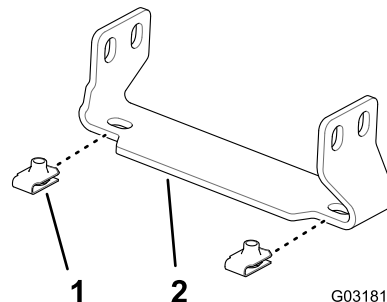
図 151

1. 11 ノズルboom用カバー
2. カバーエクステンション
3. ポップリベットToro P/N 114439
4. ワッシャ3/16"
5. 補強板1列穴
6. ゴムカバー

6. 補強版とゴムカバーを、カバーエクステンションに固定するポップリベットToro P/N 11443911本と、ステップ5で外したワッシャ3/16"11枚を使用する。

## センターboom用カバーのサポートブラケットを取り付ける

1. 図 152 のように、センターカバーToro P/N 131-3703-03用のサポートブラケット2個に、クリップナットToro P/N 94-24134個を取り付ける。



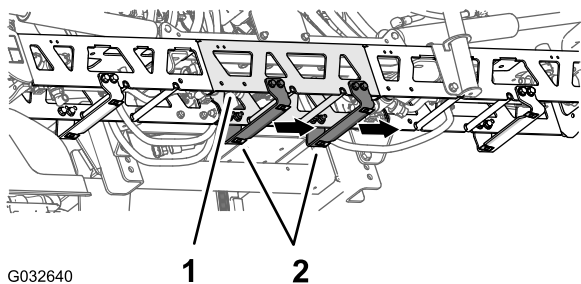
G031819

g031819

図 152

1. クリップナットToro P/N 94-2413
2. サポートブラケットセンターboom用カバーToro P/N 13-3703-03

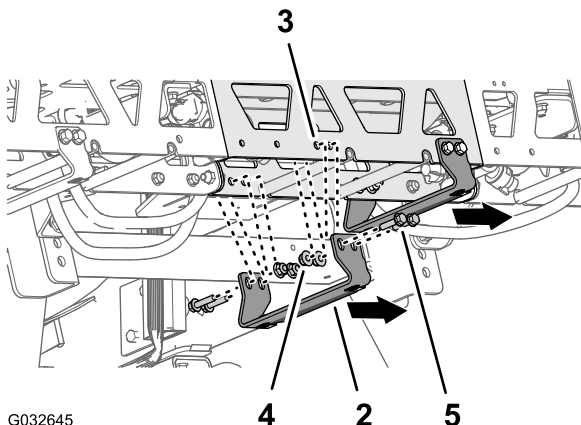
2. センターboomエクステンションにある2組の穴トラスフレームの垂直面に25mm 間隔で開いている穴を探し出す 図 153。



G032640

1 2

g032640



G032645

3 4 2 5

g032645

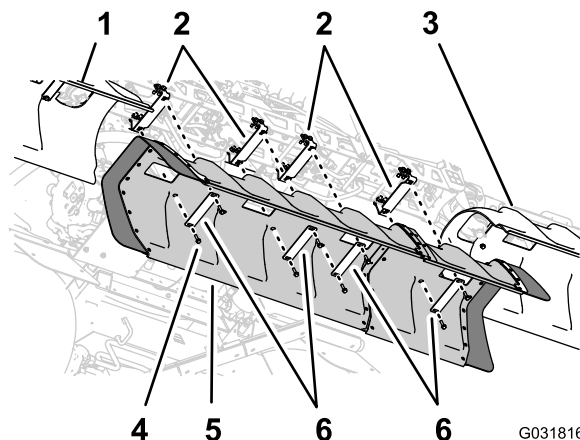
図 153

- |   |   |
|---|---|
| 1. エクステンションセンター<br>boom                             | 4. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "Toro<br>P/N 104-8301                   |
| 2. サポートブラケットToro P/N<br>131-3703-03 (広いフラン<br>ジが右側) | 5. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x<br>1 $\frac{1}{4}$ "Toro P/N 110-5050 |
| 3. トラスフレームの穴センター<br>boomのエクステンション)                  |   |

- サポートブラケットToro P/N 131-3703-03の穴を、センターboomエクステンションの穴ステップ2で探し出した穴に合わせるブラケットの広いフランジが左側になるように合わせることを図153を参照。
- サポートブラケットをトラスフレームに固定する。図153フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$  x 1 $\frac{1}{4}$ "、Toro P/N 110-50504本、フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "、Toro P/N 104-83014個を使用する。
- 残りの2組の穴についても、ステップ2-4を行い、さらに、もう一方のサポートブラケット、フランジヘッドボルト、フランジロックナットについても同様に作業を行う。
- ボルトとナットを 37-45 N·m 9.3-11.5 kg.m = 27-33ft-lb にトルク締めする。

## センターboom用カバーを取り付ける

- センターboomカバーの穴を、サポートブラケットにある取り付け用の穴に合わせる図154。



G031816

g031816

図 154

- |              |   |
|--------------|---|
| 1. 左側boomカバー | 4. フランジヘッドボルト 5/16<br>x 1 $\frac{1}{4}$ " |
| 2. サポートブラケット | 5. 中央boomカバー                              |
| 3. 右側boomカバー | 6. カバーストラップ                               |

- ステップ16カバー付きboomキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す(ページ18)で取り外した2本のカバーストラップの穴を、ゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図154。
- カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付けるステップ16カバー付きboomキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す(ページ18)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 1 $\frac{1}{4}$ "4本を使用する。
- 2本のカバーストラップToro P/N 120-0629の穴を、カバーにある残り4つの穴とサポートブラケットにある残り4つの穴に合わせる図154。
- カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付ける図154フランジヘッドボルト5/16 x 1 $\frac{1}{4}$ "、Toro P/N 323-364本を使用する。
- ボルトを 1978-2542 N·cm 3.1-3.8 kg.m = 175-225 in-lb にトルク締めする。

# 29

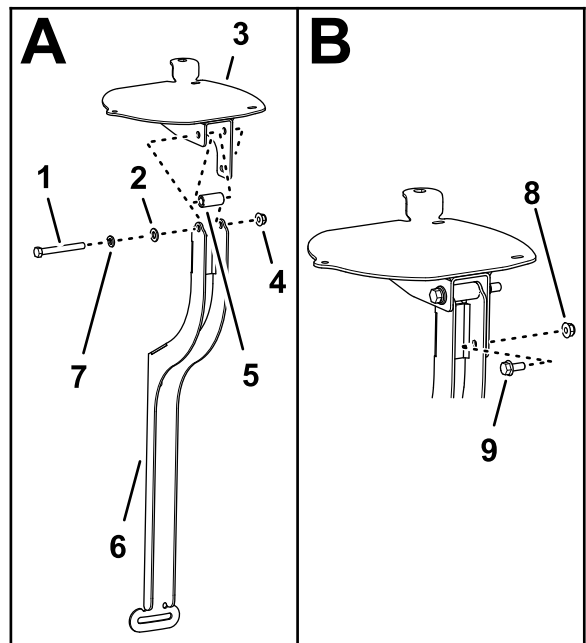
## ナビゲーション受信機を取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |  |
|---|--|
| 1 | 受けプレート   |
| 1 | スペーサ $\frac{3}{8}$ x 1"                                |
| 1 | 受信機用マウント   |
| 1 | ボルト $\frac{3}{8}$ x 3 $\frac{1}{4}$ "                  |
| 1 | ロックワッシャ $\frac{3}{8}$ "                                |
| 1 | ワッシャ $\frac{3}{8}$ x 13/16"                            |
| 1 | フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "                             |
| 1 | フランジヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ "                       |
| 1 | フランジロックナット5/16"  |
| 2 | フランジヘッドボルト( $\frac{3}{8}$ x 1 $\frac{1}{2}$ " )        |
| 2 | スペーサ $\frac{3}{8}$ x 7/16"                             |
| 1 | ナビゲーション受信機X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAASモデル 41630      |
| 3 | 六角ヘッドボルト5 x 16mm                                       |
| 3 | ワッシャ5mm  |
| 1 | バルクヘッドアダプタオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット |
| 1 | 携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット   |
| 1 | 同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット     |

### 受信機用マウントを組み立てる

1. ナビゲーション受信機プレートの穴、スペーサ $\frac{3}{8}$  x 1"、受信機マウントの穴を揃える [図 155](#)。



g200645

図 155

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 1. ボルト $\frac{3}{8}$ x 3 $\frac{1}{4}$ " | 6. 受信機用マウント                         |
| 2. ワッシャ $\frac{3}{8}$ x 13/16"           | 7. ロックワッシャ $\frac{3}{8}$ "          |
| 3. ナビゲーション受信機プレート                        | 8. フランジロックナット5/16"                  |
| 4. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "            | 9. フランジヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ " |
| 5. スペーサ $\frac{3}{8}$ x 1"               |                                     |

2. [図 155](#)のように、受信機プレートとスペーサをマウントに取り付けるボルト $\frac{3}{8}$  x 3 $\frac{1}{4}$ "、ロックワッシャ $\frac{3}{8}$ "、ワッシャ $\frac{3}{8}$  x 13/16"、フランジナット $\frac{3}{8}$ "を使用する。
3. 受信機マウントの小さい方の穴と受信機プレートのスロットに、フランジヘッドボルト5/16 x  $\frac{3}{4}$ "を通し、フランジロックナットを取り付ける [図 155](#)。
4. 受信機プレートを少し抵抗があるが回せる程度にボルトとナットを締め付ける。

## 受信機マウントを車両に取り付ける

1. 受信機マウントとスペーサ $\frac{3}{8}$  x 7/16"を ROPS に取り付けるフランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$  x 1 $\frac{1}{2}$ "で [図 156](#) のように取り付ける。

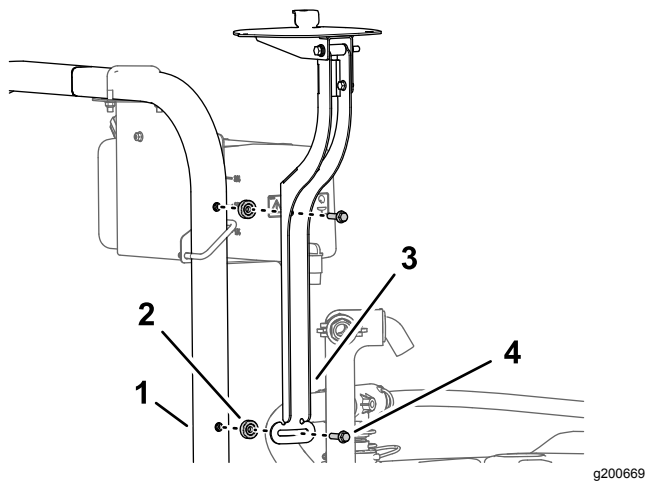


図 156

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1. ROPS                       | 3. 受信機用マウント  |
| 2. スペーサ $\frac{3}{8}$ x 7/16" | 4. フランジヘッドボルト ( $\frac{3}{8}$ x 1 $\frac{1}{2}$ ") |

2. 受信機プレートを少し抵抗があるが回せる程度にボルトを締め付ける。
3. 受信機プレートを左右水平にする [図 157](#)。

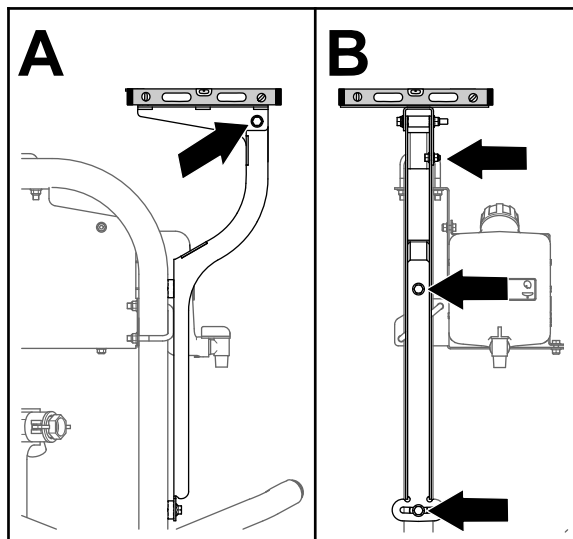


図 157

4. フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$  x  $\frac{3}{4}$ "とフランジロックナット $\frac{5}{16}$ "を 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in-lb にトルク締めする。
5. 受信機プレートを前後水平にする [図 157](#)。
6. ボルト $\frac{3}{8}$  x 3 $\frac{1}{4}$ "とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ "を 37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft-lb にトルク締めする。

## ナビゲーション受信機を受信機プレートに組み付ける

1. 受信機底部の3本のねじ部を、マウントの3つの穴に合わせる [図 158](#)。

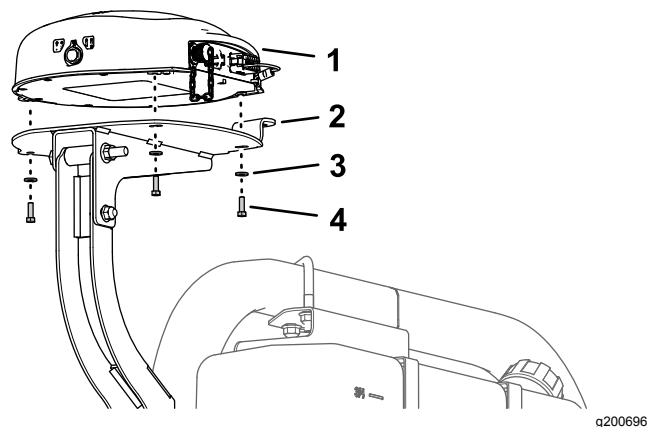


図 158

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1. ナビゲーション受信機 | 3. ワッシャ5mm          |
| 2. 受けプレート     | 4. 六角ヘッドボルト5 x 16mm |

2. 受信機をマウント荷台に固定する [図 158](#) 六角ヘッドボルト5 x 16mm3本と、ワッシャ5 x 16mm3枚を使用する。
3. ボルト3本を 576-712 N·cm 0.6-0.7 kg·m = 51-63 in-lb にトルク締めする。

## ナビゲーション受信機に RTK アンテナを取り付ける

注 CDMA RTK または GSM RTK 修正モデムを搭載している車両では、RTKを取り付けます。

1. 同軸カップラのねじ部分を下に向けて RTK アンテナ用フランジの開口部に通す [図 159](#)。

注 同軸ケーブルコネクタのねじの平たい部分をフランジの開口部の平たい部分に合わせて入れてください。

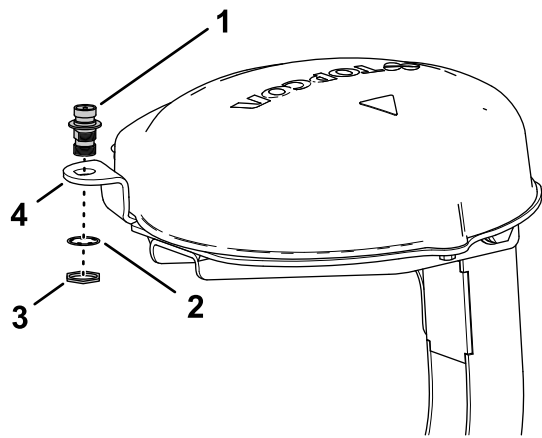


図 159

g200697

1. 同軸カップラ
2. ロックワッシャ
3. ジャムナット
4. RTK アンテナのフランジ受信機プレート

2. ロックワッシャとジャムナットで同軸カップラを受信機プレートのフランジに組み付け、ジャムナットを手締めする 図 159。
3. 同軸カップラの上側フィッティングに RTK アンテナを組み付け、アンテナに付いているナットを手締めする 図 160。

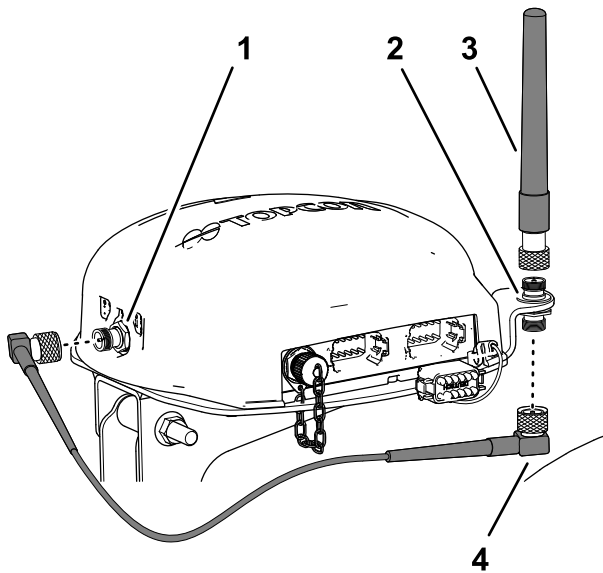


図 160

g200709

1. 同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデム
2. 同軸カップラ
3. RTK アンテナ
4. アンテナケーブル

4. 同軸カップラの下側フィッティングにアンテナ線を仮留めする 図 160。
5. ケーブルを、ナビゲーション受信機の後ろを通して、CDMA または GSM 携帯電話用モデムの同軸コネクタまで導く 図 160。
6. アンテナ線を、同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデムに接続する 図 160。

7. アンテナ線のナットを手締めする。

# 30

## スプレヤーのモニタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

|   |   |
|---|---|
| 1 | モニタマウント   |
| 3 | フランジヘッドボルト 6 x 12 mm                            |
| 2 | ボルト 5/16"                                       |
| 8 | フランジロックナット 5/16"                                |
| 1 | ボールマウント   |
| 4 | フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4"                          |
| 1 | モニタ X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630    |
| 1 | モニタアーム X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630 |

## ハンドルを取り外す

1. ハンドル軸上のハンドルの位置にテープでマーキングする 図 161。

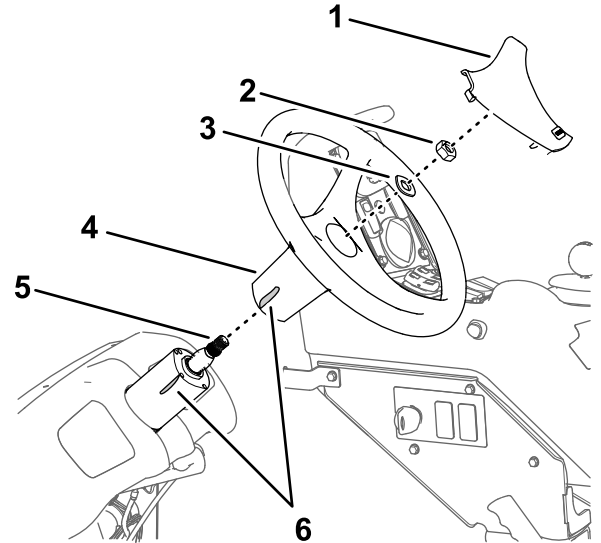


図 161

g201190

1. ハンドルのカバー
2. ナット 5/8"
3. ワッシャ 5/8"
4. ハンドル
5. シャフトステアリングバルブ
6. テープ

2. ハンドルのカバーを外す 図 161。
3. ハンドルをステアリングバルブに固定しているナット 5/8" とワッシャ 5/8" を外してハンドルを取り外す 図 161。

## モニタマウントを取り付ける

1. 図 162 に示すようにモニタマウントを配置する。

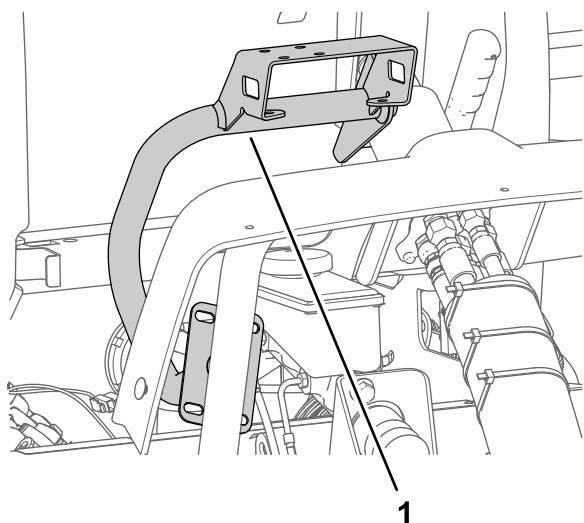


図 162

g201211

1. モニタマウント

2. モニタマウントをステアリングバルブのハウジングに取り付ける図 163 フランジヘッドボルト 6 x 12mm 3本を使用する。

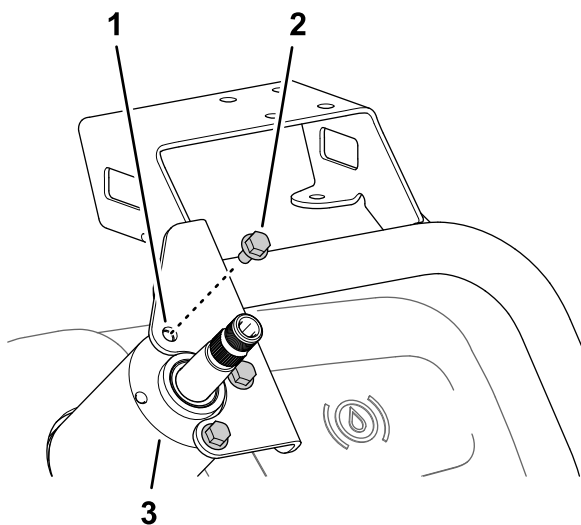


図 163

g201179

1. モニタマウント
2. フランジヘッドボルト 6 x 12 mm
3. ハウジングステアリングバルブ

2. フランジヘッドボルト 6 x 12 mm

3. モニタマウントのプレートを車両のシャーシのサポートチューブに取り付ける図 164 Uボルト 2本とフランジロックナット 5/16" 4 個を使用する。

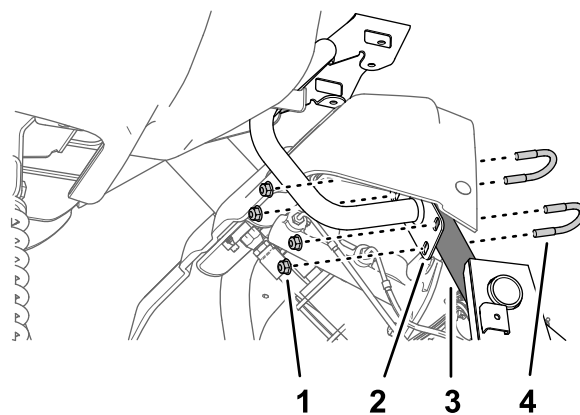


図 164

g201180

1. フランジロックナット 5/16"
2. プレートモニタマウント)
3. サポートチューブ車両のシャーシ
4. ボルト 5/16"

4. ステアリングバルブの所のフランジヘッドボルト 6 x 12 mm 3本を 9.72-11.98 N·m ( 1.0-1.2 kg.m = 86-106 in-lb にトルク締め、サポートチューブの所のフランジロックナットを 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lb にトルク締めする。

## ハンドルを取り付ける

1. ハンドルに付けておいたテープマークを、ステアリングバルブのハウジングについているテールマークに合わせる図 165。

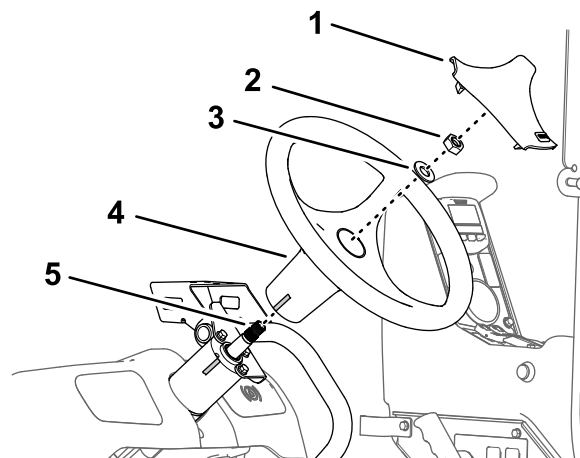


図 165

g201184

1. ハンドルのカバー
2. ナット 5/8"
3. ワッシャ 5/8"
4. ハンドル
5. シャフトステアリングバルブ

2. ハンドルを、ステアリングバルブのシャフトに取り付ける図 165 ステップ 3 ハンドルを取り外す (ページ 71) で取り外したワッシャ 5/8" とナット 5/8" を使用する。
3. ナットを 206-254 N·m 9.3-11.5 kg.m = 152-188 ft-lb にトルク締めする。

- ステップ 2 ハンドルを取り外す (ページ 71) で外したカバーを、ハンドルに取り付ける 図 171。

- オペレータが着席した状態でモニターを見ることができるようモニターの角度を調整し、モニターアームのノブを手締めする 図 167。

## 散布モニタをマウントに取り付ける

- ボールマウントをモニターマウント用ブラケットに組み付ける 図 166 フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4" 4本とフランジロックナット 5/16" 4個を使用する。

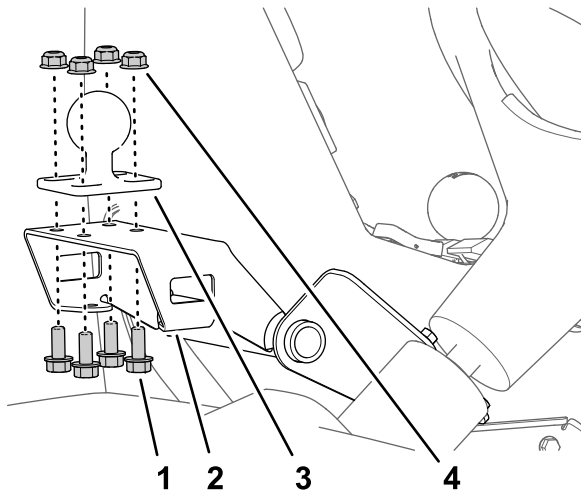


図 166

g201181

1. ブラケットモニターマウント) 3. ボールマウント
2. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4" 4. フランジロックナット5/16"

2. ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in-lb にトルク締めする。
3. モニターのボールフィッティングと車体のボールマウントを、モニターアームにセットする 図 167。

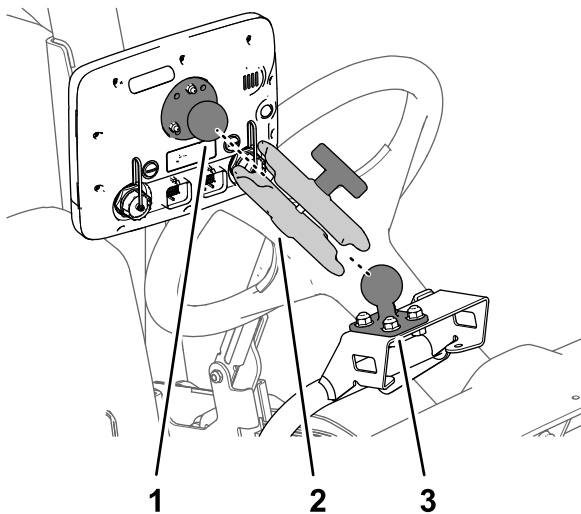


図 167

g201183

1. ボールフィッティングモニター 3. ボールマウント
2. モニターアーム

# 31

## スプレーポンプクラッチの配線を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 車両用ワイヤハーネスのうち、SPRAY PUMP COIL というラベルのついた 2 ソケットコネクタを、オルタネータの 2 ピンコネクタから外す 図 168。

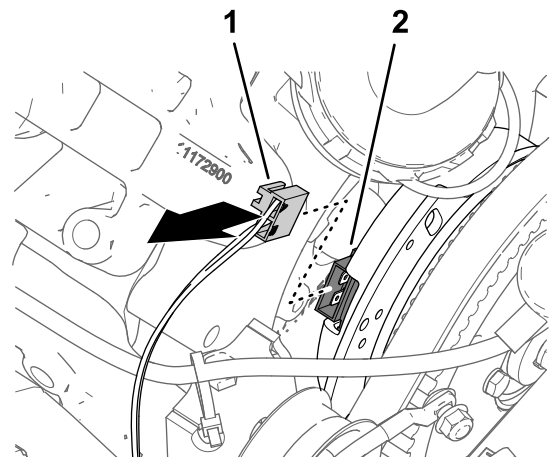


図 168

g198155

1. 2 ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス PUMP CLUTCH
2. 2 ピンコネクタオルタネータ

2. キットのハーネスの枝線についている 2 ピンコネクタ 84cm の長さで PUMP CLUTCH というラベルがついているものを車両のワイヤハーネスの SPRAY PUMP COIL というラベルがついている 2 ソケットコネクタに接続する 図 169。

# 32

## 散布用の電装機器を取り付ける

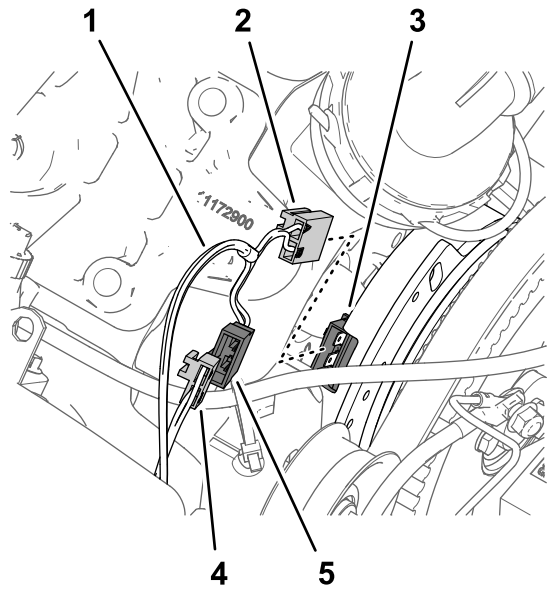


図 169

g198144

1. キットのワイヤハーネスの枝線84cm
2. 2ソケットコネクタキットのワイヤハーネスPUMP CLUTCH
3. 2ピンコネクタオルタネータ
4. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスSPRAY PUMP COIL
5. 2ピンコネクタキットのワイヤハーネスPUMP CLUTCH

3. キットのワイヤハーネスのうち、PUMP CLUTCHというラベルのついた2ソケットコネクタを、オルタネータの2ピンコネクタに接続する 図 169。
4. ワイヤハーネスの枝線84cmを、エンジンと散布用ポンプに向けて配線する。オルタネータベルトから十分に離して配線すること 図 170。

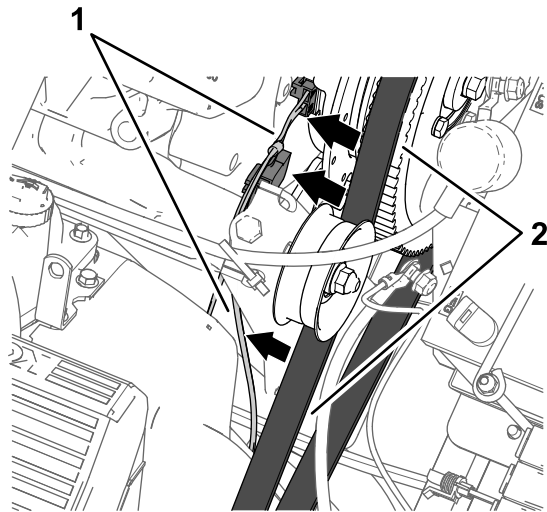


図 170

g198156

1. ワイヤハーネスの枝線84cm
2. オルタネータベルト

### この作業に必要なパーツ

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1 | バッテリー用ブラケット          |
| 1 | ボルト5/16 x 1¾"        |
| 1 | ワッシャ5/16"            |
| 1 | バッテリー (540A)         |
| 1 | バッテリーリテーナ            |
| 1 | フランジロックナット5/16"      |
| 1 | オルタネータ用ブラケット         |
| 1 | 駆動プーリ279mm           |
| 4 | ボルト¼ x 2¼"           |
| 4 | ロックワッシャ¼"            |
| 1 | オルタネータ60A            |
| 1 | フランジヘッドボルト 8 x 25 mm |
| 1 | フランジヘッドボルト (¾ x 1½") |
| 1 | V ベルト                |

## バッテリー300Aとバッテリーブラケットを取り外す

1. バッテリーを車体のバッテリーブラケットに固定しているJボルトから、フランジロックナットと押さえ棒を取り外す 図 171。

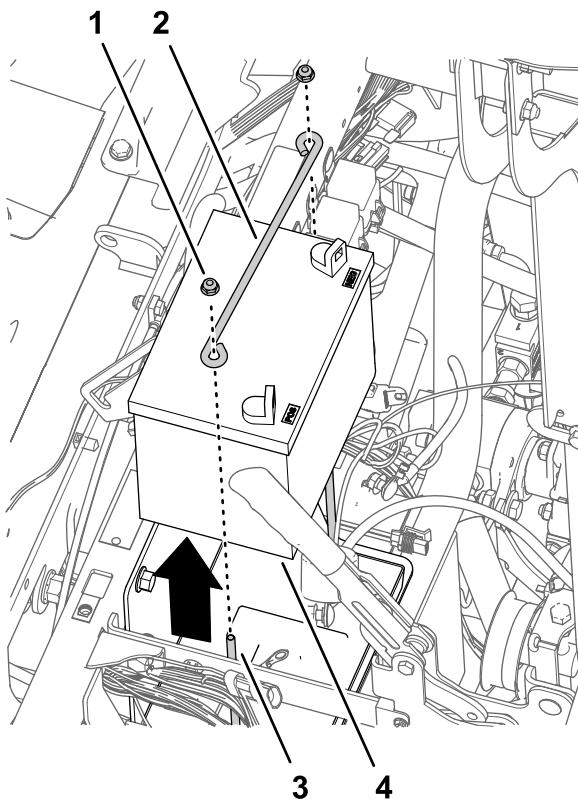


図 171

g201188

- |                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. フランジロックナット $\frac{1}{4}$ " | 3. Jボルト         |
| 2. 押さえ棒                       | 4. バッテリー (300A) |

2. 機体からバッテリーを外す 図 171。

**注** 外したフランジナット、押さえ棒、バッテリー300Aは廃棄して構いません。

3. ヒューズブロックをバッテリーブラケットに固定しているボルト10-24 x  $\frac{3}{4}$ "とナット 10-24を取り外す 図 172。

**注** 外したボルト10-24 x  $\frac{3}{4}$ "とナット 10-24は **バッテリーブラケットとバッテリー540A**を取り付ける (ページ 76)で使用します。

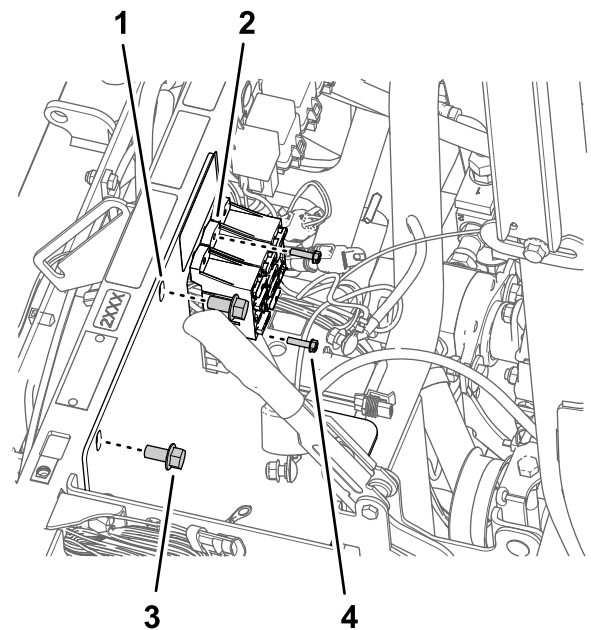


図 172

g201185

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 押さえ棒     | 3. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{3}{4}$ " |
| 2. ヒューズブロック | 4. ボルト10-24 x $\frac{3}{4}$ "                 |

4. バッテリーブラケットを車体のショックサポートチューブに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$  x  $\frac{3}{4}$ "2本を取り外す 図 172。

**注** フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$  x  $\frac{3}{4}$ "は **バッテリーブラケットとバッテリー540A**を取り付ける (ページ 76)で使用します。

5. バッテリーブラケットから、Jボルト2本とバッテリートレイを取り出す 図 173。

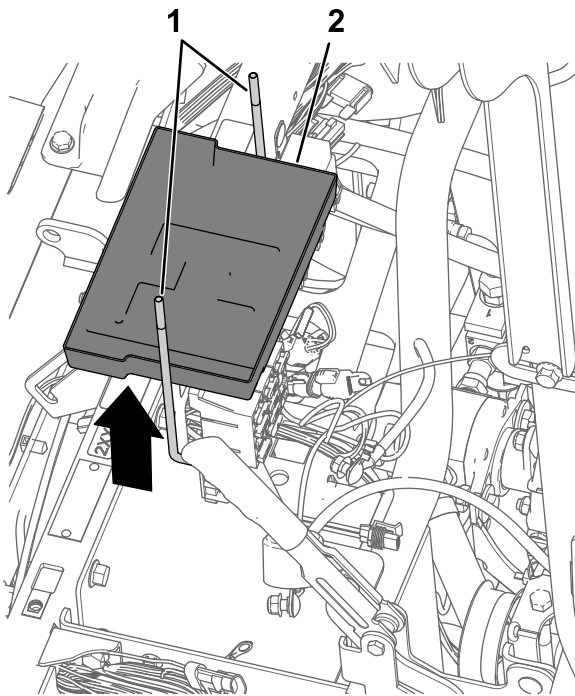


図 173

g201187

1. Jボルト                      2. バッテリートレイ

6. 車体からバッテリーブラケットを外す 図 174。

注 Jボルト、バッテリートレイ、バッテリーブラケットは廃棄して構いません。

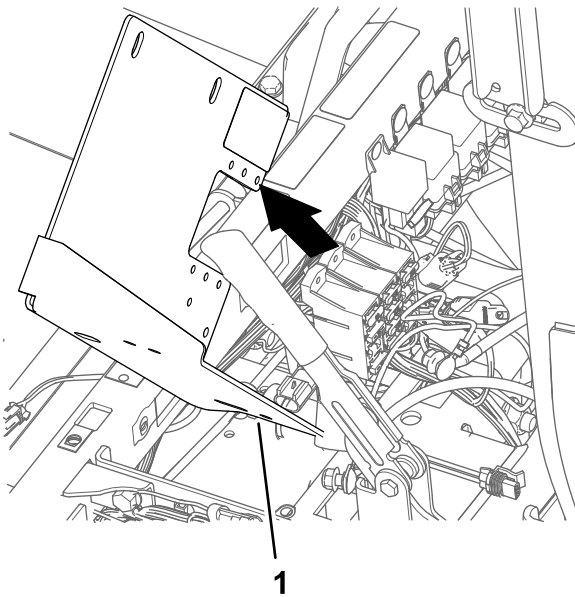


図 174

g201186

1. バッテリー用ブラケット

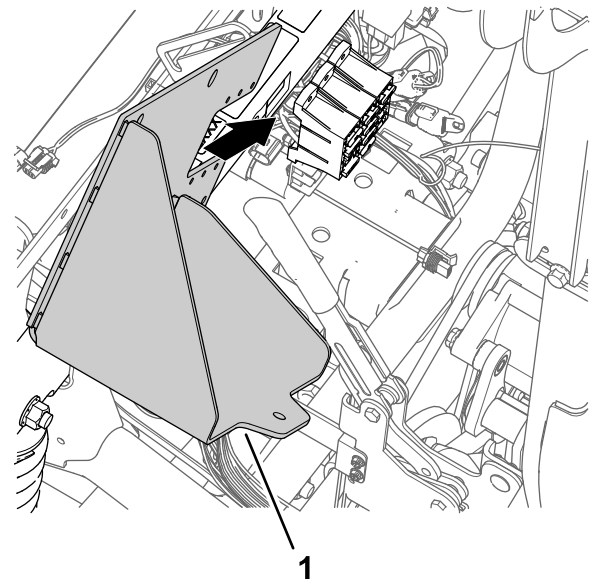


図 175

g201177

1. バッテリー用ブラケット

2. バッテリーブラケットをショックサポートチューブに組み付ける 図 176 ステップ 4 バッテリー300Aとバッテリーブラケットを取り外す (ページ 74)で外したフランジヘッドボルト  $\frac{3}{8}$  x  $\frac{3}{4}$ " 2本を使用する。

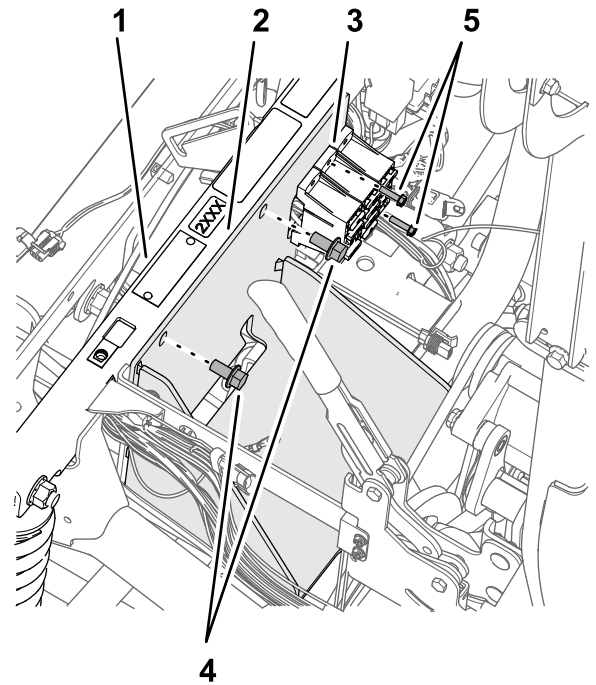


図 176

g201178

1. ショックサポートチューブ      4. ボルト 10-24 x  $\frac{3}{4}$ "  
 2. バッテリー用ブラケット      5. フランジヘッドボルト  $\frac{3}{8}$  x  $\frac{3}{4}$ "  
 3. ヒューズブロック

3. フランジヘッドボルトを 37-45 N·m (4.6-6.2 kg·m = 27-33 ft·lb) にトルク締める。

## バッテリーブラケットとバッテリー540Aを取り付ける

1. 新しいバッテリーブラケットを、車両のショックサポートチューブに合わせる 図 175。

4. ヒューズブロックをバッテリーブラケットに取り付ける  
 図 176 ステップ 3 バッテリー-300Aとバッテリー  
 ブラケットを取り外す (ページ 74) で取り外したボ  
 ルト10-24 x 3/4"とナット10-24を使用する。
5. バッテリーをバッテリーブラケットに固定するボ  
 ルト5/16 x 1 3/4"ワッシャ5/16"、バッテリーリテー  
 ナ、フランジロックナット5/16"を使用して 図 177  
 のように取り付ける。

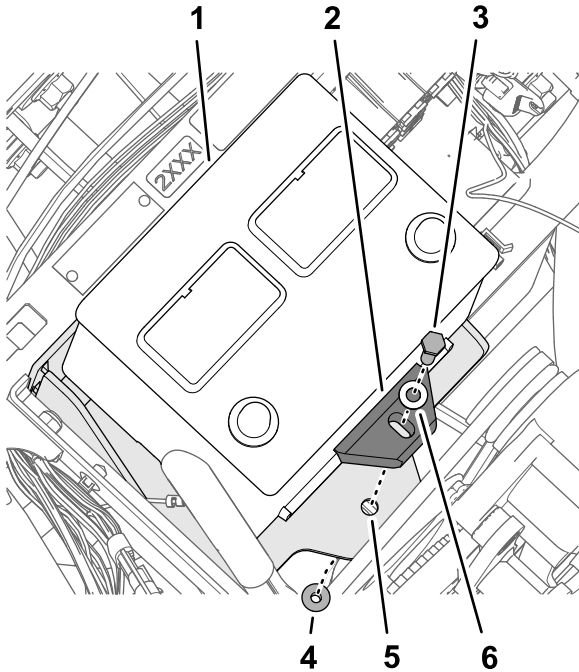


図 177

g201182

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. バッテリー (540A)     | 4. フランジロックナット5/16" |
| 2. バッテリーリテーナ        | 5. バッテリー用ブラケット     |
| 3. ボルト5/16 x 1 3/4" | 6. ワッシャ5/16"       |

6. ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m/2.0-2.6 kg·m =  
 175-225 in-lbにトルク締めする。

## オルタネータ用ブラケットを取り付ける

1. ポンプヘッドの 11 時の位置のところで、ボルト 2  
 本を図 178 のようにゆるめて、ボルトの頭とポン  
 プとの間に 7-10 mm の隙間を作る。

**注** ボルトをポンプから外す必要はありません。

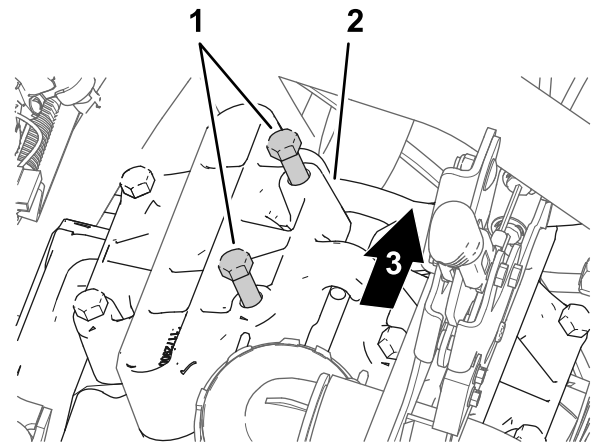


図 178

g201308

1. ボルトポンプヘッド
2. ポンプヘッド 11 時の位置
3. 機体後方

2. ステップ 1 でゆるめたボルトとポンプヘッドとの間  
 に、オルタネータブラケットを配置する 図 179。

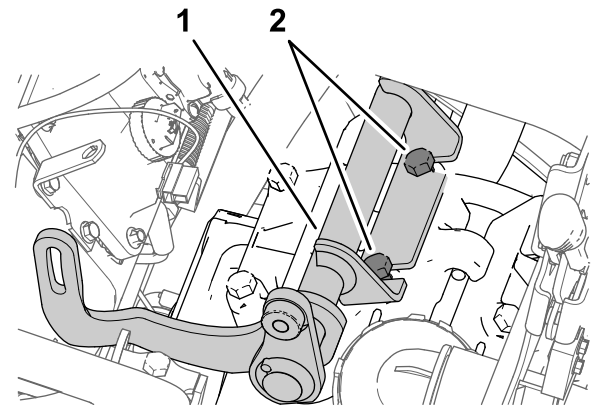


図 179

g201303

1. オルタネータ用ブラケット
2. ボルトポンプヘッド

3. ボルトを 61-75 N·m/6.2-7.6 kg·m = 45~55 ft-lbに  
 トルク締めする。

## 駆動プーリを取り付ける

1. アイドラプーリのシャフトのナットをゆるめる 図  
 180。

**注** ベルトに張力がかかっていないことを確認して  
 ください。

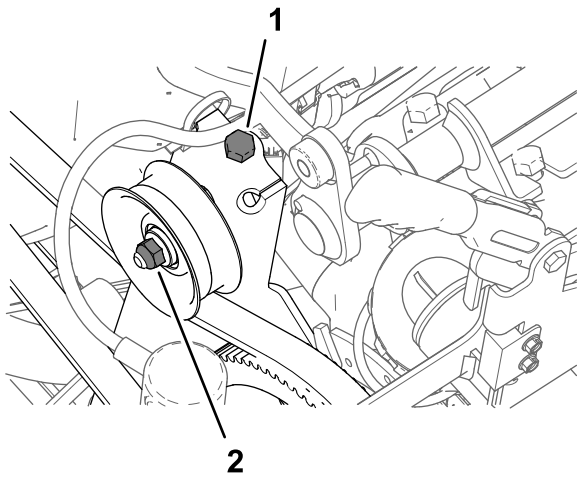


図 180

g201304

1. ベルトテンションボルト車両
2. ナットアイドルプーリのシャフト

2. ベルトテンションボルトをゆるめてポンプベルトの張りを完全になくす 図 180。
3. プーリを散布用ポンプに固定しているボルト  $\frac{1}{4}$  x 1" 4本とロックワッシャ  $\frac{1}{4}$ " 4枚を取り外す 図 181。

**重要** プーリは外さないでください。

**注** 外したボルトとロックワッシャは廃棄して構いません。

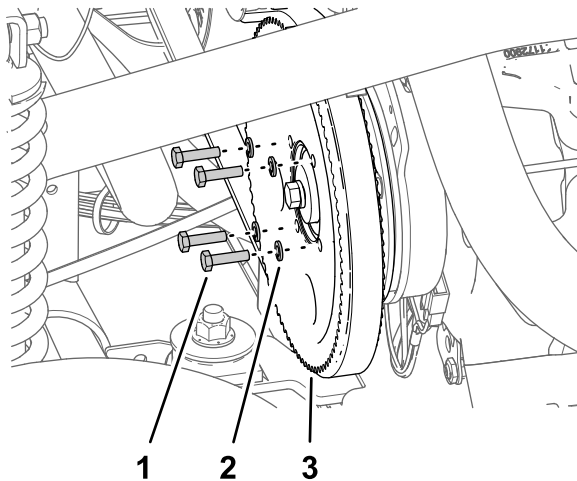


図 181

g201306

1. ボルト  $\frac{1}{4}$  x 1"
2. ロックワッシャ  $\frac{1}{4}$ "
3. プーリ液剤ポンプ

4. オルタネータブラケットを用プーリキットの穴を、ポンプ用プーリの穴に合わせる 図 182。

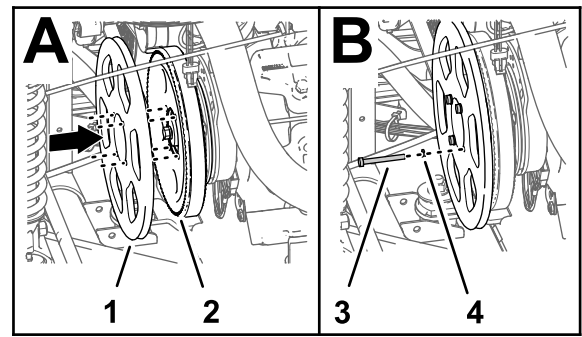


図 182

g201305

1. 駆動プーリ279mm
2. プーリ液剤ポンプ
3. ボルト  $\frac{1}{4}$  x 2 $\frac{1}{4}$ "
4. ロックワッシャ  $\frac{1}{4}$ "

5. オルタネータブラケットを用プーリをポンプ用プーリに組み付けるボルト  $\frac{1}{4}$  x 2 $\frac{1}{4}$ " 4本とロックワッシャ  $\frac{1}{4}$ " 4個を使用する。
6. ボルトを 1017-1243 N·m/1.0-1.4 kg·m = 90-110 in·lb にトルク締めする。
7. ベルトテンションボルトを回してベルトに張りを出すエンジンスプロケットとポンプスプロケットとの間を 4.5kg の力で押したときに 9.5mm のたわみが出るように調整する。

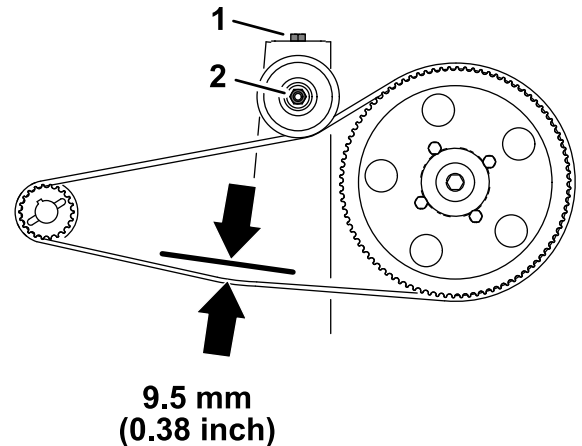


図 183

g201360

1. ベルトテンションボルト車両
2. ナットアイドルプーリのシャフト

8. アイドルプーリのシャフトのナットを 37-44 N·m/5.3-6.6 kg·m=27-33 ft·lb にトルク締めする。

## オルタネータを取り付ける

1. オルタネータ60Aを、オルタネータブラケットのねじ山付きボスに取り付ける 図 184 フランジヘッドボルト  $\frac{3}{8}$  x 1 $\frac{1}{2}$ " を使用する。

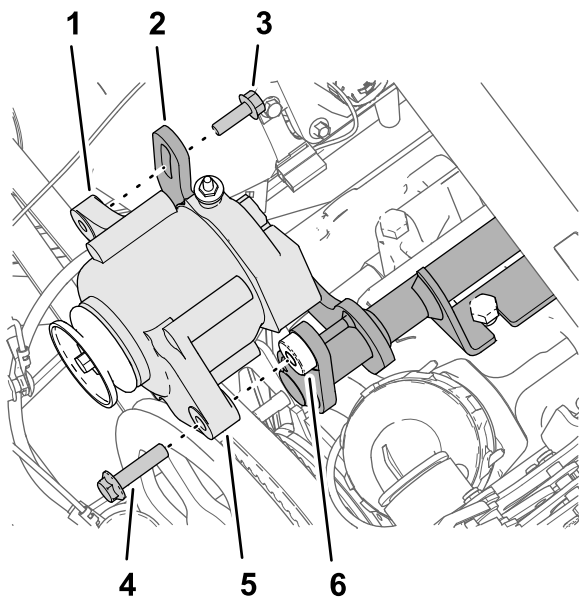


図 184

g201413

1. ねじ山付きフランジ8mm60A オルタネータ
2. スロット付きフランジオルタネータ用ブラケット
3. フランジヘッドボルト 8 x 25 mm
4. フランジヘッドボルト ( $\frac{3}{8}$  x 1 $\frac{1}{2}$ " )
5. フランジ直径10mm の穴60A オルタネータ
6. ねじ山付きボス $\frac{3}{8}$ -16オルタネータ用ブラケット

2. オルタネータのねじ山付きフランジを、オルタネータブラケットスロット付きフランジに取り付ける 図 184 フランジヘッドボルト 8 x 25mm を使用する。
3. 駆動プーリとオルタネータのプーリにベルトを掛ける 図 185。

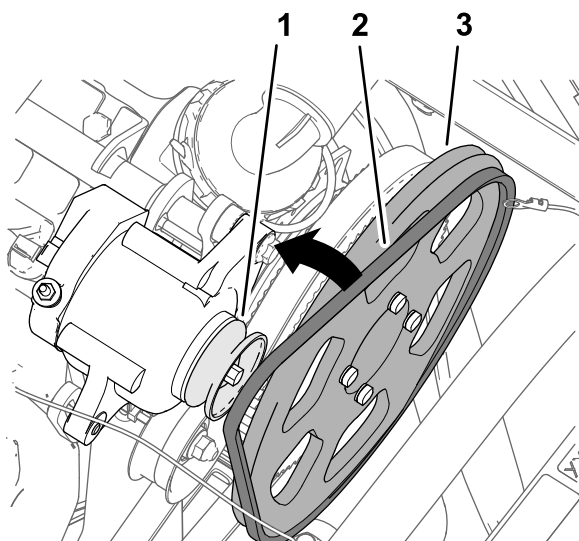


図 185

g201412

1. プーリ60A オルタネータ
2. V ベルト
3. 駆動プーリ279mm

4. オルタネータ 図 186 をずらしてベルトに張りを出す オルタネータのプーリと駆動プーリ279mm との

間を 4.5kg の力で押したときに 9.5mm のたわみが出るように調整する。

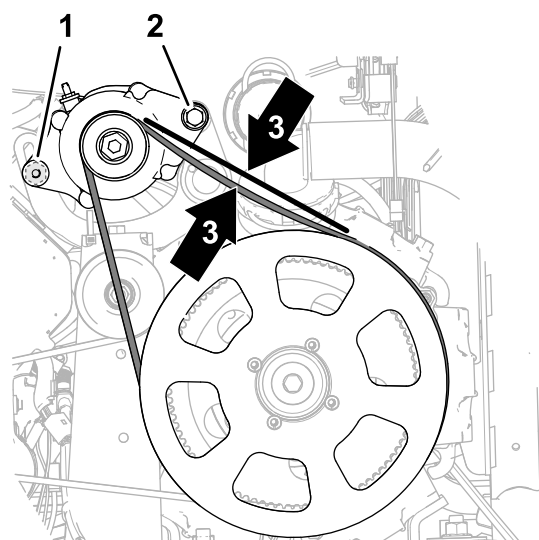


図 186

g201701

1. フランジヘッドボルト 8 x 25 mm
2. フランジヘッドボルト ( $\frac{3}{8}$  x 1 $\frac{1}{2}$ " )
3. ベルトのたわみ 9.5mm

5. フランジヘッドボルト 8 x 25 mm を 23-29 N·m 2.4-2.9 kg·m = 17-21 ft·lb にトルク締めする。
6. フランジヘッドボルト  $\frac{3}{8}$  x 1 $\frac{1}{2}$ " を 37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft·lb にトルク締めする。

## 33

### キットのワイヤハーネスをシートベースに接続する

#### この作業に必要なパーツ

|   |             |
|---|-------------|
| 1 | リレー         |
| 1 | プッシュインファスナー |
| 1 | ヒューズ (15 A) |
| 1 | ヒューズ (50 A) |

#### オルタネータ50Aを接続する

1. キットのワイヤハーネスのうち、57cm のピンク線の端についている 2 ソケットコネクタ 図 187 を、オルタネータ50A の 2 ピンコネクタに接続する。

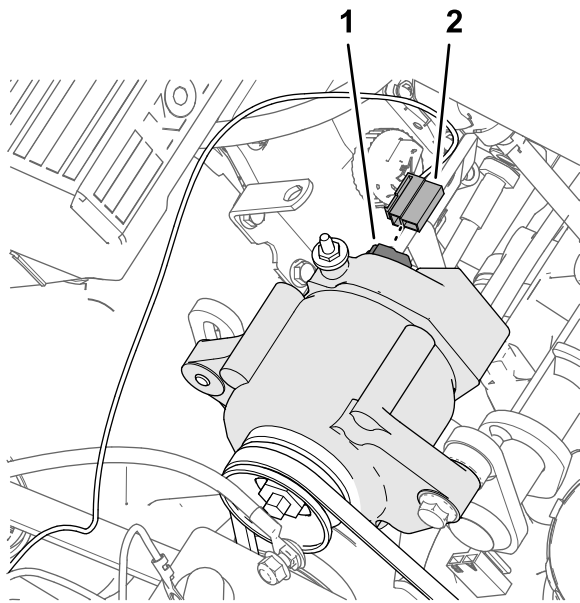


図 187

g202176

1. 2ピンコネクタ50A オルタネータ
2. 2ソケットコネクタ検知ワイヤ、57cm

2. ピンクの検知線を、オルタネータベルトから十分に離して、ケーブルタイで固定する。
3. オルタネータの端子 図 188 からナットを外す。

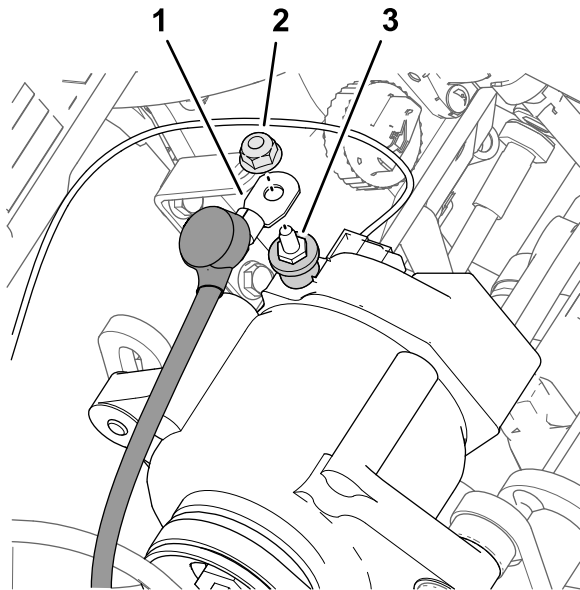


図 188

g202181

1. オルタネータのワイヤ赤、6ゲージ
2. ナット
3. ターミナル50A オルタネータ

4. オルタネータのワイヤ赤、6ゲージを、オルタネータ50 Aの端子に、ナットで接続する 図 188。
5. オルタネータの赤線を、バッテリー端子に導くプーリーやオルタネータから十分に離して配設すること。
6. ナットを 47-57 N·m 9.3-11.5 kg·m = 34-42 ft·lb にトルク締めする。

7. オルタネータの端子 図 188 に絶縁カバーを取り付ける。

## ASC 10 動作リレーを接続する

1. リレーの5ピンコネクタを、5ソケットコネクタ 図 189 キットのワイヤハーネスのうちASC 10 ENABLE RELAYというラベルのついているものに接続する。

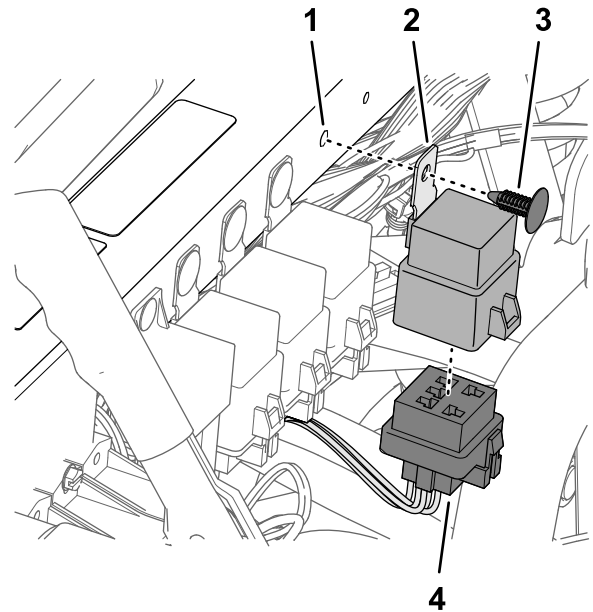


図 189

g202182

1. 穴ショックサポートチューブ
2. リレー
3. プッシュインファスナー
4. 5ソケットコネクタASC 10 ENABLE RELAY

2. リレーの取り付けタブについている穴を、ショックサポートチューブの穴に合わせ、押し込みファスナーを使ってリレーをチューブに固定する 図 189。

## ヒューズブロックを接続する

1. マルチメータを、導通試験用にセットする。
2. 車両のヒューズブロック3で、ヒューズソケット2のコンタクト4 右列に 図 190 のようにマルチメータの検針を差し込む。

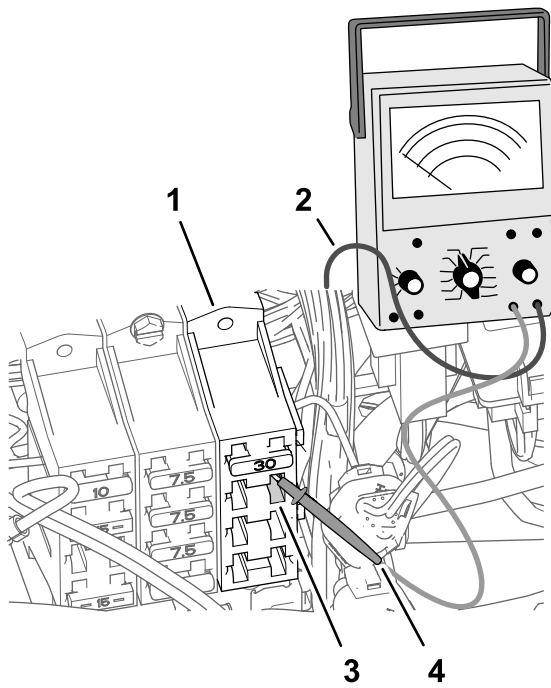


図 190

g202178

- |                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| 1. ヒューズブロック 3車両 | 3. ヒューズソケット 2 のコンタクト 4 右列 |
| 2. マルチメータのリード線  | 4. マルチメータの検針              |

3. ヒューズブロックの表側で、マルチメータのもう一本の検針を使って、ヒューズソケット 2 のコンタクト 4 に導通している赤い 10 ゲージワイヤのブレードコネクタを探し出す。

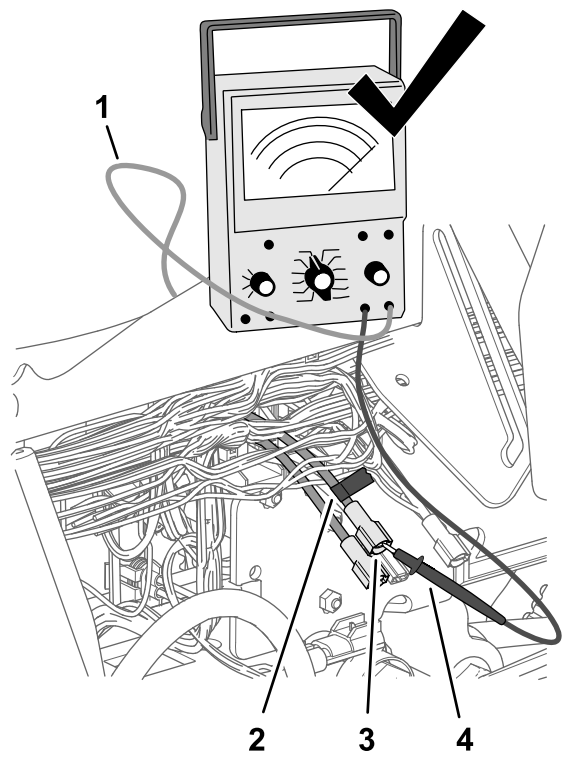


図 191

g202179

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. マルチメータのリード線 | 3. ブレードコネクタ赤い 10 ゲージワイヤ |
| 2. テープ         | 4. マルチメータの検針            |

4. ステップ 3 図 191 で探し出したコネクタとその導線に、テープでマーキングする。
5. ステップ 4 でマーキングしたブレードコネクタを、キットのワイヤハーネスの 51mm ピンク線のソケットコネクタに接続する 図 192。

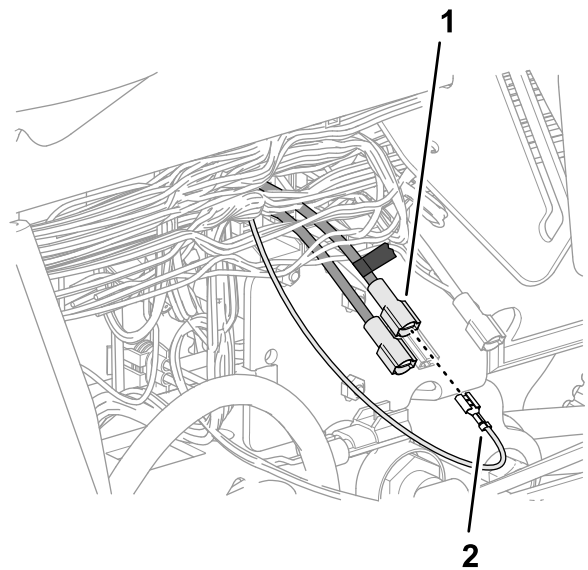

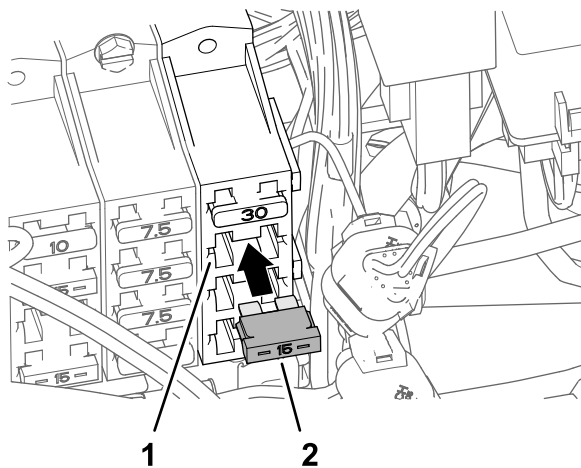


図 192

g202177

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. マーキングしたブレードコネクタ赤い 10 ゲージワイヤ | 2. ソケットコネクタピンクのワイヤ、51mm |
|--------------------------------|-------------------------|


6. ヒューズブロック 3 で、ヒューズソケット 2 に、ヒューズ 15A を挿入して一番奥まで押し込む  193。

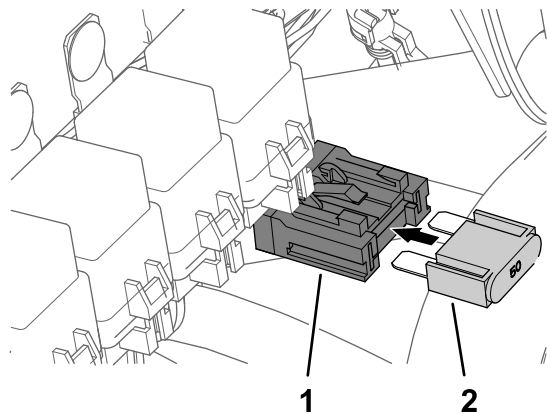


g202180

 193

1. ヒューズソケット 2 ヒューズ  
ブロック 3      2. ヒューズ (15 A)

7. インラインヒューズブロックに、ヒューズ 50A を挿入して一番奥まで押し込む  194。



g202183

 194

1. インラインヒューズブロック      2. ヒューズ (50 A)

# 34

## ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |   |
|---|---|
| 1 | データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630   |
| 1 | バッテリー用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630 |
| 8 | ケーブルタイ  |
| 1 | クイックコネクタクランプ赤いハンドル                              |
| 1 | クイックコネクタクランプ黒いハンドル                              |

### ナビデータ用ハーネスと電装用ハーネスを相互に接続する

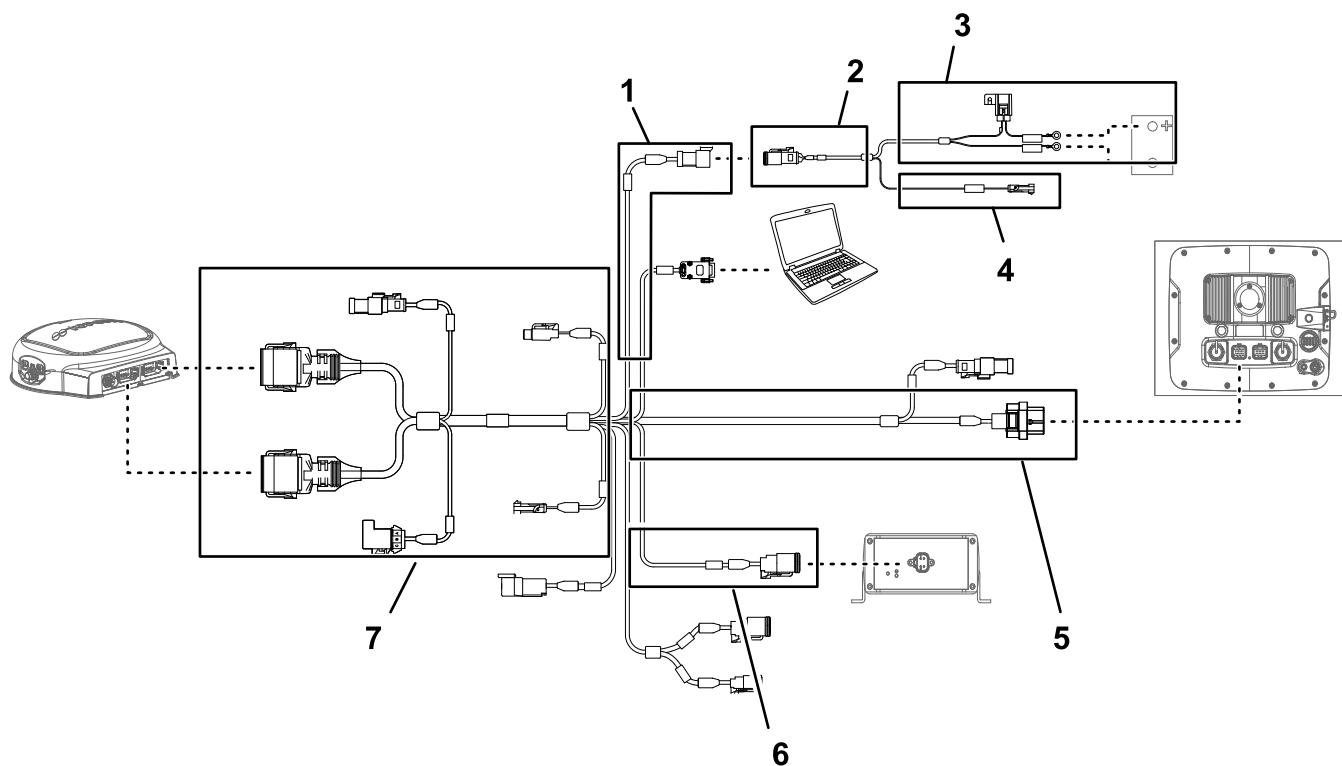


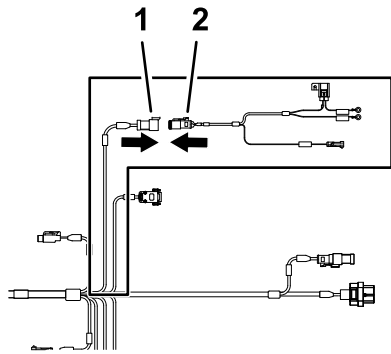
図 195

g203663

1. データ用ハーネスの 100cm の枝線電源
2. 100cm のバッテリーハーネス枝線
3. 220cm のバッテリーハーネス枝線
4. 100cm のバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源
5. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機
6. データ用ハーネスの 13cm の枝線キットのハーネスのインターフェース用
7. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーモニター

**重要** データ用ハーネスには使用しないコネクタも含まれています。使用しないコネクタにはキャップやプラグを確実に嵌めておいてください。

ナビ用電装ハーネスの3ソケットコネクタ電源インタフェースを、データ用ハーネスの3ピンコネクタ電源インタフェースに接続する [図 195](#)。

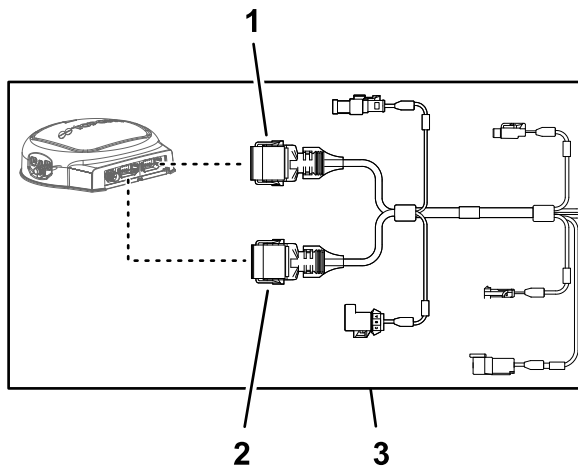


**図 196**

g202247

1. 3ピンコネクタデータ用ハーネス SYSTEM POWER SEPARATION
2. 3ソケットコネクタバッテリー用ハーネス電源インタフェース

## データ用ケーブルをナビゲーション受信機に接続する

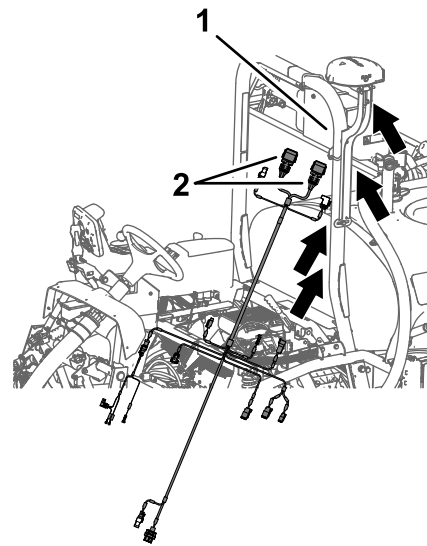


**図 197**

g203668

1. 12ソケットコネクタ 灰色 データ用ハーネス ナビゲーション受信機
2. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネスナビゲーション受信機
3. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

1. データハーネスの 390cm の枝線を、ROPS の左側の縦柱の裏側に沿って配設する。

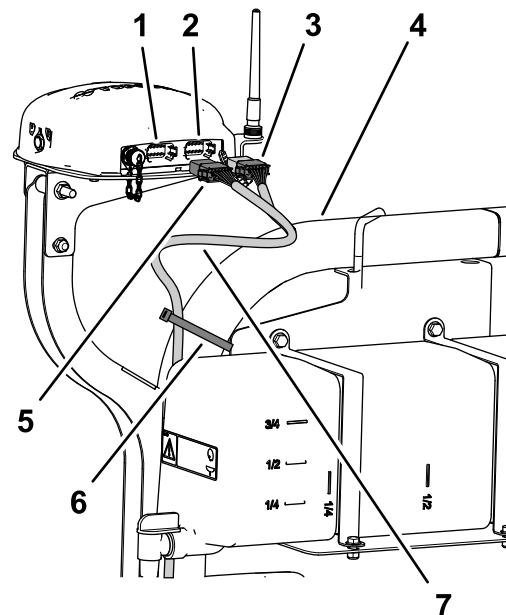


**図 198**

g202268

1. ROPS の左側の縦柱
2. 12ソケットコネクタデータ用ハーネスの 390cm 枝線

2. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、ROPS 右側に沿って配設し、12ソケットコネクタ 灰色 と 12ソケットコネクタ 黒色 をナビゲーション受信機まで導く [図 199](#)。



**図 199**

g202280

1. 12ピンコネクタ 左側灰色ナビゲーション受信機
2. 12ピンコネクタ 右側黒色ナビゲーション受信機
3. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネス
4. ROPS バー
5. 12ソケットコネクタ 灰/黒 データ用ハーネス
6. ケーブルタイ
7. 390cm の枝線データ用ハーネス

3. 灰色と黒色の 12ソケットコネクタの長い方の側にある2本のキーを、ナビゲーション受信機の左側

灰色 12ピンコネクタの底部の水平面にある2本のスロットに合わせて接続する図 200。

**注** ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

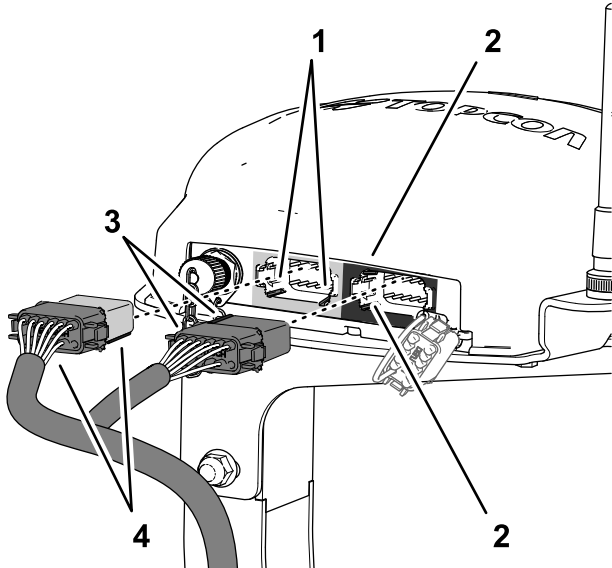


図 200

g202413

- |   |  |
|---|--|
| 1. キースロット底部水平壁左<br>灰色 12ピンコネクターナ<br>ビゲーション受信機 | 3. 整列キー短い黒色 12ソ<br>ケットコネクタ、データ用<br>ハーネス  |
| 2. キースロット左側垂直壁右<br>黒色 12ピンコネクターナ<br>ビゲーション受信機 | 4. 整列キー長い灰/黒 12ソ<br>ケットコネクタ、データ用<br>ハーネス |

- データ用ハーネスの灰色と黒色の12ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで押し込むこと図 200。
- データ用ハーネスの黒色の12ソケットコネクタの短い方にある2本の整列キーを、ナビゲーション受信機の右側黒色12ピンコネクタにある2本のスロットに合わせて接続する図 200。

**注** ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

- データ用ハーネスの灰色と黒色の12ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで確実に押し込むこと図 200。
- 図 199 のように、ケーブルタイ2本を使って、データ用ハーネスの390cm 枝線を右側 ROPS チューブに固定する。

**注** 12ソケットとケーブルタイとの間のケーブルに少したるみを持たせてください。

## 車体の右側にナビゲーション用ハーネスを配設ける

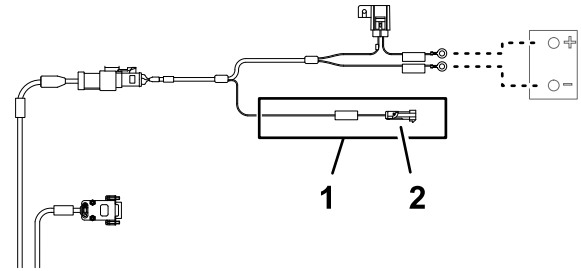


図 201

g203670

- 1ピンコネクタ相互接続枝
  - 100cm のバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源
- \*\*\*重要\*\*\* この線は、スイッチ付き 12V 電源にのみ接続する

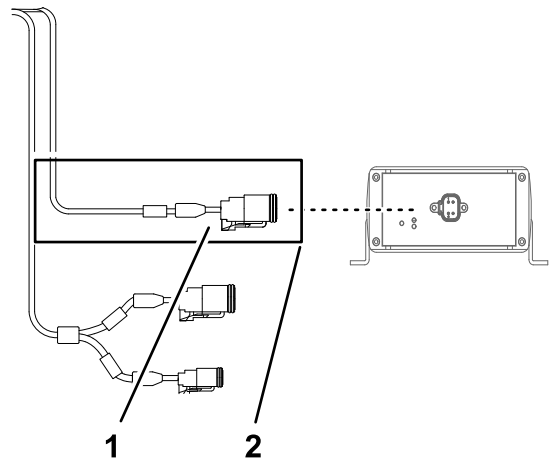


図 202

g203666

- 4ピンコネクタCAN 2/ASC
- データ用ハーネスの13cmの枝線キットのハーネスのインタフェース用

- このデータハーネスとバッテリーハーネスを、ROPSの左側の柱に沿っておろし、座席サポートのクロス部材へ配設する図 203。

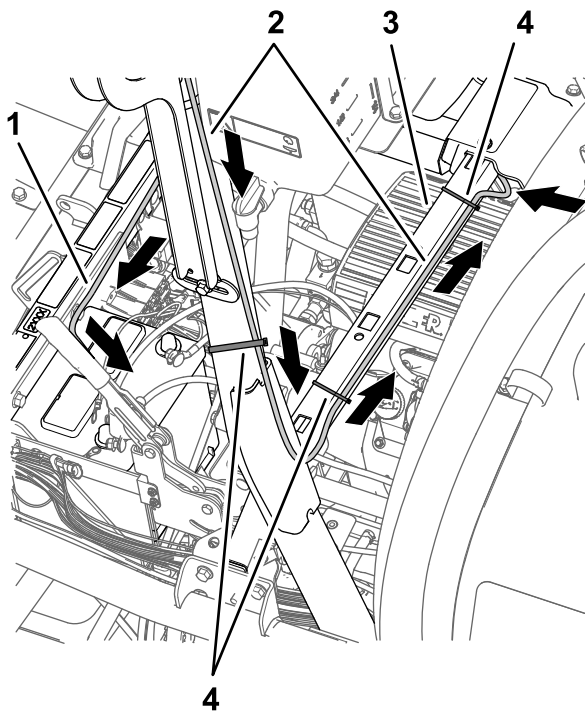
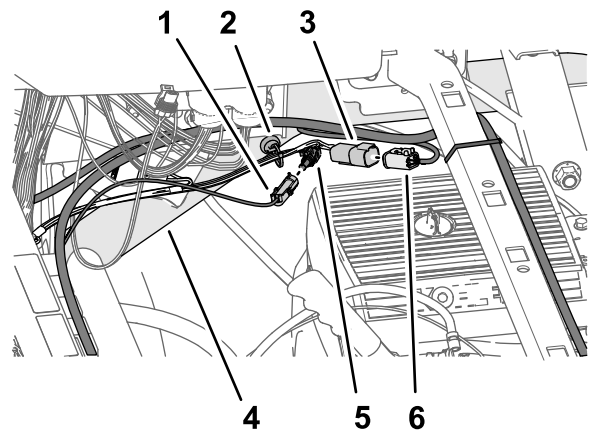


図 203

g202521

1. バッテリーハーネスの 220cm の枝線 100cm の相互接続枝線スイッチ付き電線と一緒に配設しないこと
2. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機
3. クロス部材座席サポート
4. ケーブルタイ

2. 図 203 に示すように、ナビゲーション受信機用の 390 cm のデータハーネスを、ROPS に固定する。
3. バッテリーハーネスのうち、\*\*\*IMPORTANT\*\*\* ONLY CONNECT THIS WIRE TO SWITCHED 12V POWER SOURCE というラベルの付いた 1 ソケットコネクタを、キットのワイヤハーネスの 66cm 枝線 図 204 SW'D PWR FOR GEN 2 TOPCON というラベルの 1 ソケットコネクタに接続する。



g202588

図 204

1. 1 ピンコネクタバッテリーハーネスの枝線  
\*\*\*IMPORTANT\*\*\* ONLY CONNECT THIS WIRE TO SWITCHED 12V POWER SOURCE
2. 磁石式のハーネスアンカー
3. 4 ピンコネクタキットのハーネスの 61cm 枝線 ASC 10 PWR & CAN FROM X30
4. 右上フレームチューブ
5. 1 ソケットコネクタハーネスの 66cm 枝線 SW'D PWR FOR GEN 2 TOPCON
6. 4 ソケットコネクタデータハーネスの枝線 CAN 2/ASC 10 BUS

4. キットのワイヤハーネスの 66cm の枝線についている 4 ピンコネクタ ASC 10 PWR & CAN FROM X30 というラベルがついているものを、データハーネスの、CAN 2/ASC 10 BUS というラベルがついている 4 ソケットコネクタに接続する 図 204。
5. データハーネスとバッテリーハーネスを、座席サポートのクロス部材を横切って配線し、データハーネスの 390cm の枝線をクロス部材にケーブルタイ 2 本で固定する 図 203 と 図 205。

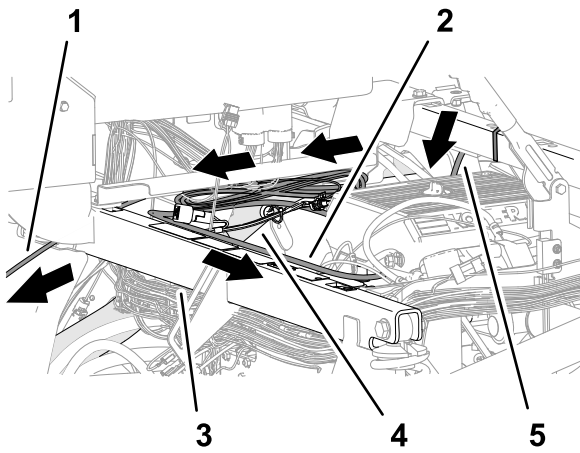


図 205

g202520

1. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ
2. 220cm のバッテリーハーネス枝線
3. ショックサポートチューブ
4. 右上フレームチューブ
5. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

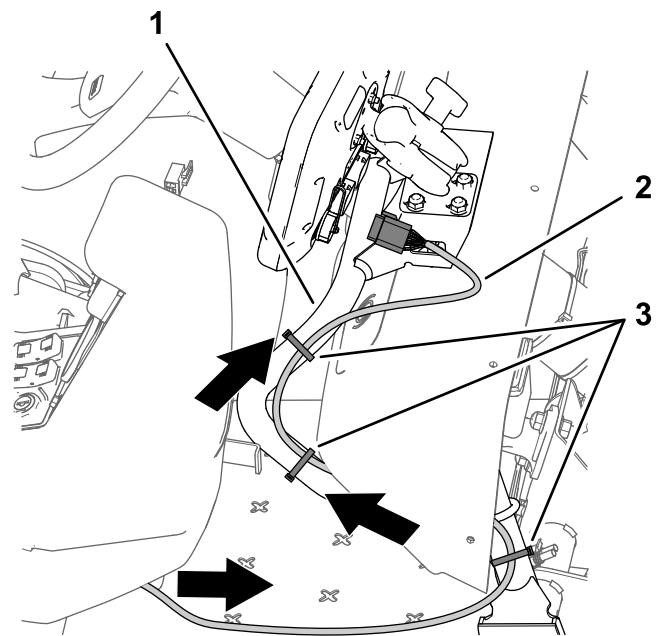


図 207

g202451

1. サポートチューブモニタ
2. 220cm の枝線データ用ハーネス
3. ケーブルタイ

6. バッテリーハーネスの 220cm の枝線を、右上フレームチューブに沿って配設する [図 205](#)。

7. バッテリーハーネスの 220cm の枝線を、ソケットサポートチューブを横切ってバッテリーに向けて配設する [図 205](#)。

**注** 相互接続用の 100cm の枝線スイッチ付き電源は、そのままの位置において置いてください。

8. データ用ハーネスの 220cm の枝線 26ソケットのついている枝線を、コントローラコンソールの下を通して配設し、ダッシュパネルに向かって前方へ導く [図 205](#)。

## データ用ケーブルをスプレーヤのモニタに接続する

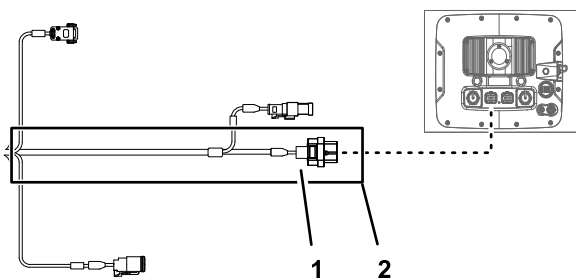


図 206

g203669

1. 26ソケットコネクタデータ用
2. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ

1. データ用ハーネスの 220 cm の枝線 26ソケットのついている枝線を、ダッシュパネルに導く [図 207](#)。

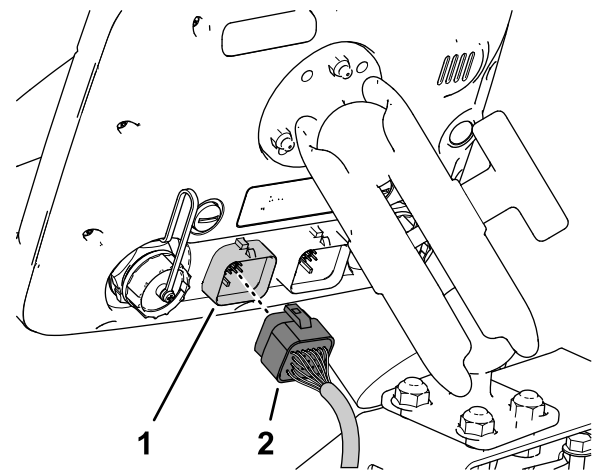


図 208

g202452

1. 26ピンコネクタ散布モニタ
2. 26ソケットコネクタデータ用ハーネススプレーヤモニタ

4. データ用ハーネスの 220cm の枝線に十分なるみがあること、モニタの位置調整ができるだけの余裕があることを確認し、[図 207](#)のようにハーネスをサポートチューブにケーブルタイで固定する。

## クイックディスコネクタクランプをバッテリーに取り付ける

1. 赤色と黒色のハンドル式クイックコネクタクランプから、六角ナットとワッシャを外す [図 209](#)。

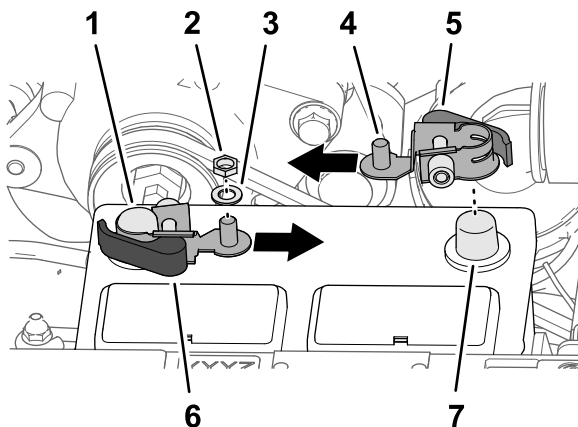


図 209

g202692

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. マイナス端子                | 5. 赤色ラッチハンドルクイックコネクタクランプ |
| 2. 六角ナット1/4"クイックコネクタクランプ | 6. 黒色ラッチハンドルクイックコネクタクランプ |
| 3. ワッシャ1/4"クイックコネクタクランプ  | 7. プラス端子                 |
| 4. ねじ山付きのポスト             |                          |

2. 黒色ハンドル付きクイックコネクタクランプのラッチハンドルを開ける [図 210](#)。

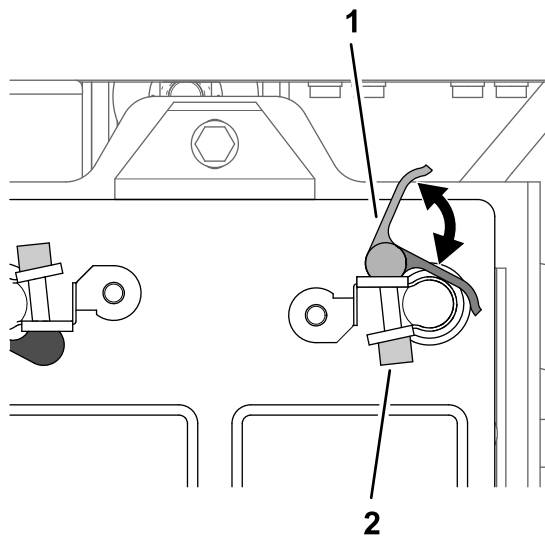


図 210

g202703

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1. ハンドルクイックコネクタクランプ | 2. 網模様付きナット |
|---------------------|-------------|

3. クイックコネクタクランプを、バッテリーのマイナス端子に接続する [図 209](#) のように、クランプのねじ山付きポストをバッテリーの内側に向ける
4. クイックコネクタクランプのラッチハンドルを閉じる [図 210](#)。

注 クイックコネクタクランプの強さを調整する必要がある場合には、ハンドルを開き、網目模様付きナットを回して締め付け力を増減してください。

5. 赤色ハンドル付きクイックコネクタクランプにも、ステップ [2-4](#) の作業を行う。

## バッテリーを接続する

### ⚠ 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの接続ルートが不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属部を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子と金属を接触させない。
- バッテリー押さえは必ず取り付ける。

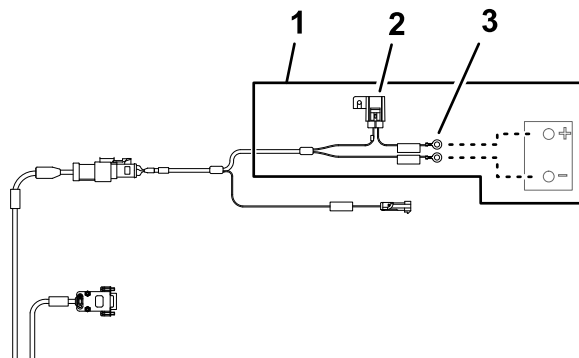


図 211

g203667

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1. 220cm のバッテリーハーネ | 3. リング端子バッテリー |
| 2. 10A ヒューズバッテリー   |               |

1. バッテリーのプラスケーブルに、[図 212](#) のように絶縁カバーを取り付ける。

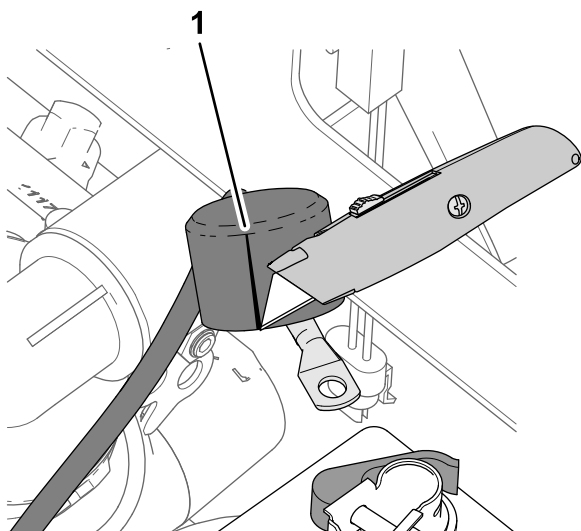


図 212

g202746

1. スリット絶縁カバーバッテリーからスタータへ向かうケーブル

2. 以下のワイヤおよびケーブル端子を、バッテリーのプラス端子のねじ山付きポストに、以下の順序で取り付ける図 213

**注** エンジンスタータに向かうバッテリーケーブルの端子プラスがねじ山付きポストの一番上の端子になるようにしてください。

- A. リング端子車両用ワイヤハーネスのうち BATTERY (+) というラベルの付いた 22 cm の枝線
- B. リング端子バッテリー用ハーネスの 220cm の枝線 **\*\*\*IMPORTANT\*\*\* CONNECT THIS WIRE TO POSITIVE ON BATTERY** というラベル
- C. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 TO BATTERY POSITIVE というラベル
- D. バッテリーケーブルの端子プラスオルタネータ50Aへ
- E. バッテリーケーブルの端子プラスエンジンスタータへ

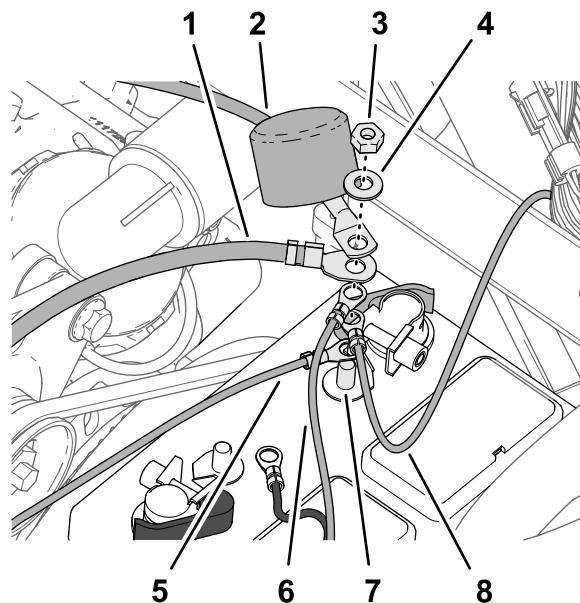


図 213

g202767

1. バッテリーケーブルの端子プラスオルタネータ50Aへ
2. バッテリーケーブルの端子プラスエンジンスタータへ
3. 六角ナット1/4"クイックコネクトクランプ
4. ワッシャ1/4"クイックコネクトクランプ
5. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 TO BATTERY POSITIVE
6. リング端子バッテリー用ハーネスの 220cm の枝線 **\*\*\*IMPORTANT\*\*\* CONNECT THIS WIRE TO POSITIVE ON BATTERY**
7. ねじ山付きポストバッテリーのプラス端子
8. リング端子車両用ワイヤハーネスの 22cm の枝線 BATTERY (+)

3. ねじ山付きポストにワッシャ1/4"と六角ナット1/4"を組み付け、ナットを、10.17-12.34 N·m 1.0-1.3 kg·m = 90-110 in·lb にトルク締めする。
4. バッテリーのスタータ向けプラスケーブルの絶縁カバーをねじ山付きポストに取り付ける図 213。
5. 以下のワイヤおよびケーブル端子を、バッテリーのマイナス端子のねじ山付きポストに、以下の順序で取り付ける図 214

**注** エンジンとシャーシのアースに向かうバッテリーケーブルの端子マイナスがねじ山付きポストの一番上の端子になるようにしてください。

- A. リング端子バッテリー用ハーネスの 220 cm の枝線 **\*\*\*IMPORTANT\*\*\* CONNECT THIS WIRE TO - VE TERMINAL OF BATTERY WHICH IS CONNECTED TO TRACTOR FRAME** というラベル
- B. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 マイナス線
- C. バッテリーケーブルの端子マイナスエンジンとシャーシのアースへ

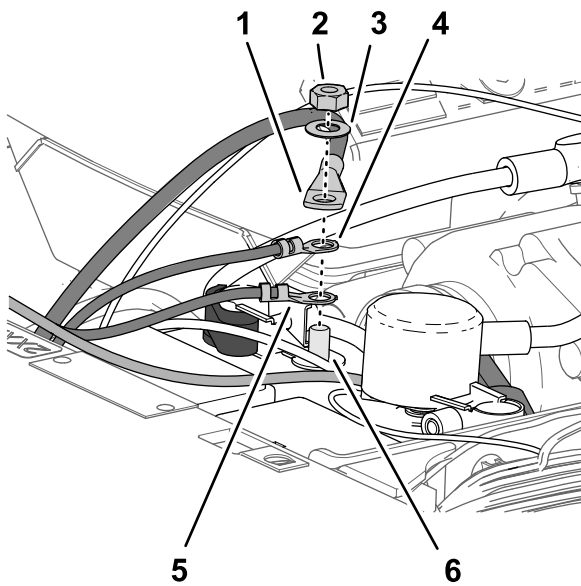


図 214

g202745

1. バッテリーケーブルの端子  
マイナスエンジンとシャー  
シのアースへ
2. 六角ナット¼"クイックコネク  
トクランプ
3. ワッシャ¼"クイックコネク  
トクランプ
4. リング端子キットのワイヤ  
ハーネスの 60cm の枝線  
マイナス線
5. リング端子バッテリー  
用ハーネスの 220cm  
の枝線 \*\*\*IMPORTANT\*\*\*  
CONNECT THIS WIRE TO -  
VE TERMINAL OF BATTERY  
WHICH IS CONNECTED TO  
TRACTOR FRAME
6. ねじ山付きポストバッテリー  
のマイナス端子

## ハーネスを固定する

1. データ用ハーネスの余っている部分を、右上フ  
レームチューブの上に集める 図 215。

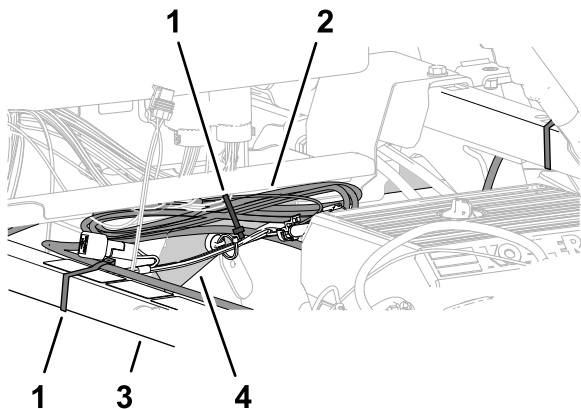


図 215

g202768

1. ケーブルタイ
  2. データ用ハーネスの束
  3. ショックサポートチューブ
  4. 右上フレームチューブ
2. データハーネスとショックサポートチューブをそろえて、ケーブルタイでチューブに固定する 図 215。

3. データハーネスの束を右上フレームチューブにそ  
ろえて、ケーブルタイでフレームチューブに固定  
する 図 215。
4. データハーネス、バッテリーハーネス、キットのワ  
イヤハーネス、バッテリーケーブルが、プーリや  
ベルトに近すぎないように十分配慮してください。  
ワイヤハーネスをケーブルタイで固定する。ハー  
ネスがベルトやプーリなどの近くを通らないよ  
うにする。

# 35

## フードと左右の前フェンダを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|    |             |
|----|-------------|
| 13 | プッシュインファスナー |
|----|-------------|

### フードを取り付ける

1. フードの穴を、機体のダッシュパネルの穴および  
フレームについての穴に合わせる 図 216。

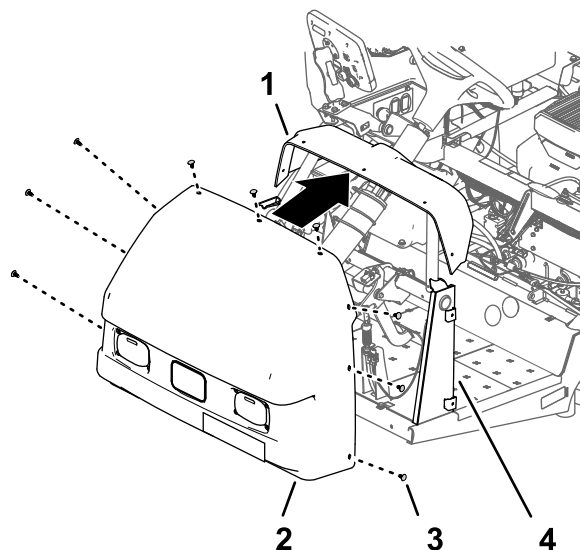


図 216

g202004

1. ダッシュパネル
2. フード
3. 押し込みファスナー
4. ダッシュサポート

2. 押し込みファスナー9個を使って、フードをダッ  
シュパネルとフレームに固定する 図 216。
3. 車両用ワイヤハーネスの 2 個のコンネクタ2 ソケッ  
トコネクタを、左右のヘッドライトの 2 ピンコネク  
タに接続する 図 217。

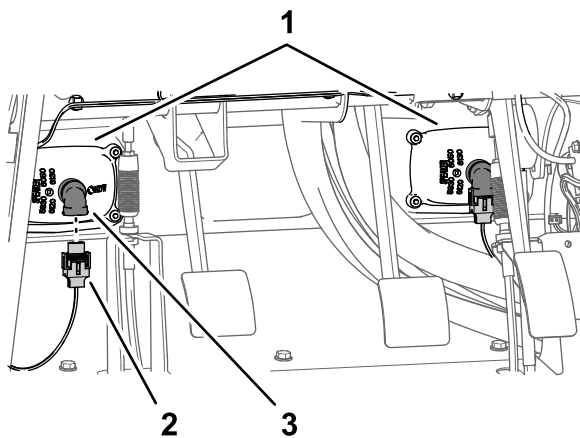


図 217

g197153

1. ヘッドライト
2. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
3. 2ピンコネクタヘッドライト

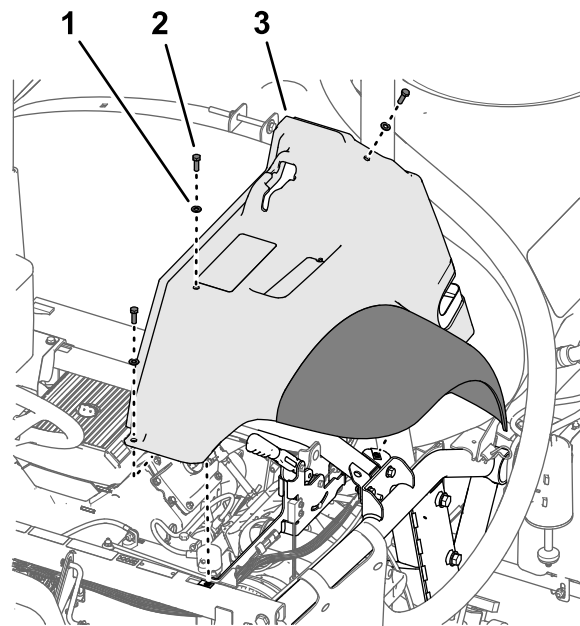


図 219

g197152

1. ワッシャ5/16"
2. ボルト5/16 x 1"
3. 左前フェンダ

## 左右の前フェンダを取り付ける

1. 内側フェンダシュラウドを、左上および左下のフレームチューブに合わせる [図 217](#)。

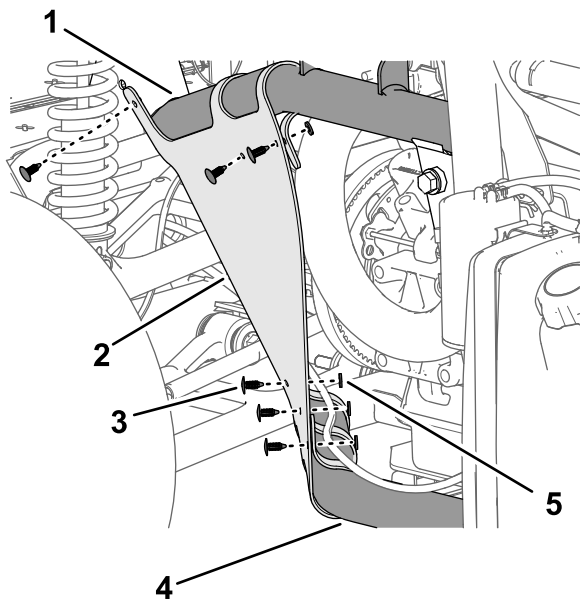


図 218

g202023

1. 左上フレームチューブ
2. 内側フェンダ用シュラウド
3. 押し込みファスナー
4. 左下フレームチューブ
5. ワッシャ9/16 x 1/2"

2. 押し込みファスナー6個を使って、内側フェンダ用シュラウドをフレームチューブに固定する [図 218](#)。
3. [図 218](#)に示すように、フェンダの穴を、車体フレームの穴に合わせる。

4. フェンダをフレームに仮止めする [図 219](#)ステップ 2 左右の前フェンダを取り外す (ページ 11) で取り外したボルト5/16 x 1"3本とワッシャ5/16"3枚を使用する。
5. 押し込みファスナー2個を使って、フェンダをフレームチャンネルに固定する [図 220](#)。

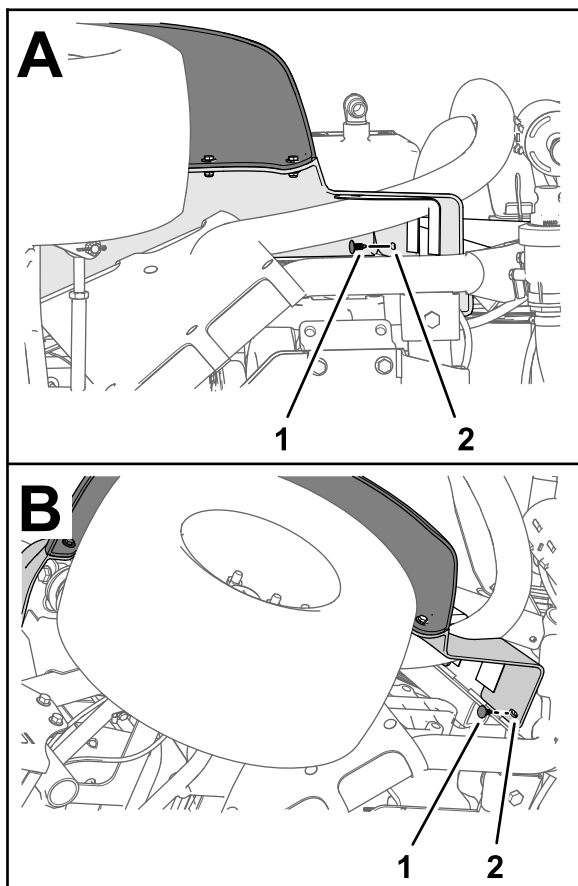


図 220

g264614

1. 押し込みファスナー
  2. 左前フェンダ
- 
6. ボルト5/16 x 1"を 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
  7. 機体の反対側のフェンダと内側フェンダ用シュラウドについても 1から6 の作業を行う。

# 36

## エンジンへのアクセスパネルと運転席を取り付ける

必要なパーツはありません。

### エンジンアクセスパネルを取り付ける

1. エンジンアクセスパネルのラッチを、ROPSバーのパネルサポートブラケットのブッシュに合わせる 図 221。

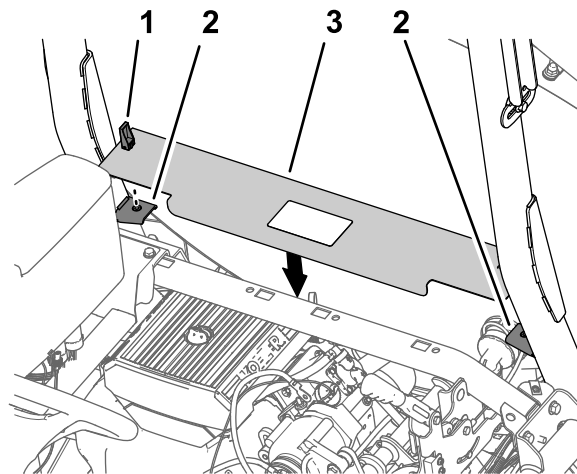


図 221

g202414

1. ラッチ
2. パネルのサポートブラケット
3. エンジンアクセスパネル

2. パネルをブラケットに取り付ける 図 221。
3. ハンドルラッチを下に回してパネルをブラケットに固定する 図 221。

### 運転席を取り付ける

1. 座席と座席プレートを車体シャーシに合わせる 図 222。

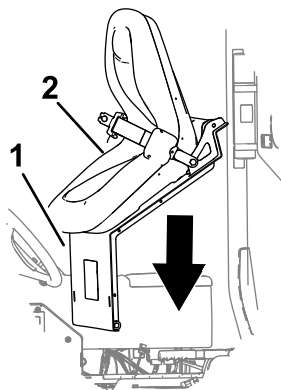


図 222

g202000

1. 座席プレート                      2. 運転席

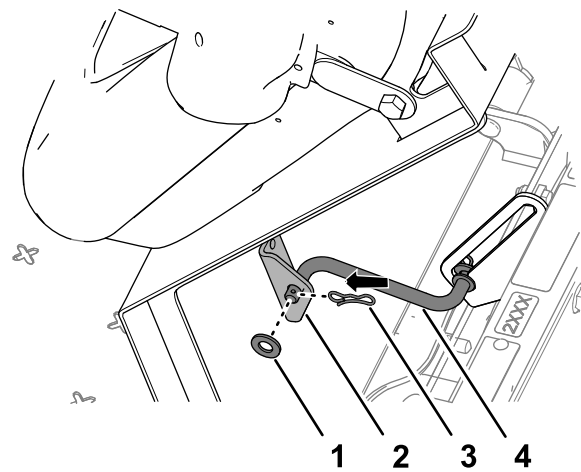
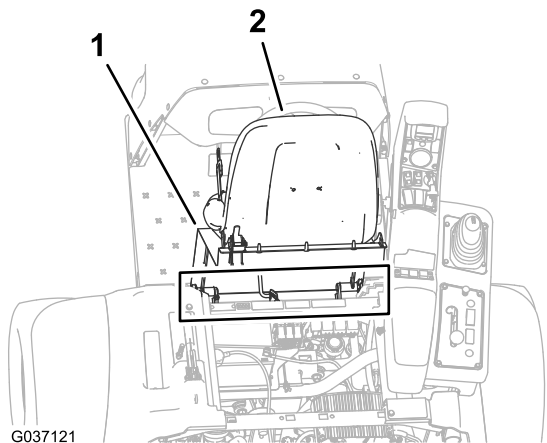


図 224

g202001

1. ワッシャ                              3. ヘアピン  
2. ブラケット座席用                  4. 支え棒

2. シートパンのピボットフィッティングにある穴を、シャーシブラケットの穴に合わせる 図 223。



G037121

g037121

6. 車両用ハーネスの2ソケットコネクタを、座席スイッチ用のコネクタに接続する。ゆるみなく完全にはめ込むこと 図 225。

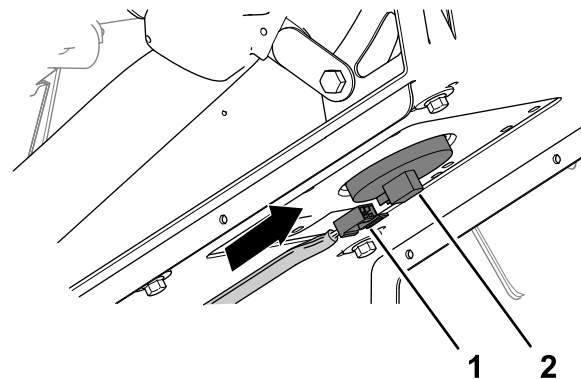
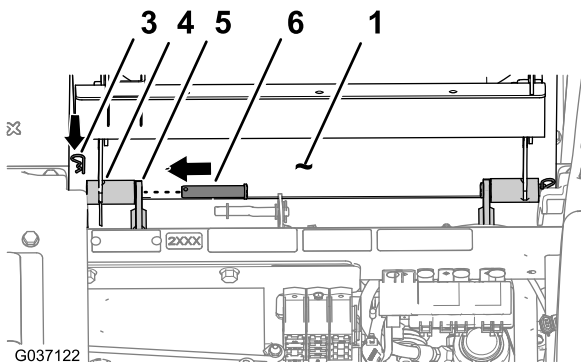


図 225

g202003

1. 2ソケットコネクタ車両のワ    2. 座席スイッチ用コネクタ  
イヤハーネス



G037122

g202002

図 223

1. 座席プレート                      4. ピボットフィッティング座席  
パン  
2. 運転席                              5. シャーシブラケット  
3. ヘアピン                            6. ピボットピン

3. シートパンをシャーシブラケットに取り付けるピボットピン2本を使用する 図 223。  
4. ピボットピンをヘアピン2本で固定する 図 223。  
5. 座席のブラケットに支え棒を取り付け、ワッシャとヘアピンで固定する 図 224。

# 37

## マシンの設定プログラミングを行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. スタータスイッチにキーを差し込んで ON 位置に回す。

インフォセンターに初期画面が現れ、各種の表示が短時間おこなわれる [図 226](#)。

**注** エンジンは始動させないでください。

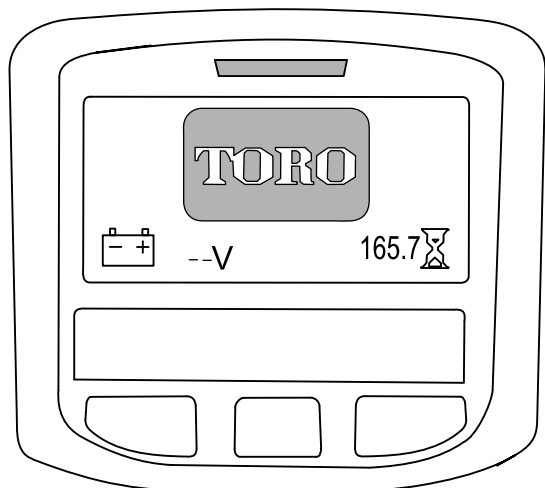


図 226

g202877

2. インフォセンターのホーム画面で、中央ボタンを押して、ナビゲーション画面に入る [図 227](#)。

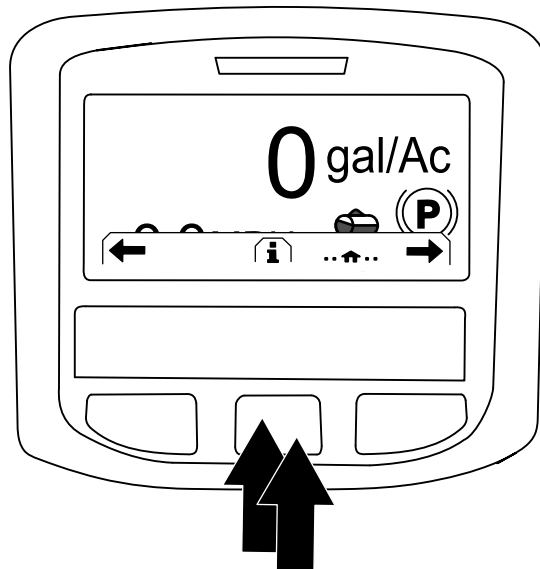


図 227

g202868

3. 中央ボタンをもう一度押してメインメニューを表示させる [図 227](#)。
4. メインメニューMAIN MENU画面で、中央ボタンを押して設定SETTING画面へ移動し、右ボタンで選択する [図 228](#)。

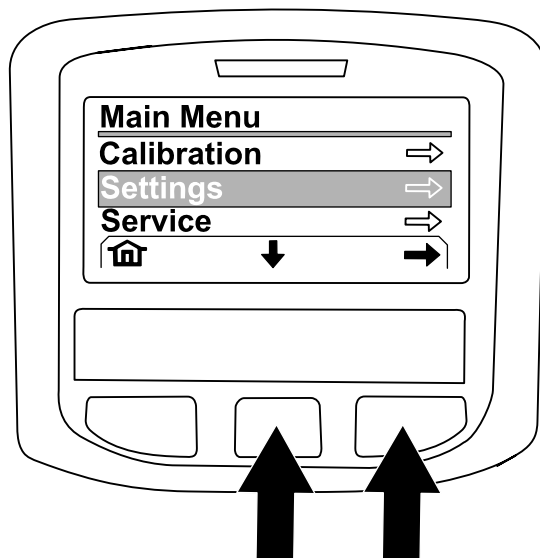


図 228

g202874

5. 設定メニューSETTING画面で、中央ボタンを押して保護設定PROTECTED SETTINGS画面へ移動し、右ボタンで選択する。

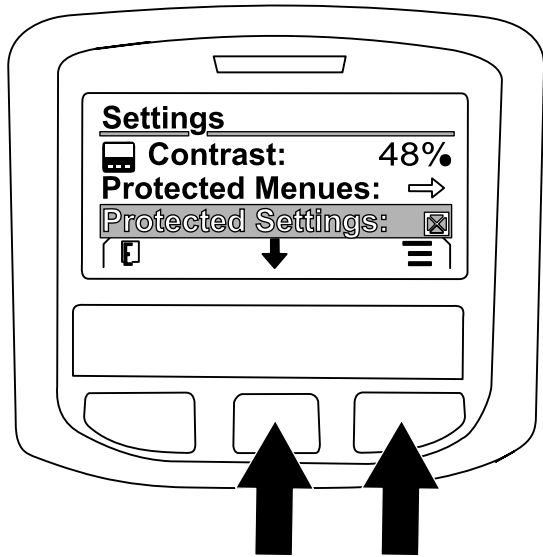


図 229

g202869

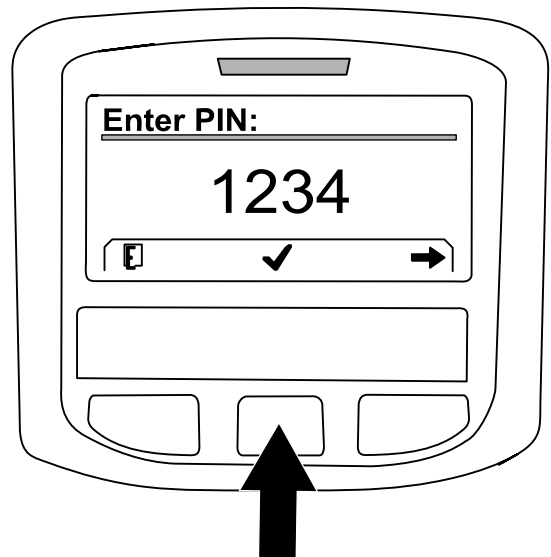


図 231

g202871

6. PIN暗証番号を以下の手順で入力する

- A. 必要に応じて中央ボタンを何度か押して PIN コード画面の左端のケタに数字を入れる [図 230](#)。

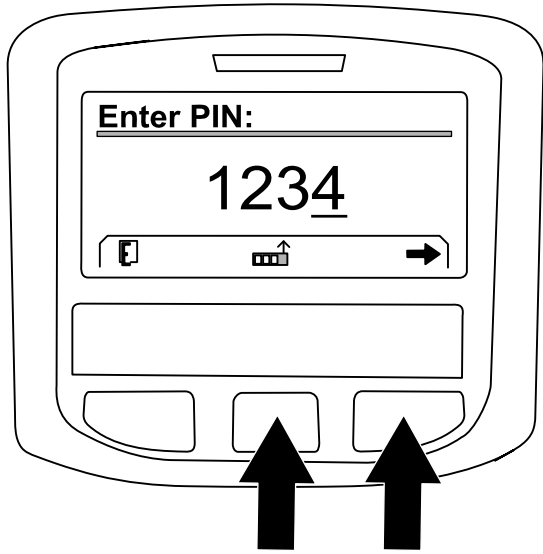


図 230

g202870

7. 中央ボタンを押してジオリンクGEOLINKオプションへ移動し、右ボタンで選択する [図 232](#)。

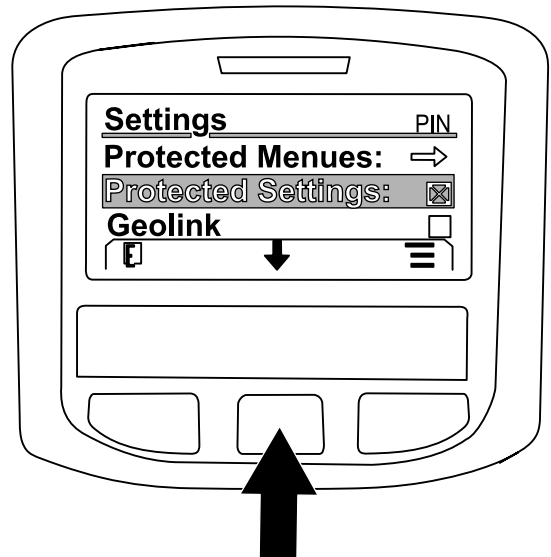


図 232

g202875

インフォセンターにジオリンク確認画面が表示される ([図 233](#))。

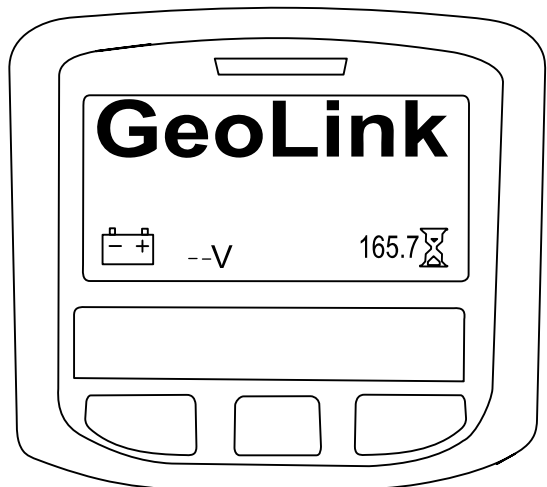
- B. 右ボタンを押して PIN コード画面の左から2番目のケタに移る [図 230](#)。
- C. AとBを繰り返して、残りの3ケタ全部に PIN の数字を入れる。
- D. 全部の数字を入れ終わったら、右ボタン [図 230](#) を押し、さらに中央ボタンを押して PIN コード画面に入る [図 231](#)。  
インジケータが短時間点灯する。



g202872

図 233

- 
8. キーを OFF 位置にし、もう一度ONにする。
  9. GEOLINK 初期画面が、キースイッチをONに回すと最初に表示される。



g202878

図 234

メモ

メモ

## EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

### Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

### 個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください [legal@toro.com](mailto:legal@toro.com)。

### セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたの情報をあなたの居住国の外に移動する場合には、弊社は必ず法律が定める手続きを踏み、あなたの情報が安全に取り扱われ適切な保護がおこなわれるように、そして正しく取り扱われるように配慮します。

### アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には [legal@toro.com](mailto:legal@toro.com) にメールでご連絡ください。弊社があなたの情報を取り扱った方法に懸念をお感じになった場合には、弊社に直接申し立てをしていただくようお願い申し上げます。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。



## Toro 製品保証

年間品質保証

### 保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。  
\*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

### 保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department  
Toro Warranty Company  
8111 Lyndale Avenue South  
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740  
E-mail: commercial.warranty@toro.com

### オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

### 保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリーや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、プレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャストホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

### 米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

### 部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかは判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

### ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後3-5年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

### 保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

### その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

### エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。